

2023年度言語研修

Intensive Language
Course 2023

「ハカス語」
研修テキスト 2

“Khakas”
Textbook 2



ハカス語

入門

高島尚生

Khakas language textbook

Naoki Takashima

2

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所

2024



ハカス語入門

2023 年度言語研修「ハカス語」テキスト 2

高島 尚生



東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

まえがき

本書は、2023 年度、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催のハカス語研修に際し、ハカス語研修用に編纂された教科書です。

これまで日本においてハカス語の教科書がなかったことを鑑みて、今回基本的な文法をマスターできるように 25 課にまとめました。文法項目を表で見やすくすることを心掛け、実際に会話でも使える例文をできるだけ多く取り入れるようにしました。そのため、語彙面においては第 1 課からかなり多い語彙数になっています。

詳細な文法説明に関しては、今回ハカス語研修用に「ハカス語文法」が研修テキストとして編纂されていますので、参考にしてください。

巻末には「読み物」をつけましたので、文法項目の定着と語彙数を増やすための教材としての役割だけでなく、さらに研修後も独習できるようにしてあります。ハカス語研修用に編纂された「ハカス語辞典」を引きながら、学習してください。

本書の例文はすべて、ハカス語研修ネイティブ講師である A. A. イディメシェヴァ先生に見ていただいており、より適切な例文にさせていただいています。それに加えて、本書の文法項目や例文の音声資料も作成することができました。この場を借りてイディメシェヴァ先生に感謝します。

この教科書がハカス語習得の一助になれば、著者としてこれにまさる喜びはありません。

2024 年 3 月

著者

まえがき	2
第1部 文法	8
文字と発音	8
アルファベット	8
母音字	10
子音字	11
母音調和の法則	12
発音練習	14
第1課	16
「これは～です」の表現	16
「これは何ですか?」「こちらは誰ですか?」	16
疑問詞をとみなわない疑問文	16
個数詞①	17
挨拶表現	17
新出単語	18
第2課	19
人称代名詞	19
述語接辞	19
形容詞	21
挨拶表現	21
新出単語	22
第3課	23
所有接辞	23
格について	25
人称代名詞の属格	25
名詞の属格	26
名前の言い方・尋ね方	26
新出単語	28
第4課	29
名詞の複数形	29
所有表現	30
形容詞の名詞化	31
天気表現①	31
新出単語	32
第5課	33
動詞の不定形	33
副動詞 -ыи 形	34
副動詞否定 -бин 形	35

現在形（-ya 形現在）	35
物の名称のたずね方	37
新出単語.....	38
第6課	39
人称代名詞の位格	39
名詞の位格	39
個数詞②.....	40
序数詞	41
日付の言い方	42
新出単語.....	43
第7課	45
人称代名詞の対格	45
名詞の対格	45
命令形① 2人称.....	46
時刻，時をあらわす表現①	48
エチケット表現（命令形を使った表現）	49
新出単語.....	49
第8課	50
人称代名詞の与格	50
名詞の与格	50
「～が好きです」の表現.....	52
「許可」「禁止」「必要」の表現.....	52
新出単語.....	53
第9課	54
過去形① 近過去	54
人称代名詞の方向格	56
名詞の方向格	56
年齢の表現.....	57
「～したい」の表現	57
新出単語.....	58
第10課	59
過去形② -yah 形過去.....	59
助動詞①.....	61
個数詞③.....	62
誕生日の言い方.....	62
新出単語.....	63
第11課	64
人称代名詞の具格	64

名詞の具格.....	64
お祝いの表現.....	65
未来形.....	66
新出単語.....	69
第12課	70
人称代名詞の奪格.....	70
名詞の奪格.....	70
形容詞と副詞の比較表現.....	71
形容詞と副詞の最上級の表現.....	71
「痛い」・体調の表現.....	72
新出単語.....	74
第13課	75
人称代名詞の因格.....	75
名詞の因格.....	75
形動詞 -чатхан 形.....	76
形容詞の形成接辞 -лыг.....	77
完了をあらわす接辞 -быс.....	78
天気表現②.....	79
新出単語.....	79
第14課	80
過去形③ -чаң 形過去（習慣過去）.....	80
人称代名詞の比較格.....	82
名詞の比較格.....	83
形容詞と動詞の名詞化.....	83
概数.....	84
値段をたずねる・いう表現.....	84
新出単語.....	85
第15課	86
被動態.....	86
「～できる」, 「～できない」の表現.....	87
多回体.....	88
時刻, 時をあらわす表現②.....	88
新出単語.....	89
第16課	90
使役態.....	90
命令形② 1人称と3人称.....	91
新出単語.....	94
第17課	95

再帰態	95
条件法	95
新出単語.....	97
第18課	98
譲歩法	98
後置詞と格.....	98
新出単語.....	99
第19課	100
相互態	100
仮定法	101
新出単語.....	104
第20課	105
-чатхан 形過去.....	105
副動詞 -а 形.....	106
助動詞②（副動詞 -а 形とともに）	107
新出単語.....	107
第21課	108
副動詞 -ғанча 形.....	108
形動詞過去 -ғалах 形.....	109
新出単語.....	111
第22課	112
-тыр 形過去	112
不定代名詞と不定副詞.....	114
新出単語.....	114
第23課	115
-чаттыр 形現在	115
-дыр 形習慣現在.....	117
新出単語.....	119
第24課	120
希求法	120
従属節（さまざまな形）	122
新出単語.....	123
第25課	124
推量法	124
副動詞 -ғали 形.....	126
-ип 形現在	127
新出単語.....	128
後置詞および後置詞的な使い方をする副詞の表	129

単語索引	147
参考文献	166
第2部 読み物	167
Піс цирк көрерге парчабыс	167
Хыйға өскічектер.....	167
Тимір чол.....	167
Клубта.....	167
Амыр күскү иир.....	168
Ууча	168
Хантігірчілер.....	168
Чайғы табырах чагдапча.....	168
Кічіг пала	169
Харындазы туңмазына тіпче.....	169
Хакас кинделеріне хынчам	169
Мин чайғызын аалда уучамда ааллаам	169
Сөмөн Прокопьевич Кадышев	170
Часхы өöre	170
Часхы тус	170
Полған на кізінің поэнаң төреен тілі пар	171
Имнег туразында	171
Чуртазы аның – минің көзідім	171
Төреен күніңнең, Университет!	173
Хартыға паза кізі	174

第1部 文法

文字と発音

アルファベット

ハカス語のアルファベットは39文字あり、母音字は12文字、子音字は25文字、記号が2文字あります。

ハカス語アルファベット

文 字	発 音	文 字	発 音
А а	/a/	П п	/p/
Б б	/b/	Р р	/r/
В в	/v/	С с	/s/
Г г	/g/	Т т	/t/
- Ғ	/ɣ/	У у	/u/
Д д	/d/	ӱ ү	/y/
Е е	/je/, /e/	Ф ф	/f/
Ё ё	/jo/	Х х	/x/
Ж ж	/ʒ/	Ц ц	/ts/
З з	/z/	Ч ч	/tʃ/
И и	/i/	- ҫ	/dʒ/
І і	/ə/	Ш ш	/ʃ/
Й й	/j/	Щ щ	/ɕ:/
К к	/k/	- Ъ	хатыҕ таныҕ
Л л	/l/	Ы ы	/ɯ/
М м	/m/	- Ь	нымзах таныҕ
Н н	/n/	Э э	/e/
- Ң	/ŋ/	Ю ю	/ju/
О о	/o/	Я я	/ja/
Ӧ ö	/ø/		

アルファベットの発音

А а	/a/	日本語の「ア」と同じです。
Б б	/b/	日本語の「バ」行の音です。上下の唇をしっかりと閉じてから発音します。
В в	/v/	英語の「v」の音です。上の歯を下唇に軽く当てて発音します。
Г г	/g/	日本語の「ガ」行の音です。
- ґ	/ɣ/	上下の唇を離して、のどの奥から「グ」と発音します。
Д д	/d/	日本語の「ダ」行に近く、舌尖を上の前歯の裏側につけてから離し「ドゥッ」と発音します。
Е е	/je/, /e/	日本語の「エ」と同じです。母音字 е と э は同じ発音で、母音字 э は語頭か借用語における母音の後に用いて、 е は語中あるいは語末で用いられます。ただし、ロシア語からの借用語では「イエ」と発音されます。
Ё ё	/jo/	「ヨ」と発音します。
Ж ж	/ʒ/	子音 x （上下の唇を離してのどの奥から「フ」と発音した音）と英語の ship の sh を同時に発音した音 ш の有声音です。
З з	/z/	呼気を勢いよく前歯に吹きかけるようにして出す「s」を有聲化して「ズィ」と発音します。
И и	/i/	日本語の「イ」でよいです。
І і	/ə/	唇を丸くしすぎないで、и「イ」よりも舌を後ろにして真ん中あたりにして呼気をいっしょにだすように発音します。иとыの間のような音です。
Й й	/j/	母音 и を子音化した音で、ローマ字の「y」に当たり、短い「イ」の音です。
К к	/k/	日本語の「カ」行の音です。
Л л	/l/	舌尖を上歯につけ、開いている左右のすき間から空気を出しながら「ル」と発音します。
М м	/m/	日本語の「マ」行の音です。上下の唇をしっかりと閉じてから発音します。
Н н	/n/	日本語の「ナ」行で、舌尖を上歯の裏側につけて「ン」と発音します。
- ң	/ŋ/	上あごの奥のほうを意識して「ン」と発音し、鼻から出します。日本語で「キング」と言ったときの「ン」の音です。
О о	/o/	日本語の「オ」とほぼ同じで、少し強めに発音します。
Ö ö	/ø/	母音 e の舌の形で唇を丸めて発音します。
П п	/p/	日本語の「パ」行の音です。唇をしっかりと閉じてから発音する破裂音です。

Р р	/r/	日本語の「ラ」行にちかいです。巻き舌の「エル」です。強い呼気で舌先を前歯近くの天井あたりにぶつけながら発音します。
С с	/s/	日本語の「サ」行の音です。呼気を勢いよく前歯に吹きかけるように発音するとよいです。
Т т	/t/	日本語の「タ」行に近く、舌先を上の前歯の裏側につけてから離し「トゥッ」と発音します。
У у	/u/	日本語の「ウ」とほぼ同じで、少し強めに発音します。
Ӯ ў	/y/	唇を丸め、舌を前にして「ウ」を発音します。
Ф ф	/f/	英語の「f」の音です。上の歯を下唇に軽く当てて発音します。
Х х	/x/	上下の唇を離して、のどの奥から「フ」と発音します。
Ц ц	/t͡s/	日本語の「ツ」です。
Ч ч	/t͡ʃ/	日本語の「チ」の子音部で、日本語よりも唇を横に広げなくてもよいです。舌先を上の前歯後ろの歯茎につけて発音します。
- ч	/d͡ʒ/	子音 ч の有声音です。舌先を上の前歯後ろの歯茎につけて発音します。
Ш ш	/ʃ/	子音 x と英語の ship の sh を同時に発音します。唇は丸めて少し前に出します。
Щ щ	/ɕ:/	日本語の「シ」を、唇を少し狭めて長く発音します。
- ь	хатыҕ таныҕ	硬音記号 ь は子音と軟母音のあいだにおかれて、ь の直前にある子音と ь の後に続く軟母音とを別々に発音することを示す記号です。
Ы ы	/ɯ/	舌を後ろに引いて唇を丸めないで出す「ウ」の音です。
- ь	нымзах таныҕ	軟音記号 ь は子音の後につけて、ь の直前にある子音を軟子音として発音する記号です。
Э э	/e/	日本語の「エ」と同じです。
Ю ю	/ju/	日本語の「ユ」と同じです。
Я я	/ja/	日本語の「ヤ」と同じです。

母音字

硬母音字	а	ы	у	о	я	ю	ё
軟母音字	и	і	ү	ө	е	э	

母音字 э と母音字 е の発音は同じですが、母音字 э は長母音 ээ も含めて語頭か借用語のなかの母音の後に使われ、母音字 е は語中あるいは語末で使われます。

母音字 ё はロシア語からの借用語のなかのみで使われます。

母音字 ö と ü はハカス語（チュルク語）特有の単語のなかで使われます。

母音字 я と ю , ё はハカス語では硬母音字として扱います。従って、次に続く接辞は硬母音に続く接辞のバリエーションをつけます（それぞれの接辞のつけ方を参照）。

母音を2つ並べて長母音として使われる組み合わせがあります。その組み合わせは以下の通りです。

長母音（硬母音）	aa	ыы	уу	оо
長母音（軟母音）	ии	йү	öö	ее ээ

硬母音と軟母音の区別は、母音調和の規則（次項）で述べられているように、語形成やさまざまな接辞をつけるさいに重要な事柄になります。

子音字

有声子音	б	в	г	ғ	д	ж	з	ч		й	л	м	н	ң	р
無声子音	п	ф	к	х	т	ш	с	ч	ц	щ					

子音 в, ж, ф, ц, ш, щ はロシア語あるいはロシア語を通して借用された単語において用いられます。

ハカス語固有の単語は、有声音と無声音のペアがある子音のあいだでは、必ず無声子音から始まります。したがって、単語は子音字 п, с, к, т, х から始まりますが、子音字 б, з, г, д, ғ から始まりません。

もし、そのような単語（б, з, г, д で始まる単語）があるとするならば、ロシア語からの借用語とそれらの借用語に -лығ（形容詞形成接辞）などの語形成接辞がついた場合です（例外は助詞 даа / дее（～も））。

例) гараж（ガレージ，車庫），дача（別荘，セカンドハウス），
 дачалығ（別荘を所有している；ロシア語借用語＋形容詞形成接辞 -лығ）

子音字 ң, ч で始まる単語はありません。

ь（軟音記号）と ъ（硬音記号）はロシア語あるいはロシア語を通して借用された単語のなかだけで用いられます。

ь は子音の後に付けて、ь の直前にある子音を軟子音として発音する記号です。

例) специальность（専門，職業）

一方、**ь** は子音と軟母音のあいだにおかれて、**ь** の直前にある子音と **ь** の後に続く軟母音とを別々に発音することを示す記号です。

例) объект (客体)

同じ子音が2つ並ぶとき、有声子音のときは2つとも読み、無声子音のときは促音のように発音することが多いです。ときには有声子音2つは1つの子音のように発音することもあります。

例) чоллар (「道」の複数形), күннер (「日」の複数形),
аттар (「ウマ」の複数形), аппағас (真っ白な)

ロシア語からの借用語はロシア語の発音規則に従います。

1) 語末の有声子音は有声化します。従って、それらの単語に様々な接辞がつくときも、無声子音に続く接辞のバリエーションがきます。

例) город[t] (市, 町), городга (市内で)

2) 無声子音の前に同じ発音の仕方のペアがある有声子音は無声化します。

例) вторник[ftornik] (火曜日)

3) 有声子音の前に同じ発音の仕方のペアがある無声子音は有声化します。

例) вокзал[vogzal] (ターミナル駅)

母音 **a**, **o**, **ö**, **э(е)**, **и** は、次に続く母音 **ы**, **и**, **і** が短母音のとき、長母音的に (長めに) 発音されます。

例) чазы (草原, 野原), сазын (紙), чорых (旅), пөзік (高い),
тигір (空), ибіре (周囲に)

これは所有接辞や格接辞, 動詞語幹に態などの接辞がついたときも同様です。

例) пас (頭) - пазым (私の頭; 所有接辞),
тон (外套の) - тонның (外套の; 属格),
көр- (見る) - көрін- (自分を見る; 再帰態接辞),

母音調和の法則

単語中における母音の音は語中の並びによって、次に続く母音の音が制限されます。これを母音調和といいます。ハカス語では単語の母音配列はこの母音調和の法則に従います。

単語の第一音節に硬母音がきたなら、後に続く音節にも硬母音が続きます。同様に単語の第一音節に軟母音がきたなら、後に続く音節にも軟母音が続きます。

このことは複数形接辞や格接辞, 動詞の否定接辞や過去形などのさまざまな接辞がきても同様です。

例) тура (家), палых (魚), чистек (ベリー), көгліг (楽しい),
тоғысчыларға (労働者たちに; 単語 + 複数形接辞 + 与格接辞),

имчїлерїбіске

(私たちの医者たちに；単語 + 複数形接辞 + 所有接辞 + 与格接辞),
көбіктенерге (泡立つ；動詞不定形)

しかし、母音 **и** は軟母音ですがこの規則に従いません。単語の中で、母音 **и** の前が硬母音であれば、母音 **и** の後は硬母音が続き、母音 **и** の前が軟母音であれば、母音 **и** の後は軟母音が続きます。

主に硬母音が続く単語中に母音 **и** が現れるのは、動詞不定形を形成するときや否定形接辞 **-бин** (とその発音上のバリエーション) が入るときです。

例) санирға (数える), имнирге (治す), санабинча (数えていない)

また、ロシア語からの借用語は母音調和の法則に従いません。

例) артист (アーティスト), книга (本)

発音練習

硬母音

аба	тура	мал	тын	хас
уйа	от	азах	харын	чахсы

чуртас	сымдах	халбах	палыхчы	чазы
тымых	чалахай	нымырт	хысха	сортан

軟母音

син	кии	иб	ирен	чир
чистек	пил	кем	ниме	килче

ɸ のはいった単語

тоғыс	ноға	суғ	ынағ	чаған
чылығ	тоғазарға	орған	мағаа	харағай
чалғыс	уғаа	сағынчам	орнығарға	хығырчабыс

i のはいった単語

кізі	имчі	пір	сіліг	іче
інек	чіп	эрістіг	минің	ікі
чірік	пічік	иділіс	кічіг	ідөк
сидік	іди	тігілерге	истілче	кібіренерге

ö のはいった単語

көк	өме	сөс	өл	көзенек
өрт	өскі	төкпес	көгіс	өртек
көөк	сөөк	өзек	өдік	мөге

ÿ のはいった単語

пÿр	сÿт	ÿс	ÿр	ÿгÿ
ÿчÿн	пÿдіріг	чÿстÿк	кÿмÿс	тÿлгÿ
тÿктіг	ÿгренчі	кÿстіг	кÿгÿрт	ÿлÿкÿн

ң のはいった単語

аң	таңах	туңма	өң	минің
оңархы	наңмыр	саң	теңме	көңніңе
хаңаа	ÿннең	сыныхтазыңар	тілінең	көрчезің

ç のはいつた単語

ойначах	күскечек	тағчылар	нинче	чулыцах
нанчы	идігчі	кичір	кичее	хақан
сөөлінчек	мончых	анымчох	алчаастар	үгренмечен

短母音と長母音

ас – аас	сас – саас	сын – сыын	көк – көөк	пүр – пүүр
тин – тиин	ир – иир	чон – чоон	ол – оол	түс – түүс
хара – хараа				

長母音

саасхан	соох	тораат
пүүн	мүүс	чыылча
мөөт		

似た音

хус – хас	чул – чыл	тах – тағ
хачы – хачы	ас – ыс	көк – көг
көл – күл	төс – түс	пир – пір

пис – пыс – піс	пир – пыр – пір	ис – ыс – іс
тас – тос – тыс	тис – тис – тіс	түс – төс – тус
син – сын – сіне	хус– хыс – хос	өрініс – ирігіс – эрістіг

чуурға – чыырға	сеек – сөөк
-----------------	-------------

同じ子音が2つ並ぶ

маллығ	харахха	аннаңар	оннығ	аппағас
изеннес	мыннаң	сыххан	соммас	аттар

第1課

「これは～です」の表現

Пу	これは～です.
Пу ... нимес.	これは～ではありません.

単語 пу は「これは」にあたります.

否定文にするときは, 名詞の後に нимес (～ではない) を入れます.

例文

Пу карандаш.	これは鉛筆です.
Пу кинде.	これは本です.
Пу хоосха.	これは猫です.
Пу карандаш нимес.	これは鉛筆ではありません.

「これは何ですか?」「こちらは誰ですか?」

Пу нимедір? これは何ですか?

Пу нойма? これは何ですか?

Пу кемдір? こちらは誰ですか?

疑問詞 ниме は「何?」, 物と動物を訊くときに使います.

疑問詞 кем は「誰?」, 人を訊くときに使います.

これらの疑問詞の後に続く接辞 -дір は「～です」にあたります.

疑問詞 ниме と同様に нойма 「何?」もよく使われます.

疑問詞をともなわない疑問文

疑問詞をともなわない「～か?」の疑問文を作るには, 文末に疑問助詞 ба (とその発音上のバリエーション) をつけます.

疑問助詞

疑問助詞前の 単語の最後の音	疑問助詞前の 単語の最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
母音 有声子音	ба	бе
無声子音	па	пе
-М, -Н, -И	ма	ме

例文

Пу карандаш па?	これは鉛筆ですか？
Я, пу карандаш.	はい, これは鉛筆です.
Чох, пу карандаш нимес.	いいえ, これは鉛筆ではありません.
Пу кинде бе?	これは本ですか？

肯定の「はい」は **я**, 否定の「いいえ」は **чох** であらわします. **я**, **чох** のあとにはコンマを打ちます.

練習問題 いろいろと訊ねてみましょう.

個数詞①

個数詞 1 – 10

1	бір	6	алты
2	ікі	7	читі
3	үс	8	сигіс
4	төрт	9	тоғыс
5	пис	10	он

挨拶表現

Изеннер!	こんにちは!
Изен!	やあ!
Чалахай иртеннең!	おはようございます! おはよう!
Чалахай күннең!	こんにちは!
Чалахай иирнең!	こんばんは!
Анымчох!	さようなら!
Алғыс!	ありがとう.
Алғыс ползын!	ありがとう.
Улуғ алғыс ползын!	たいへんありがとうございます.
Алғызым чидірчем.	ありがとうございます.
Хайтпас.	大丈夫です.

新出単語

пу	これは	читі	7
нимес	～ではない	сигіс	8
карандаш	鉛筆	тоғыс	9
кинде	本	он	10
хоосха	猫	Изеннер!	こんにちは!
кем	誰	Изен!	やあ!
ниме	何	чалахай	良い
нойма	何	иртен	朝
ба / бе	па / пе	күн	昼, 日; 天気
ма / ме			
я	はい (肯定の返事)	иир	夕方, 晩
чох	いいえ (否定の返事)	Анымчох!	さようなら!
пір	1	Алғыс!	ありがとう!
ікі	2	ползын	～でありますように
ўс	3	улуғ	大きい
төрт	4	читірерге(читір-)	<対> (～に) 伝える; 運ぶ
пис	5	хайтпас	大丈夫
алты	6		

第2課

人称代名詞

人称代名詞は以下の通りです。この形は主語になる主格の形です。

	単 数	複 数
1 人称	МИН	піс
2 人称	СИН	сірер
3 人称	ОЛ	олар

2 人称単数形 **син** は親しい間柄 1 人に対して用います。それに対し、2 人称複数形 **сірер** は複数形をあらわすほかに、丁寧話すとき、遠慮がいる間柄の相手 1 人に対して話すときにも用いられます。

述語接辞

名詞が述語となるときは、その名詞に主語の人称に合わせて人称をあらわす述語接辞をつけます。

述語接辞は以下の通りです。

数	人称	語幹の最後の音	単 語 語 末 の 音		
			母音, 有声子音	無声子音	-М, -Н, -Ц
単 数	1 人称	硬母音	-бын	-пын	-мын
		軟母音	-бін	-пін	-мін
	2 人称	硬母音	-зың	-сың	-зың
		軟母音	-зің	-сің	-зің
	3 人称	硬母音	—		
		軟母音	—		
複 数	1 人称	硬母音	-(лар)быс	-пыс	-мыс
		軟母音	-(лер)біс	-піс	-міс
	2 人称	硬母音	-зар	-сар	-зар
		軟母音	-зер	-сер	-зер
	3 人称	硬母音	-лар	-тар	-нар
		軟母音	-лер	-тер	-нер

サガイ方言では述語接辞は以下ようになります。

数	人称		単語語末の音		
			母音	無声子音 有声子音	-М, -Н, -Ң
単 数	1人称	硬母音	-М	-ЫМ	
		軟母音		-іМ	
	2人称	硬母音	-Ң	-ЫҢ	
		軟母音		-іҢ	
	3人称	硬母音	—		
		軟母音			
複 数	1人称	硬母音	-быс	-пыс	
		軟母音	-біс	-піс	
	2人称	硬母音	-нар	-ыңар	
		軟母音	-нер	-іңер	
	3人称	硬母音	-лар	-тар	-нар
		軟母音	-лер	-тер	-нер

例文

Мин Иван Петровичпін.	私はイヴァン・ペトローヴィッチです。
Син тоғысчызың.	君は労働者です。
Ол имчі.	彼〔彼女〕は医者です。
Піс үгретчібіс.	私たちは教師です。
Олар имчілер.	彼らは医者です。
Син кемзің?	君は誰ですか？

練習問題 ハカス語にしましょう。

私は医者です。
君は先生です。
彼らは労働者です。

形容詞

形容詞は、日本語と同様に、名詞を修飾する定語になるか述語になります。

否定形にするときは、形容詞の後に **нимес**（～ではない）を入れます。

形容詞は名詞の数や格に合わせて変化しません。

述語になるときは述語接辞をつけます。

また、形容詞の多くは副詞としても用いられます。

例

чахсы кізі	いい人	хомай иб	悪い家
наа иб	新しい家	иргі город	古い町
улуғ аал	大きな村	кічіг оол	小さい男の子
сіліг хыс	きれいな若い娘	сіліг нимес чол	きれいでない道

例文

Пу ағас пөзік.	この木は高い。
Пу наа көгенек.	これは新しいワンピースです。
Пу кізі иргі таныс.	この人は古くからの知り合いです。
Пу плат хомай нимес.	このハンカチは悪くない。
Ізіг нимес.	暑くない。
Мин пөзік нимеспін.	私は背が高くありません。

挨拶表現

Пыром тастаңар!	すいません！ ごめんなさい！
Пыромны тастирға сурынчам.	ほんとうにすいません！
Уғаа чахсы!	すごくいい！
Хандыра!	最高です！ すごい！
Хайди даа.	もちろんです。
Орта.	正しいです。
Орта нимес.	正しくありません。
Маң чоғыл.	私には時間がありません。
Ачырғастығ, маң чохпын.	残念ながら、私には時間がありません。

新出単語

мин	私は	кічіг	小さい
син	君は	оол	男の子
ол	彼は；彼女は；それ は	чол	道
піс	私たちは	ағас	木
сірер	あなたがたは；あなた は	пөзік	背が高い
олар	彼らは，それらは	көгенек	ワンピース
тоғысчы	労働者	таныс	知り合い
имчі	医者	плат	ハンカチ，スカーフ
үгретчі	教師	ізіг	暑い；熱い
чахсы	良い	пыро	罪
кізі	人	тастирға (таста-)	〈対〉投げる
наа	新しい	сурынарға (сурын-)	お願いする
иб	家，天幕型住居	уғаа	とても
аал	村	хандыра	最高だ
сіліг	美しい	хайди	どのように
хыс	若い女性	даа	～さえも
хомай	悪い	орта	正しい
иргі	古い	маң	暇な時間
город	市，町	ачырғастығ	残念ながら；残念な；悔しい

第3課

所有接辞

名詞に所有接辞をつけることによって、その名詞であらわされるものの所有者やその人との関係、その名詞であらわされる行為の行為者をあらわします。

所有接辞表

数	人称	語幹の最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
			硬 母 音	軟 母 音
単 数	1 人称	子 音	-ЫМ	-ім
		母 音	-М	
	2 人称	子 音	-ЫҢ	-ің
		母 音	-Ң	
3 人称	子 音	-Ы	-і	
	母 音	-ЗЫ	-зі	
複 数	1 人称	子 音	-ЫБЫС	-ібіс
		母 音	-быс	-біс
	2 人称	子 音	-ЫҢАР	-іңер
		母 音	-нар	-ңер
	3 人称	子 音	-Ы	-і
		母 音	-ЗЫ	-зі

例

	пас (頭)	тура (家)	иб (天幕型住居)	іче (母)
1 人称単数	пазым	турам	ибім	ічем
2 人称単数	пазың	тураң	ибің	ічең
3 人称単数	пазы	туразы	ибі	ічезі
1 人称複数	пазыбыс	турабыс	ибібіс	ічебіс
1 人称複数	пазыңар	тураңар	ибіңер	ічеңер
1 人称複数	пазы	туразы	ибі	ічезі

所有接辞をつける際の注意点

母音 + **無声子音**で終わる単語は、所有接辞をつけると単語最後の無声子音が母音に挟まれることになり、有声化します。具体的には以下ようになります。

1) 末尾が **п, т, с** で終わる単語は、それぞれ **б, д, з** にかかります。

例) **хап** (袋) : **хап + ым → хапым → хабым**

ат (名前) : **ат + ым → атым → адым**

чиңіс (勝利) : **чиңіс + і → чиңісі → чиңізі**

2) 末尾が **г, ғ, ң** で終わる単語は、所有接辞をつけるとこれらの子音は母音に挟まれることになり、脱落して1つの長母音になります。

その際、単語の最終音節の母音が **а, о, е, ö** のときは、それぞれ長母音は **-аа, -оо, -ее, -öö** となります。

例) **тағ** (山) : **тағ + ы → тағы → таы → таа**

көг (メロディー) : **көг + ім → көгім → көім → көөм**

単語の最終音節の母音が **ы, і** のときは、長母音は **-ии** となります。

例) **танығ** (記号) : **танығ + ы → танығы → таныы → тании**

ағырығ (病気) : **ағырығ + ы → ағырығы → ағырыы**

→ **ағырии**

үгредіг (学業) : **үгредіг + і → үгредігі → үгредігі → үгредии**

3) 単語の最終音節の母音が **у, ү** のときは、1音節の単語はそれぞれ長母音 **-уу, -үү** となり、2音節以上の単語は長母音 **-ии** となります。

例) **суғ** (川) : **суғ + ы → суғы → суы → суу**

чүг (羽) : **чүг + і → чүгі → чүйі → чүү**

пулуң (隅) : **пулуң + ы → пулуңы → пулуы → пулии**

4) 単語の最終音節の母音が **х, к** のときは、1音節の単語はそれぞれ有声化して **ғ, г** となり、2音節以上の単語は有声化する場合もあれば、脱落して1つの長母音になることもあります。長母音になる際は末尾が **г, ғ, ң** で終わる単語と同様の変化をします。

例) **харах** (目) : **харах + ы → харахы → харағы**

→ **хараы → хараа**

көнек (バケツ) : **көнек + і → көнекі → көнегі**

→ **көнеі → көнее**

5) 軟音記号 **ь** で終わるロシア語の単語と 1 音節からなる軟音記号 **ь** で終わるロシア語の単語には、単語の最終音節の母音によって、すなわち硬母音のときは **ы** がつき、軟母音のときは **і** がつきます。

例) **часть** (部隊) → **частьы** : **пехота частьы** (歩兵部隊)
портфель (書類カバン) → **портфельі** :

6) **-ость** と 2 音節以上からなる **-сть** で終わるロシア語の単語は、最後の **сть** を取って、単語の最終音節の母音によって、すなわち硬母音のときは **ы** がつき、軟母音のときは **і** がつきます。

例) **специальность** (専門) → **специальноы**
повесть (小説) → **повезі**

7) **-ст** で終わるロシア語の単語には、最後の **ст** を取って、最終単語の最終音節の母音によって、硬音のときは **ы** がつき、軟音のときは **і** がつきます。

例) **журналист** (ジャーナリスト) → **журнализі**

練習問題 以下の単語にさまざまな所有接辞をつけましょう。

нанчы (友人), **тоғыс** (仕事), **үгретчі** (教師)

格について

文中における名詞や代名詞と他の語句との関係は格であらわしますが、ハカス語では名詞に接辞をつけることであらわします。代名詞はそれぞれ格の形があります。

ハカス語には主格、属格、与格、対格、位格、奪格、方向格、具格、因格、比較格の 10 の格があります。

人称代名詞の属格

属格は物と物との関係や所有者 (～の) をあらわします。
 属格で修飾された名詞には必ず所有接辞をつけます。
 疑問形は **кемнің?** (誰の?), **нименің?** (何の?) です。
 人称代名詞の属格は以下の通りです。

主 格	мин	син	ол	піс	сірер	олар
属 格	минің	синің	аның	пістің	сірернің	оларның
主 格	кем	ниме				
属 格	кемнің	нименің				

例

тура (家)	іңе (母)
минің турам	минің іңем
синің тураң	синің іңең
аның туразы	аның іңезі
пістің турабыс	пістің іңебіс
сірернің тураңар	сірернің іңеңер
оларның туразы	оларның іңезі

練習問題 上記の例を参考にして、以下に掲載してある「家族・友人」表の単語に代名詞属格と所有接辞をつけましょう。

例) минің нанчым (私の友人) , пістің харындазыбыс (私たちの弟)

名詞の属格

名詞の属格は以下の通りです。

名詞の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
無 声 子 音	-ТЫҢ	-ТІҢ
有 声 子 音 母 音	-НЫҢ	-НІҢ

例) тураның (家の), көлнің (湖の), ағастың (木の), көзенектің (窓の)

名詞に所有接辞がついているときは、格接辞は所有接辞の後につけます。

例) турамның (私の家の), тураңның (君の家の), ағазының (その木の)

練習問題 属格接辞をつけて「～の…」にしましょう。

友人の母, 私の友人の弟, 本の値段 (паа)

名前の言い方・尋ね方

Сірернің адыңар кемдір?	あなたの名前は何かとおっしゃいますか?
Адыңар кемдір?	あなたの名前は何かとおっしゃいますか?
Синің адың кемдір?	君の名前は何かと言いますか?
Адың кемдір?	君の名前は何かと言いますか?
Минің адым	私の名前は…です.
Минің пабамның ады	私の父の名前は…です.

家族・友人			
паба	父	іңе	母
харындас	兄弟	пиче	姉妹
улуғ харындас	兄	улуғ пиче	姉
кічіг харындас	弟	хыс туңма	妹
оол туңма	弟		
аға	祖父 (父方)	ууча	祖母 (父方)
тай аға	祖父 (母方)	тай іңе	祖母 (母方)
оолғы	息子	хыс	娘
(三人称所有接辞 とともに；この形が 三人称単数形)		(所有接辞とともに)	
ир	夫	ипчі	妻
нанчы	友人	хончых	隣人
арғыс	友人	таныс	知り合い

練習問題 名前の言い方の表現と属格を使って質問、答えてみましょう。

例) あなたのお父さん (お母さん…) の名前は何と言いますか？

お医者さんの名前は何と言いますか？ 彼の名前は…です。

新出単語

пас	頭	журналист	ジャーナリスト
тура	家	нанчы	友だち
іңе	母	тоғыс	仕事
хап	袋	харындас	兄弟
ат	名前	көл	湖
чиңіс	勝利	көзенек	窓
тағ	山	паа	値段, 価格
көг	メロディー	паба	父
танығ	記号	туңма	弟妹
ағырығ	病氣	аға	祖父 (父方)
үгредіг	学業	тай аға	祖父 (母方)
суғ	川 ; 水	оолғы	息子
чүг	羽	ир	夫
пулуң	隅, 角	арғыс	友人
харах	目	пиңе	姉妹
көнек	バケツ	ууча	祖母 (父方)
часть	部隊	тай іңе	祖母 (母方)
портфель	書類カバン	ипчі	妻
специальность	専門	хончых	隣人
повесть	小説		

第4課

名詞の複数形

名詞には複数形があり、複数形は以下の接辞を名詞の後につけてあらわします。

複数形接辞

語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
母 音 有 声 子 音 (-м, -н, -ң を除く)	-лар	-лер
無 声 子 音	-тар	-тер
-м, -н, -ң	-нар	-нер

例) туралар (家), ааллар (村), кізілер (人々), хаптар (袋),
інектер (ウシ), хозаннар (ウサギ), тӱңнер (丘)

ロシア語からの借用語のときは、語末が б, в, г, д, ж, з で終わる単語はロシア語の発音規則に従って無声化するので、それらの単語につける複数形接辞は -тар / -тер になります。

例) заводтар (工場)

ロシア語からの借用語で語末が ь で終わる単語に複数形接辞をつける際は、語末の ь は脱落せず、語末最後の母音と子音に合わせて複数形接辞をつけます。

例) медальлар (メダル), портфельдер (書類カバン)

ここで接辞のつけ方を整理しておきます。接辞の順番は以下の通りになります。

名詞 + 複数形接辞 + 所有接辞 + 格接辞

例) інектерібістің (私たちのウシ複数頭の)

練習問題 ①次の単語を複数形にしましょう。 ②複数形にした単語①に所有接辞をつけましょう。 ③所有接辞をつけた単語②に属格接辞をつけましょう。

ТОҒЫС

аал

КИНДЕ

город

күн

тағ

хоосха

кӱнек

имчі

пулуң

所有表現

動詞 **пар** は「(物が) あります」, 「(人が) います」の意味で使います。

否定形「(物が) ありません」, 「(人が) いません」は **ЧОХ** に述語をあらわす接辞 **-ЫЛ** をつけた形 **ЧОҒЫЛ** を使います。

名詞には所有接辞をつけますが, 所有接辞がつかないこともあります。

所有者は属格であらわします。

肯定形

名詞・代名詞属格 名詞 + 所有接辞 **пар.**

否定形

名詞・代名詞属格 名詞 + 所有接辞 **ЧОҒЫЛ.**

例文

Сігернің хакас-япон сөстігіңер пар ба? あなたはハカス語・日本語辞典を持っていますか？

Я, пар. はい, あります。

Чох, хакас-япон сөстігім чоғыл. いいえ, ハカス語・日本語辞典を私は持っていません。

Синің машинаң пар ба? 君は車を所有していますか？

練習問題 以下の例文を参考にして, 家族についてたずね合いましょう。

Сігернің сөбіреңер пар ба? あなたには家族はいますか？

Сігернің сөбіреңер улуғ(кічіг) ба? あなたの家族は大(核)家族ですか？

Минің сөбірем улуғ нимес. 私の家族は大家族ではありません。

Пістің іче-пабабыс пар. 私たちには両親がいます。

Сігер ипчілігзер бе алай чалғыссар ба? あなたは妻がいますか, それとも独身ですか？

Сігер ирлігзер бе алай чалғыссар ба? あなたは夫がいますか, それとも独身ですか？

Мин ипчілігбін(ирлігбін). 私は妻(夫)がいます。

Мин чалғыспын. 私は独身です。

Сігернің харындастарыңар пар ба? あなたには兄弟がいますか？

Сөбіреңерде* нинче кізідір? あなたの家族は何人家族ですか？

Сөбіремде* төрт кізі. 私の家族は4人です。

Сіерернің палаларыңар (хыстарыңар) нинчедір? Минің пір пала. Минің пала чоғыл. Минің ікі оол(хыс). * Сөбіреңерде(Сөбіремде) -де	あなたには子供は何人いますか? 私には1人子供がいます。 私には子供はいません。 私には2人息子(娘)がいます。 は位格(～のところには)接辞(第6課)
--	--

形容詞の名詞化

形容詞に所有接辞をつけると名詞化します。とくに3人称所有接辞をつけると、「～なこと」をあらわします。

例) ЧЫЛЫҒ (暖かい) → ЧЫЛЫҒЫ → ЧЫЛЫЫ → ЧЫЛИИ (暖かさ)
УЛУҒ (大きい) → УЛУҒЫ → УЛУЫ → УЛИИ (大きさ)

また、形容詞に複数形接辞をつけると名詞化して、「～な人々」をあらわします。

例) КІЧІГ (小さい) → КІЧІГЛЕР (小さい子たち)
УЛУҒ (大きい) → УЛУҒЛАР (大人たち)

天気の表現①

Пүүн күн хайдағдыр?	今日はどんな天気ですか?
Пүүн айас күн.	今日はいい天気です。
Пүүн пулуттығ(пүргек) күн.	今日は曇りです。
Пүүн наңмырлығ күн.	今日は雨の日です。
Пүүн чіліг.	今日は風があります。
Пүүн чіл чоғыл.	今日は風がありません。
ЧЫЛЫҒ.	暖かいです。
ЧЫЛЫҒ нимес.	暖かくありません。
Тасхар ізіг.	外は暑いです。
Сөрөн.	涼しいです。
Уғаа соох.	とても寒いです。
Пүүн хайдағ температурадыр?	今日の気温は何℃ですか?
Пүүн чылии пис градус.	今日の気温は+5℃です。
Пүүн сооғы он градус.	今日の気温は-10℃です。

新出単語

інек	ウシ	пала	子供
хозан	ウサギ	чылығ	暖かい
төң	丘	пүүн	今日
завод	工場	хайдағ	どんな, どのような
медаль	メダル	айас	晴れた
пар	ある, いる	пулуттығ	雲の多い
хакас-япон	ハカス語・日本語の	пүргек	曇りの
сөстік	辞書	наңмырлығ	雨の降っている
машина	車	чілліг	風のある
сөбіре	家族	чіл	風
іче-паба	両親	тасхар	外は
ипчіліг	妻帯している	сөрөн	涼しい
алай	それとも	соох	寒い; 冷たい
чалғыс	独身の; 唯一の	температура	気温, 温度
ирліг	夫がいる, (女性が) 結婚している	градус	度 (°C)
нинче	いくつ		

第5課

動詞の不定形

ハカス語では動詞の不定形は未来形 **-ap** (-ep) 形に与格 **-ға** (-ге) がついた形であらわれ、辞書の見出し語になります。

例) **ХЫҒЫРАҒА** (読む), **пөггерге** (解く)

そして、動詞語幹は **ХЫҒЫР-** とあられし、今後、動詞をあらわす際には、

ХЫҒЫРАҒА(ХЫҒЫР-), пөггерга(пөк-)

とあらわすことにします。

様々な時制をあらわすときには、この動詞語幹に接辞をつけていくことになります。

動詞の不定形をつくるときの注意点

動詞語幹に未来形接辞 **-ap** / **-ep** をつけるとき、語幹最後の子音が未来形接辞最初の母音 **a** あるいは **e** と語幹最後の子音直前の母音との2つの母音に挟まれたときはその子音は有声化して、有声子音字を表記します。

例) **харас-** (～を達成しようと努力する) + **-ap** → **харасар**
 → **харазар** + **-ға** → **харазарға**

語幹の最後が母音で終わるときは、語幹最後の母音と未来形接辞最初の母音 **a** あるいは **e** はとなり合うことになり、その2つの母音は融合して1つの母音 **и** になります。これは母音調和の法則の例外です。

例) **аңна-** (狩る) + **-ap** → **аңнаар** → **аңнир** + **-ға** → **аңнирға**
узу- (眠る) + **-ap** → **узуар** → **узир** + **-ға** → **узирға**
имне- (治す) + **-ep** → **имнеер** → **имнир** + **-ге** → **имнирге**

否定の不定形は、未来形否定接辞 **-бас** (とその発音上のバリエーション) に与格接辞がついた形となります。以下に表であらします。

動詞語幹の 最後の音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
母 音 有 声 子 音 (-м, -н, -ң を除く)	-басха	-беске
無 声 子 音	-пасха	-песке
-м, -н, -ң	-масха	-меске

例) **узубасха** (眠らない), **кірбеске** (入らない), **сатпасха** (売らない),
соммасха (泳がない)

練習問題 次に動詞不定形を語幹にしましょう。

пазарға, сығарға, одыртарға, кизерге, ойнирға, хоостирға, көглирге, хайнирға

副動詞 -ЫП 形

副動詞 -ЫП 形は、1) 他の行為に先行する行為 (～してから、～したあとで)、2) 主たる行為の原因 (～したので、～した原因のために)、3) 主たる行為と同時あるいは並行的に行われる行為 (～しながら)、4) 主たる行為をどのようにして行っているかという状況、5) 主たる行為の目的 (～する目的のために) をあらわします。

副動詞 -ЫП 形は動詞語幹に接辞 -ЫП (とその発音上のバリエーション) をつけてつくります。動詞語幹が子音で終わるときはふつう動詞語幹がそのまま副動詞 -ЫП 形になります。

副動詞 -ЫП 形

動詞語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
子 音	-ЫП	-іп
母 音	-п	

副動詞 -ЫП 形をつくるときの注意点

動詞語幹が母音 + т で終わるとき、語幹最後の т は有声化して д になります。

例) ит- (する) + -іп → итіп → идіп

動詞語幹が母音 + с で終わるとき、語幹最後の с は有声化して з になります。

例) кіс- (着る) + -іп → кісіп → кізіп

動詞語幹の最後が п, х, ғ, г, ң で終わるとき、語幹最後の子音は脱落し、その結果2つ並んだ母音は1つの長母音になります。その際、語幹の母音を2つ並べます。

例) хап- (見つける) + -ып → хапып → хаып → хаап

теп- (蹴る) + -іп → теціп → теіп → тееп

чығ- (集める) + -ып → чығып → чыып

тоң- (凍える) + -ып → тоңып → тоып → тооп

練習問題 副動詞 -ЫП 形にしましょう。

пазарға, сығарға, одыртарға, кизерге, ойнирға, хоостирға, көглирге, хайнирға, кірерге, чаарға(чағ-)

副動詞否定 -бин 形

副動詞否定 -бин 形は副動詞 -ып 形の否定形の意味をもちます (～しないで, ～せずに).

副動詞否定 -бин 形

語幹最後の音	
母音 有声子音 (-м, -н, -ңを除く)	-бин
無声子音	-пин
-м, -н, -ң	-мин

例) парбин (行っていない), үрбин ([犬が] 吠えていない),
хайнатпин (沸いていない), тоңмин (凍っていない)

現在形 (-ча 形現在)

現在形は副動詞 -ып 形に現在形をあらわす接辞 -ча (とその発音上のバリエーション) をつけ, さらに行為の主体をあらわす人称接辞をつけます.

肯定形

動詞語幹 + 副動詞 -ып 形 + 現在形接辞 -ча + 人称接辞

現在形は, 1) 現在行われている行為 ((今) ~しています), 2) 日常の習慣的行為 ([ふだん] ~します) をあらわします.

現在形接辞

語幹の 最後の音	語幹の最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
	-ча	-че

動詞語幹が母音で終わるときは, 副動詞 -ып 形は上記の表に従って最後が -п になる形にして, それに現在形接辞をつけます.

例) ойна- (遊ぶ) + -п + -ча → ойнапча ([彼が] 遊んでいる)
сөле- (言う) + -п + -че → сөлепче ([彼が] 言っている)

動詞語幹が子音で終わるときは語幹に現在形接辞がつきます.

例) тоғын- (働く) + -ча → тоғынча ([彼が] 働いている)
кил- (来る) + -че → килче ([彼が] こっちに向かっている)

人称接辞のつけ方

行為者をあらわすために、現在形接辞 **-ча / -че** に人称接辞をつけます。人称接辞表は発音上のバリエーションがありますが、以下の接辞表には現在形接辞 **-ча / -че** に続く形のみ限定して掲載してあります。

人称接辞表

数	人称	現在形接辞	人称接辞	
単 数	1	-ча / -че	-м	-чам / -чем
	2	-ча	-зың	-чазың
		-че	-зің	-чезің
3	-ча / -че	—	-ча / -че	
複 数	1	-ча	-быс	-чабыс
		-че	-біс	-чебіс
	2	-ча	-зар	-чазар
		-че	-зер	-чезер
	3	-ча	-лар	-чалар
		-че	-лер	-челер

例文

Мында парбах ағастар өсчелер. ここに枝の多い木々が生えている。

Пу магазин хараа-күнөрте тоғынча. このお店は24時間営業しています。

Анда пабам турча. そこに父が立っている。

Пүрлер сарғалчалар. 葉が黄葉している。

Наңмыр(хар) чаапча. 雨(雪)が降っている。

練習問題 以下に挙げる動詞を現在変化させましょう。

чуртирға(чурта-), хығырарға(хығыр-), пазарға(пас-),
узирға(узу-), тимнирге(тимне-), идерге(ит-)

否定形は、動詞語幹と現在形接辞 **-ча / -че** のあいだに副動詞否定 **-бин**（とその発音上のバリエーション）をつけてあらわします。

現在形接辞 **-ча / -че** の区別は、動詞語幹の最終音節の母音次第で、硬母音なら **-ча**、軟母音なら **-че** がつきます。

人称接辞のつけ方は肯定形と同じです。

否定形

動詞語幹 + 副動詞否定 **-бин** 形 + 現在形接辞 **-ча** + 人称接辞

例文

Харағай күскүзін дее сарғалбинча. 松は秋には黄葉しない。

Мин пілбинчем. 私は知りません。

練習問題 以下に挙げる動詞を否定形で現在変化させましょう。

чуртирға(чурта-), хығырарға(хығыр-), пазарға(пас-),
узирға(узу-), тимнирге(тимне-), идерге(ит-)

物の名称のたずね方

Хайди адалча пу тағ(суғ, көл...)? この山（川，湖…）の名は何ですか？

Хайди адалча пу чахайах(ағас...)? この花（木…）の名は何ですか？

Хакас тілінең(хакастап) пу хайди адалча? これはハカス語で何といいますか？

Пу хакас тілінең « хартыға » адалча. これはハカス語で「хартыға（鷹）」といっています

新出単語

хығырарға(хығыр-)	<対>読む	сөлирге(сөле-)	言う
пөгерге(пөк-)	<対>解く	тоғынарға(тоғын-)	働く
харазарға(харас-)	～しようと努力する	килерге(кил-)	来る
аңнирға(аңна-)	<対>狩猟する	мында	ここに
узирға(uzu-)	眠る	парбах	枝の多い
имнирге(имне-)	<対>治療する	өзерге(өс-)	成長する, 生える
кірерге(кір-)	入る	магазин	店
садарға(сат-)	<対>売る	хараа-күнөрте	昼も夜も
сомарға(сом-)	泳ぐ	анда	あそこに, そこに
пазарға(пас-)	<対>書く	турарға(тур-)	立っている
сығарға(сых-)	外に出る, 出る	пүр	葉
одыртарға(одырт-)	<対>座らせる	сарғаларға(сарғал-)	黄色になる
кизерге(кис-)	<対>着る, 履く	наңмыр	雨
ойнирға(ойна-)	<対>遊ぶ	хар	雪
хоостирға(хооста-)	<対>描く	чуртирға(чурта-)	住む
көглирге(көгле-)	歌を歌う	тимнирге(тимне-)	<対>準備する
хайнирға(хайна-)	沸騰する, 沸く	харағай	松
идерге(ит-)	<対>する	күскүзін	秋に
хабарға(хап-)	<対>見つける	дее	～さえも
теберға(теп-)	<対>蹴る	пілерге(піл-)	知っている
чыырға(чығ-)	<対>集める	адаларға(адал-)	名づけられる
тоңарға(тоң-)	凍える, 凍る	чахайах	花
чаарға(чағ-)	(雨や雪が) 降る	хакас	ハカス人; ハカス人
парарға(пар-)	行く	тіл	の
үрерге(үр-)	(犬が) 吠える	хакастап	言葉
хайнадарға(хайнат-)	<対>沸かす	хартыға	ハカス語で
			鷹

第6課

人称代名詞の位格

位格は場所（～で、～に；～ [人] のところで）をあらわします。

疑問形は кемде? (誰のところで?), нимеде? (何のなかに? どこで?), Хайда? (どこで?) です。

人称代名詞の位格は以下の通りです。

主 格	мин	син	ол	піс	сірер	олар
位 格	минде	синде	анда	пісте	сірерде	оларда
主 格	кем	ниме				
位 格	кемде	нимеде				

名詞の位格

位格の接辞

名詞の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
無 声 子 音	-та	-те
有 声 子 音 母 音	-да	-де
-зы, -ы, -зі, -і, -ии (3人称所有接辞)	-нда	-нде

例) тағда (山で), кізіде (人のところに), ағаста (木に),
тураңда (君の家に), туразында (彼の家)

3人称単数と複数の位格では、所有接辞と格接辞のあいだに -н- がはいます。

例) чиріңде (その土地)

練習問題 次の名詞を位格にしましょう。

имнег туразы (病院), университет (大学), пөлік (部屋), город (町), аал (村),
тағ (山), Хакасия (ハカス), Ағбан (アバカン)

練習問題 単語 аал (村) に複数形や所有接辞をつけて位格にしましょう。

例) аалларда, аалымда...

例文

Пістің палаларыбыс школада үгречелер.	私たちの子供たちは学校で学んでいます。
Піс Ағбанда Щетинкиннің орамында чуртапчабыс.	私たちはアバカン市シェチンキン通りに住んでいます。
Пістің школада тіріг пулунас пар.	私たちの学校には飼育コーナーがあります。
Хакас тілінде « я » буква сөс алнында ла пазылча.	ハカス語では文字「я」は単語語頭でのみ書かれます。
Пістің ибде уғаа ачыныстыг хара хоосхачах пар.	私たちの家にはとても愛らしい黒猫がいます。

練習問題 次の質問に答えましょう。

Хайда чуртапчазар? (あなたはどこに住んでいますか?)

Хайда іче-пабанар чуртапчалар? (両親はどこに住んでいますか?)

Хайда тоғынчазар? (あなたはどこで働いていますか?)

個数詞②

個数詞 1 0 — 1 0 0

1 0	он	1 1	он пір
2 0	чибіргі	2 2	чибіргі ікі
3 0	отыс	3 3	отыс үс
4 0	хырых	4 4	хырых төрт
5 0	иліг	5 5	иліг пис
6 0	алтон	6 6	алтон алты
7 0	читон	7 7	читон читі
8 0	сигізон	8 8	сигізон сигіс
9 0	тоғызон	9 9	тоғызон тоғыс
1 0 0	чүс	1 2 3	пір чүс чибіргі үс

1 1 や 1 2 5 などの組み合わせは、それぞれの数詞を組み合わせで用います。したがって、上記の数字はそれぞれ **он пір** (1 1), **чүс чибіргі пис** (1 2 5) となります。

個数詞は修飾する名詞の前におきます。数詞の後の名詞はふつう単数形です。

例) **алты ат** (6 頭のウマ), **чибіргі читі інек** (2 7 頭のウシ)

例文

Аның портфельыңде 15(он пис) вафля пар. 彼女のカバンの中に 1 5 個ウエハースがあります。

Хакас алфавидінде 39(отыс тоғыс) буква пар. ハカス語のアルファベットは 3 9 文字あります。

序数詞

序数詞は序数詞を形成する接辞が数詞について形成されています。ここでは序数詞形成接辞は挙げずにそれによって形成された序数詞を挙げておきます。

序数詞をたずねる疑問詞は **нинченчі?** です。

序数詞

1	пірінчі пастағы	1 0	онынчы	1 0 0	чүзінчі
2	ікінчі	2 0	чибіргінчі	1 0 0 0	муңынчы
3	үзінчі	3 0	отызынчы	1 0 0 万	миллионынчы
4	төртінчі	4 0	хырығынчы	1 0 億	миллиардынчы
5	пизінчі	5 0	илігінчі	何番目の	нинчечі
6	алтынчы	6 0	алтонынчы		
7	читінчі	7 0	читонынчы		
8	сигізінчі	8 0	сигізонынчы		
9	тоғызынчы	9 0	тоғызонынчы		

末尾が「0」でない 1 1 以上の数字では末尾の数字だけを序数詞にします。

例) **он ікінчі** (1 2 番目の)

「1 番目の」は **пастағы** を使い (本来は「最初の」の意味です), **пірінчі** は 1 1 以上の序数詞末尾で使います。

例) **пастағы класста** (1 年生で), **он пірінчі класста** (1 1 年生で)

例文

Пістің хызыбыс алтынчы класста 私たちの娘は6年生です。
үгренче.

Олар пастағы класста үгренчелер. 彼らは1年生です.

Сілер хайдағ хадылда чуртапчазар? あなたは何階に住んでいますか?

Мин онынчы хадылда чуртапчам. 私は10階に住んでいます.

練習問題

Сілер хайдағ хадылда чуртапчазар? あなたは何階に住んでいますか?

日付の言い方

Пүүн нинче число? 今日は何月何日ですか?

Пүүн тос айының он төрт 今日は6月14日です。
числозы(күні).

Силкер айының он сигізінчі күні. 5月18日です.

月名

ハカス語固有	ロシア語借用語	
күрген айы	январь	1月
пөзіг айы	февраль	2月
хааң айы	март	3月
хосхар айы	апрель	4月
силкер айы	май	5月
тос айы	июнь	6月
от айы	июль	7月
орғах айы	август	8月
үлгер айы	сентябрь	9月
кичкер айы	октябрь	10月
хырлас айы	ноябрь	11月
алай айы	декабрь	12月

練習問題 今日の日付を言いましょう。毎日日付を言っていきましょう。

新出単語

чир	土地	төртінчі	4番目の
үгренерге(үгрен-)	学ぶ	пизінчі	5番目の
Ағбан	アバカン市	алтынчі	6番目の
орам	通り	читінчі	7番目の
тіріг	生きている	сигізінчі	8番目の
пулунас	コーナー	тоғызынчы	9番目の
буква	文字	онынчы	10番目の
сөс	単語	чибіргинчі	20番目の
алнында	～の前に	отызынчы	30番目の
ла	前の語を強調	хырығынчы	40番目の
пазыларға(пазыл-)	書かれる	илігінчі	50番目の
ачыныстығ	愛らしい	алтонынчы	60番目の
хара	黒い	читонынчы	70番目の
хоосхацах	хоосхаの愛称形	сигізонынчы	80番目の
имнег	治療	тоғызоннынчы	90番目の
университет	大学	чүзінчі	100番目の
пөлік	部屋	муңынчы	1000番目の
Хакасия	ハカス(共和国)	миллионынчы	100万番目の
хайда	どこで	миллиардынчы	10億番目の
чибіргі	20	класс	(学校の)学年
отыс	30	хадыл	階
хырых	40	число	日付, ~日
иліг	50	ай	月
алтон	60	күрген айы	1月
читон	70	пөзіг айы	2月
сигізон	80	хааң айы	3月
тоғызон	90	хосхар айы	4月
чүс	100	силкер айы	5月
ат	ウマ	тос айы	6月
вафля	ウェハース	от айы	7月
алфавит	アルファベット	орғах айы	8月
нинченчі	何番目の	үлгер айы	9月
пірінчі	1番目の	кичкер айы	10月
пастағы	1番目の, 最初の	хырлас айы	11月
ікінчі	2番目の	алай айы	12月
үзінчі	3番目の		

январь	1 月	июль	7 月
февраль	2 月	август	8 月
март	3 月	сентябрь	9 月
апрель	4 月	октябрь	1 0 月
май	5 月	ноябрь	1 1 月
июнь	6 月	декабрь	1 2 月

第7課

人称代名詞の対格

対格は直接目的語（～を）をあらわします。

疑問形は кемні?（誰を?）、нимені?（何を?）です。

人称代名詞の対格は以下の通りです。

主 格	мин	син	ол	піс	сірер	олар
対 格	мині	сині	аны	пісті	сірерні	оларны
主 格	кем	ниме				
対 格	кемні	нимені				

名詞の対格

具体的な物や事柄を言わないときは、対格接辞はつかないこともあります。

対格の接辞

名詞の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
無 声 子 音	-ты	-ті
有 声 子 音 母 音	-ны	-ні
-зы, -ы, -зі, -і, -ии (3人称所有接辞)	-н	

例) тураны (家を), пичікті (手紙を)

3人称単数と複数の所有接辞の後では、対格接辞は -н になります。

例) туразын (その家を)

練習問題 対格にしましょう。

кинде (本)	単数	複数
所有接辞をつけて		
私の本を	単数	複数
君の本を	単数	複数
彼の本を	単数	複数
私たちの本を	単数	複数
あなたたちの本を	単数	複数
彼らの本を	単数	複数

例文

Içem nime itçe? お母さんは何をしていますか？
 Мин библиотекада кинде 私は図書館で本を読んでいます。
 хығырчам.
 Кічіг харындазым хоосты көрче. 弟が絵を見ている。
 Тарика сағам пічікті пасча. タリカが今手紙を書いている。

練習問題 次の日本語をハカス語にしましょう。

私は本を読んでいます。
 私はあなたの手紙を読んでいます。
 私は家でテレビ(телевизор)を見えています。
 彼らは映画館(кинотеатр)で映画(кино)を見えています。

命令形① 2人称

2人称単数の命令形は動詞語幹がそのまま命令形になります。

例) садарға(сат-) (売る) : Сат. (売って.)
 хығырарға(хығыр-) (読む) : Хығыр. (読んで.)

2人称複数の命令形は動詞語幹に以下の接辞をつけます。

人称	数	語幹最後の音	語幹最終音節の母音	
			硬母音	軟母音
2	複数	母音	-нар	-нер
		子音	-ыңар	-іңер

1人に対して丁寧に言いたいときは2人称複数形を使います。

2人称複数の命令形接辞をつける例と注意点：

2人称複数の命令形接辞 **-ыңар(-іңер)** をつけるとき、動詞語幹の最後が子音 **-п, -т, -к, -х, -с** で終わるとき、それらの子音は2つの母音に挟まれることになって有声化して、それぞれ **-б, -д, -г, -ғ, -з** に変わります。

例) сат- (売る) + **-ыңар** → сатыңар → садыңар

命令形の否定形は、動詞語幹に以下の否定形接辞 **-ба** (とその発音上のバリエーション) をつけます。

否定形接辞

語幹最後の音	硬 母 音	軟 母 音
母 音 有 声 子 音	-ба	-бе
無 声 子 音	-па	-пе
-М, -Н, -Ң	-ма	-ме

例) **Тарынма.** (怒らないで.), **Тарынмаңар.** (怒らないでください.)

命令形の語調をやわらげるために、人称接辞の後に接辞 **-дах** (とその発音上のバリエーション) をつけることができます。

命令形の語調をやわらげる接辞

人称接辞 (2人称単数 語幹) の最後の音	最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
母 音 有 声 子 音	-дах	-дек
無 声 子 音	-тах	-тек

例) **Тоғындах.** (仕事してね.)

例文

Чайғызын киліңер!

夏に来てください。

**Хоосты көріп, хатығ ла сөстерні
адаңар.**

絵を見て、硬母音からなる単語を言ってください。

3-4(үс-төрт) чоохтағ пүдір.

3, 4文を作りなさい。

練習問題 以下の動詞を2人称複数形の命令形にしましょう。

одыраға(одыр-) (座る), **кірерге(кір-)** (中に入る),

иртерге(ирт-) (通る), **хығыраға(хығыр-)** (読む),

көрерге(көр-) (見る), **истерге(ис-)** (聞く)

чоохтирға(чоохта-) (話す), **пирерге(пир-)** (あげる, 渡す, くれる)

чарадарға(чарат-) (許可する)

時刻、時をあらわす表現①

時刻をあらわすには、「～時」は **час(сағат)**、「～分」は **минута(пағат)** を使い、個数詞をこれらの単語の前につけて使います。

минута は [минут] と発音されることが多いです。

例) он ікі час чибіргі пис минута (12時25分)

「30分」は **чарым** 「半分、半」を使ってもよいです。

例) пір час чарым (1時半)

「午前」と「午後」、「夕方の、夜の」、「夜中の」は時刻の後に、それぞれ **иртенде** と **күнөрте**, **иірде**, **хараазын** をつけます。

例) алты час иірде (午後6時), ікі час хараазын (夜中の2時)

「～時…分前」は、その時刻に達するまでの時間(分)の後に **чох** (～がない, ~が足りない) をつけて、その後時刻を言います。

例) он пис минута чох алты час (6時15分前)

「～時(～分)に」と行為の始まる時間を言うときは、**час(сағат)**, **минута(пағат)** を位格にすることであらわします。

例) он ікі часта (12時に)

位格は時をあらわすときや、時をあらわす副詞の形成によく使われます。

例) часхыда (春に; 副詞), иірде (夕方に; 副詞)

例文

Чоохтаңардах, нинче час амды? 今、何時か教えてください。

Амды үс час хырых минут. 今、3時40分です。

Пір час күнөрте. 午後1時です。

練習問題 ハカス語の質問に答えましょう。

Иртен нинче часта турчазар?

Иртен ибдең нинче часта сыхчазар?

エチケット表現（命令形を使った表現）

Пазох чоохтап пиріңер.	もう一度言ってください.
Көмес ағырин чоохтап пиріңер.	ゆっくり言ってください.
Хығырыңар.	読んでください.
Истеңер*.	聞いてください.
Пазыңар.	書いてください.
Көріңер.	見てください.
Сурығларға нандырыңар.	質問に答えてください.
Полыс пиріңер мағаа.	私を手伝って（助けて）ください.
Көзидіңер.	見せてください.

*истерге(ис-) は2人称複数形の命令形を形成するときには, исте- に命令形接辞をつける.

新出単語

пічік	手紙	чарадарға(чарат-)	〈対〉許可する
библиотека	図書館	час	～時（時刻）
сағам	今	сағат	～時（時刻）
телевизор	テレビ	минута	～分（時刻）
кинотеатр	映画館	пағат	～分（時刻）
кино	映画	чарым	半分；30分
тарынарға(тарын-)	怒る, 腹を立てる	иртенде	朝に, 午前中に
чайғызын	夏に	күнөрте	昼間に；午後
хатығ	硬い；堅い	иирде	夕方に, 晩に
адирға(ада-)	〈対〉名づける, 呼ぶ, 発音する	хараазын	夜中に
чоохтағ	文章	часхыда	春に
пүдірерге(пүдір-)	〈対〉建設する, つく る	амды	今
одыарға(одыр-)	座る	пазох	もう一度
иртерге(ирт-)	通る	сурығ	質問
көрерге(көр-)	〈対〉見る	нандыарға(нандыр-)	〈与〉答える
истерге(ис-)	〈対〉聞く	полызарға(полыс-)	〈与〉手伝う
чоохтирға(чоохта-)	話す, 言う	мағаа	мин の与格（第8課 参照）
пирерге(пир-)	〈対〉あげる；渡す	көзідерге(көзіт-)	〈対〉見せる, 示す

第8課

人称代名詞の与格

与格は、1) 間接目的語（～に）、2) 方向（～に、～へ）や時間的到達点（～までに）をあらわします。

疑問形は кемге?（誰に?）、нимее?（何に?）です。

人称代名詞の与格は以下の通りです。

主 格	МИН	СИН	ОЛ	ПІС	СІРЕР	ОЛАР
与 格	МАҒАА	САҒАА	АҒАА	ПІСКЕ	СІРЕРГЕ	ОЛАРҒА
主 格	КЕМ	НИМЕ				
与 格	КЕМГЕ	НИМЕЕ				

名詞の与格

与格の接辞

名詞の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
無 声 子 音	-ха	-ке
有 声 子 音 (-ң, -ғ, -г 以外) 母 音 -о, -ö 長 母 音	-ға	-ге
母 音 (-о, -ö を除く) -ң, -ғ, -г 1 人称所有接辞 -м	-а	-е
語末子音が無声化する -б, -в, -д, -г, -ж, -з で終わるロシア語借用語	-ха	-ке
-зы, -ы, -зі, -і, -ии (3 人称所有接辞)	-на	-не

例) тураа (家へ), харааға (夜中までに), чүге (羽に), палыхха (魚に), пызоға (子ウシに), көзөгө (小枝に)

母音 **-ы**, **-у** で終わり **-ыа** と **-уа** となるときは **-аа** となり, **-і**, **-ү** で終わり **-іе**, **-үе** となるときは **-ее** となります.

例) **ХЫСХЫ** (冬) + **а** → **ХЫСХЫА** → **ХЫСХАА**
түлгү (キツネ) + **е** → **түлгүе** → **түлгее**

3人称単数と複数の所有接辞の後では, 与格接辞は **-на** か **-не** になります.

例) **пабазына** (彼のお父さんに), **ічезіне** (彼のお母さんに)

語末にアクセントがある母音で終わるロシア語からの借用語は, 接辞は **-ға** / **-ге** になります.

例) **бюроға** (案内所に), **клишеге** (ステロ版に)

語末にアクセントがない母音で終わるロシア語からの借用語は, 接辞は **-а** / **-е** になります.

例) **машінаа** (車に), **праваа** (権利に; **право** + **а** → **правоа** → **праваа**),
Таняа (ターニャに)

練習問題 以下の名詞を指示に従って与格にしましょう.

お母さんに	私のお母さんに
お父さんに	私のお父さんに
兄に	君の兄に
弟に	私たちの弟に
姉に	あなたの姉に
妹に	彼の妹に
友人に	私の友人たちに

例文

Мин удаа іче-пабамға 私は両親によく電話します.

сығдыратчам.

Мин чыл сай март сигізінчі 私は毎年3月8日 [国際婦人デー] に妻に花を
күнінде ипчіме чахайахтарны 贈ります.

сыйлапчам.

Піске меню көзідіңер. 私たちにメニューを見せてください.

Таңдаға читіре! また明日ね!

練習問題 次の動詞を使って文章をつくりましょう.

сығдырадарға(сығдырат-) (電話する), **сыйлирға(сыйла-)** (プレゼントする)

「～が好きです」の表現

動詞 **хынарға(хын-)** (～が好きです, ～を愛している;気に入っている) は好きな対象を与格であらわします。

動詞不定形をつけることで「～することが好きです」をあらわすことができます。

例文

Мин іче-пабамға хынчам. 私は両親が好きです。

Мин пістің хоосхацахха уғаа тың хынчам. 私は私たちの飼っている猫がとても好きです。

Син хакас үгрее хынчазың ма? 君はハカス民族スープが好きですか?

Көгенегеме хынминчам. 私は自分のワンピースが気に入っていません。

Ол нымахтарны хығырарға хынча. 彼は昔話を読むことが好きです。

練習問題 自分の好きなものや好きなことを言いましょう。

「許可」「禁止」「必要」の表現

許可「～してもよい」をあらわすことば **чарир**, 禁止「～してはいけない」をあらわすことば **чарабас**, 必要・義務「～しなければならない」をあらわすことば **кирек**, 不必要「～する必要はない」をあらわすことば **кирек нимес** は、意味上の主語(～にとって)として与格をとります。それぞれ動詞は不定形がつきます。

例文

Мағаа кірерге чарир ба? 私は中に入ってもいいですか?

Сірерге тоғысха орайларға чарабас. あなたたちは仕事に遅れてはいけません。

Урокта чоохтазарға чарабас. 授業中におしゃべりしてはいけません。

Сағаа үгрерге керек. 君は勉強しないとはいけません。

Іңеме имненерге керек. 私の母さんは治療が必要です。

新出単語

палых	魚	чыл	年
пызо	子ウシ	сай	～ごとに, 毎～
көзө	枝	сыйлирға(сыйла-)	〈対〉贈る
хысхы	冬	хынарға(хын-)	〈与〉好きだ, 愛して てる
түлгү	キツネ	үгре	スープ
бюро	案内所	нымах	昔話
клише	ステロ版	чарир	～してもよい
право	権利; 法律	чарабас	～してはいけない
удаа	よく, しばしば	кирек	～しなければならない い
таңда	明日	орайларға (орайлат-)	遅れる
читіре	〈与〉～まで	чоохтазарға (чоохтас-)	おしゃべりする, 会 話する
сығдырадарға (сығдырат-)	〈与〉電話する		

第9課

過去形① 近過去

-ды 形過去は、近い過去に行われた、あるいは行われなかった行為、起きた、起きなかったことをあらわします。その際、その事柄を話者は確信をもって発話しています。

-ды 形過去は以下の過去形接辞 -ды (とその発音上のバリエーション) を動詞語幹につけ、その後に人称接辞 (第5課現在形参照) をつけてつくります。

否定形は否定形接辞 -ба (とその発音上のバリエーション; 第7課命令形参照) を動詞語幹につけてから、過去形接辞、そして人称接辞をつけます。

-ды 形過去形

動詞語幹 + 過去形接辞 -ды + 人称接辞

否定形

動詞語幹 + 否定形接辞 -ба + 過去形接辞 -ды + 人称接辞

過去形接辞 -ды

語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
母 音 有 声 子 音	-ды	-ді
無 声 子 音	-ты	-ті

例) одырды (座った), кірді (入った), иргті (通った)

練習問題 以下の動詞を近過去形にしましょう。

хығырарға(хығыр-), көрерге(көр-), истерге(ис-),
сыңдырадарға(сыңдырат-), пирерге(пир-), сыйлирға(сыйла-),
чоохтирға(чоохта-), пүдірерге(пүдір-)

人称接辞表

数	人称	-ды形接辞	人称接辞
単 数	1	-ды / -ты / -ді / -ті	-м
	2	-ды / -ты / -ді / -ті	-ң
	3	-ды / -ты / -ді / -ті	—
複 数	1	-ды / -ты	-быс
		-ді / -ті	-біс
	2	-ды / -ты	-ңар
		-ді / -ті	-ңер
	3	-ды / -ты	-лар
		-ді / -ті	-лер

例文

Кичее олғаннар суғның чарында ойнадылар.	昨日子供たち川辺で遊んでいた。
Чайғы читті.	夏が到来した。
Сірернің үгреңерні хынып чідім.	私はあなたのスープをおいしく食べま した。
Пу ойында кем утты?	この試合で誰が勝ちましたか？

練習問題 以下の動詞で近過去の文章をつくりましょう。

хығырарға(хығыр-), көрерге(көр-), истерге(ис-),
пирерге(пир-), сығдырарға(сығдырат-), пүдірерге(пүдір-),
полызарға(полыс-)

人称代名詞の方向格

方向格は行き先や方向（～へ）をあらわします。

疑問形は кемзер? (誰のところへ?), нимезер? (何のところへ? どこへ?), хайдар? (どこへ?) です。

人称代名詞の方向格は以下の通りです。

主 格	мин	син	ол	піс	сірер	олар
方向格	минзер	синзер	анынзар	піссер	сірерзер	оларзар
主 格	кем	ниме				
方向格	кемзер	нимезер				

名詞の方向格

方向格の接辞

名詞の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
無 声 子 音	-сар	-сер
有 声 子 音 母 音	-зар	-зер
3 人称所有接辞 (-зы, -ы, -зі, -і, -ии)	-нзар	-нзер

例) суғзар (川へ), ізіксер (ドアのほうへ)

3 人称単数と複数の方向格では、所有接辞と格接辞のあいだに -н- がはいます。

例) чирінзер (その土地へ)

練習問題 次の名詞を方向格にしましょう。複数形や所有接辞もつけて方向格にしましょう。

университет, школа, магазин, тағ, көл, Россия, Ағбан, тура

例文

Мағаа магазинзер пар килерге кирек. 私はお店へ行って来なければいけません。

Досказар кічеп көріңер.

黒板 (のほう) を注意深く見てください。

Чечімеде піс хоосчыларның
көзідиинзер пар килдібіс.

土曜日に私たちは画家の展覧会に行ってきました。

練習問題 以下の質問に答えましょう。

Кичее сірер хайдар пар килдіңер? (昨日, あなたはどこへ行って来ましたか?)

Позырахта сірер хайдар пар килдіңер? (日曜日にあなたはどこへ行って来ましたか?)

年齢の表現

「～歳」は **час** を使い, 個数詞の後におきます。
意味上の主語は与格であらわします。

例文

Сірге нинче час? あなたは何歳ですか?

Мағаа чибіргі піс час. 私は25歳です。

Сірернің харындазыңарға нинче час? あなたの兄弟は何歳ですか?

Минің харындазыма отыс час. 私の兄は30歳です。

練習問題 上記例文を参考にして, 家族や有名人の年齢を訊いてみましょう。

「～したい」の表現

動詞 **хынарға** は「～(すること)が好きです」という意味のほかに, 「～したい」という意味もあります。動詞不定形とともに使います。

また, 動詞 **сағынарға** は「～と思う, 考える」という意味ですが, 動詞不定形とともに用いて「～しようと思っています」, 「～したいと思います」と希望をあらわすことができます。

例文

Мин чистек чирге хынчам. 私はベリーが食べたい。

Мин киноға пар килерге хынчам (сағынчам). 私は映画を観に行きたいです。

Піс пірее хакас ойын көріп аларға хынчабыс. 私たちは何かハカス民族の演劇を見たいです。

Пасха хан чирде ұтренерге сағынчам. 私は外国で学びたい (と思っています)。

新出単語

кичее	昨日	чечіме	土曜日
олған	子供	хоосчы	画家
чар	岸	көзідіг	展覧会
чайғы	夏	позырах	日曜日
чидерге(чит-)	達する, 着く	час	～歳
чирге(чі-)	〈対〉食べる	сағынарға(сағын-)	思う, 考える
ойын	遊び; 試合; 演劇	чистек	ベリー類
ударға(ут-)	勝つ	пірее	ある～, 何か～
хайдар	どこへ	пасха	他の
ізік	扉, ドア	хан	皇帝, 王様
доска	黒板	пасха хан	外国の
кічеп	注意深く		

第10課

過去形② -ған 形過去

-ған 形過去は、過去に起きた、あるいは起きなかった、行われた、あるいは行われなかった行為をあらわします。

その行為が話者本人の目の前で起きたのか、行われたのか、あるいは聞き知った事柄かは話者には関心がなく、ただ過去に起きた行為をあらわす形として現代ハカス語の過去形のなかで一番よく用いられる形です。

-ған 形過去は形動詞 -ған 形（とその発音上のバリエーション）を動詞語幹につけ、その後に人称接辞をつけます。

否定形は否定形接辞 -ба（とその発音上のバリエーション；第7課命令形参照）を動詞語幹につけてから、過去形接辞、そして人称接辞をつけます。

肯定形

動詞語幹 + 形動詞 -ған 形 + 人称接辞

否定形

動詞語幹 + 否定形接辞 -ба + 過去形接辞 -ған + 人称接辞

-ған 形過去の接辞

語幹の最後の音	語幹の最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
母音 有声子音 (-Ғ, -Г, -Ңを除く)	-ған	-ген
無声子音	-хан	-кен
-Ғ, -Г, -Ң	-ан	-ен

例) хығырған (読んだ), пирген (あげた), сыңдыратхан (電話した),
искен (聞いた), тоңан (凍った)

-ған 形過去をつけるときの注意点

動詞と助動詞の語幹が母音で終わる場合、Ғ と Г は2つの母音に挟まれることになり脱落して1つの長母音 -aa- / -ee- になります。

否定接辞がついたときも同様に1つの長母音 -aa- / -ee- になります。

例) сыйла- + -ған → сыйлаған → сыйлаан
изерле- + -ген → изерлеген → изерлеен

人称接辞表

数	人称	-ған 形	人称接辞	
単 数	1	-ған / -хан -ген / -кен -ан / -ен	-м	-ғам / -хам -гем / -кем -ам / -ем
	2	-ған / -хан / -ан	-зың	-ғазың / -хазың / -азың
		-ген / -кен / -ен	-зің	-гезің / -кезің / -езің
3	-ған / -хан -ген / -кен -ан / -ен	—	-ған / -хан -ген / -кен -ан / -ен	
複 数	1	-ған / -хан / -ан	-быс	-ғабыс / -хабыс / -абыс
		-ген / -кен / -ен	-біс	-гебіс / -кебіс / -ебіс
	2	-ған / -хан / -ан	-зар	-ғазар / -хазар / -азар
		-ген / -кен / -ен	-зер	-гезер / -кезер / -езер
	3	-ған / -хан / -ан	-нар	-ғаннар / -ханнар / -аннар
		-ген / -кен / -ен	-нер	-геннер / -кеннер / -еннер

3人称以外では -ған 形の最後の н が脱落して人称接辞がつきます。

例) сыйла- + -ған + -м → сыйлағам → сыйлаам

また、この形は形動詞過去として名詞を修飾することができます (～した…).

例) төреен күн (誕生日), тартхан ит (挽肉)

例文

Іңемнің піс чайғызын аалда чуртаабыс.	夏に私たちはおかあさんと村で暮らしまし た。
Каскар ууказынаң хада ағастарны суғлааннар.	カスカルはおばあさんといっしょに木々に 水やりをした。

助動詞①

いくつかの動詞は、動詞本来の語彙的意味のほかに、補足的ニュアンスや時制、体などといった文法カテゴリーを表現するために助動詞として用いられます。

ここでは、主たる行為の動詞が副動詞 **-ып** 形 (語幹が子音で終わるときは語幹のみです) となって結びつく、よく使う助動詞を取りあげます。

助動詞 (動詞語幹)	要求する 本動詞の形態	意味
аларға (ал-)	副動詞 -ып 形 例	自分自身 (主語) のために行う行為をあらわします。 (自分のために～する) Ипчiм орғанда чадып алды. (妻はベッドに横になった.)
пирерге (пир-)	副動詞 -ып 形 例	第三者のために行う行為をあらわします。 (～してあげる) Мин хызыма көклөнi ал пиргем. (私は娘に人形を買ってあげた.)
саларға (сал-)	副動詞 -ып 形 例	行為の完了をあらわします。 (～してしまう) Ол минiң книгамны апар салған. (彼は私の本を持って行ってしまった.) Төрт час чарымда тоғазып аларға чоохтас салғабыс. (私たちは4時半に会うことを約束した.)
парарға (пар-)	副動詞 -ып 形 例	行為の完了をあらわします。 (～してしまう) Пүүн хайдағ число пол парды? (今日は何日ですか [何日になった] ?)
сығарға (сых-)	副動詞 -ып 形 例	行為の開始をあらわします。 (～し始める, ～し出す) Кинетiн олған ылғап сыххан. (突然, 子供が泣き出した)
көрерге (көр-)	副動詞 -ып 形 例	行為の試行をあらわします。 (～してみる, ～することを試してみる) Ичемнең чөптес көрдiм. (私はお母さんと相談してみました.) Пу көгенектi кис көрерге чарир ба? (このワンピースを試着してもいいですか?)

одыраға (одыр-)	副動詞 -ып 形 例	行為が現時点で継続していることをあらわします。 (～している, ～し続けている) Чыл сай араласчылар саны өзіп одырча. (毎年, 参加者数は増えている.)
турарға (тур-)	副動詞 -ып 形 例	常時または定期的に行われている, あるいは話者が話している時点で, ある一定の期間継続して行われている行為をあらわします (～している). Наңмыр чаап тур. (雨が降り続けている.)
чөрерге (чөр-)	副動詞 -ып 形 例	長期間, 常時行われる行為をあらわします (～している). Ол хачан даа ырлап ла чөрче. (彼はいつも歌を口ずさんでいる.)

個数詞③

百の位 (чүс)		千の位 (муң)	
1 0 0	пір чүс	1, 0 0 0	пір муң
2 0 0	ікі чүс	2, 0 0 0	ікі муң
3 0 0	үс чүс	1 0, 0 0 0	он муң
4 0 0	төрт чүс	1 5, 0 0 0	он пис муң
5 0 0	пис чүс	1 0 0, 0 0 0	пір чүс муң
6 0 0	алты чүс	1 5 0, 0 0 0	пір чүс иліг муң
7 0 0	читі чүс	1 0 0 万の位 (миллион)	
8 0 0	сигіс чүс	1, 0 0 0, 0 0 0	пір миллион
9 0 0	тоғыс чүс	1 0, 0 0 0, 0 0 0	он миллион
		10 0, 0 0 0, 0 0 0	пір чүс миллион

誕生日の言い方

Сіреп хачан төреезер?	あなたはいつ生まれましたか?
Мин пір муң тоғыс чүс читон пис чылда төреем.	私は1975年に生まれました.
Мин чибіргі сентябрьда төреем.	私は9月20日に生まれました.
Мин төреем ікі муң пір чылда он төрт майда Асхыс аалында.	私は2001年5月14日にアスフス村で生まれました.
Сірепнің төреен күніңер хачан(дыр)?	あなたの誕生日はいつですか?

練習問題 上記の例文を参考にして、以下の日本語をハカス語に訳しましょう。

ヴァシーリー・ラードロフ (Васи́лий Васи́льевич Ра́длов) は1837年1月5日にベルリン (Берлин) で生まれました。

ピョートル1世 (Пастағы Пётр) は1672年6月9日にモスクワ (Москва́) で生まれました。

アリーナ・ザギトワ (Алина Ильназовна Загитова) は2002年5月18日にイジェフスク市 (Иже́вск) で生まれました。

新出単語

изерлирге(изерле-)	<対>鞍をつける	апарарға(апар-)	<対>持って行く, 運ぶ, 連れていく
törirge(töri-)	生まれる	кинетін	突然
тартарға(тарт-)	<対>挽く; 引っぱる, 引きずって運ぶ	ылғирға(ылға-)	泣く
ит	肉	чөптезерге(чөптес-)	<具>相談する
хада	いっしょに	араласчы	参加者
аларға(ал-)	<対>手に取る, 持つて行く; 買う; [助動] 自分のために~する	сан	数
орған	ベッド	чөрерге(чөр-)	行く, 通う; [助動] ~している (長期間の行為)
чадарға(чат-)	横になる	хачан	いつ
көклө	人形	муң	1000
саларға(сал-)	<対>置く; [助動] ~してしまう (完了)	миллион	100万
книга	本	Асхыс	アスフス (アスキス) 村

第 11 課

人称代名詞の具格

具格は、1) その行為をするのに用いる道具や手段、交通手段（～によって、～で）、2) 行為を一緒に行う参加者（～といっしょに）をあらわします。

疑問形は кемнең? (誰と?), нименең? (何を使って? 何といっしょに?) です。

人称代名詞の具格は以下の通りです。

主 格	МИН	СИН	ОЛ	ПІС	СІРЕР	ОЛАР
具 格	МИННЕҢ	СИННЕҢ	АННАҢ	ПІСНЕҢ	СІРЕРНЕҢ	ОЛАРНАҢ
主 格	КЕМ	НИМЕ				
具 格	КЕМНЕҢ	НИМЕНЕҢ				

名詞の具格

具格の接辞

名詞の最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
無 声 子 音 有 声 子 音 母 音	-наң	-нең

例) арғыстарыбыснаң (私たちの友人たちと), ічемнең (私の母と)

練習問題 次の名詞を具格にしましょう。複数形や所有接辞もつけて具格にしましょう。
паба, іче, харындас, пиче, арғыс, нанчы, үгретчі, інек, хой, самнах, пычах, сабын

例文

Ічемнең чөптес көргем.

私はお母さんと相談しました。

Сампир машинанаң килген.

サンプルは車で来ました。

Хакас чоннар орыс тілінең чахсы чоохтасчалар.

ハカス人たちはロシア語を上手に話します。

Сірерні арғыстарымнаң хада таныстырарға сағынчам.

私はあなたを私の友人たちに紹介したいと思っています。

Мин уучамнаң хада пичемзер ааллап чөргем.

私は祖母とともに私の姉のところにお客に行った。

お祝いの表現

お祝いの表現は動詞 **алғыстирға(алғыста-)** (祝う) を使い、お祝いの内容は具格であらわします。

-ған 形過去を具格につけてお祝いの内容を文章であらわすこともできます。

名詞・代名詞対格 (…を)

名詞具格 (お祝いの内容)

алғыстапчам.

例文

Сігерні үлүкүннең алғыстапчам.

私はあなたに祝日のお祝いを言います
(祝日おめでとうございます)。

**Тоғыста маңнаныстарнаң сігерні
алғыстапчам.**

仕事における成功をお祝いします (仕事の成功おめでとう)。

**Аарлығ ат алғаннаң сігерні
алғыстапчам.**

名誉称号を授与されたことに対しお祝い
申し上げます。

挨拶表現 (～おめでとう!) になると、具格だけであらわすことも多いです。

Наа чылнаң!

明けましておめでとう (ございます) !

Төреең күніңнең!

誕生日おめでとう!

Төреең күніңернең!

お誕生日おめでとうございます!

Сигіс март күннең!

国際婦人デー (3月8日) おめでとう!

Үгредігде маңнаныстарнаң!

学業の成功おめでとう!

Үгредігнің пастағы күніңнең!

[君に対して] 新学年の始まりおめでとう!

Пастағы сентябрь күнінең!

新学年の始まり (9月1日) おめでとう!

Үлүкүннең!

祝日おめでとう!

未来形

未来形は、未来に行く、起きる、あるいは行わない、起きない行為をあらわします。

未来形は形動詞未来 **-ap** 形（とその発音上のバリエーション）を動詞語幹につけて、その後には人称接辞をつけてあらわします。

形動詞未来 **-ap** 形は簡単に言うと動詞不定形から **-ra / -re** をとった形です。

未来形 肯定形

動詞語幹 + 接辞 **-ap** + 人称接辞

形動詞未来 **-ap** 形の接辞

動詞語幹の 最後の音	動詞語幹の 最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
子音	-ap	-ep
母音	-ir (下記の発音上の変化を参照)	

形動詞未来 **-ap** 形をつくるときの注意点

動詞語幹が、母音 + 子音 **п, к, х, с** で終わっているとき、これらの子音は2つの母音に挟まれることになるので有声化して、それぞれ子音 **б, г, ғ, з** になります。

例) **пас-** (書く) + **-ap** → **пасар** → **пазар**
пөк- ([問題を] 解く) + **-ep** → **пөкер** → **пөгер**

動詞語幹が子音 **т** で終わっているときは、語幹直前に母音があるときだけ有声化して **д** になります。

例) **сат-** (売る) + **-ap** → **сатар** → **садар**
 従って、直前が子音のときは有声化しません。

例) **өскірт-** (育てる) + **-ep** → **өскіртеp**

動詞語幹が母音で終わっているときは、動詞語幹最後の母音と形動詞接辞最初の母音はひとつの母音 **и** になります。母音調和の法則の例外となります。

例) **аңна-** (狩りをする) + **-ap** → **аңнаар** → **аңниp**
сағы- (待つ) + **-ap** → **сағыар** → **сағиp**
ікінчіле- (疑う) + **-ep** → **ікінчілеep** → **ікінчілиp**
ікі- (頷く) + **-ep** → **ікіep** → **ікиp**

人称接辞表

数	人称	未来形接辞	人称接辞	
単	1	-ар / -ир	-бын / -ым -м*	-арбын / -арым / -ам* -ирбын / -ирым / -им*
		-ер / -ир	-бін / -ім -м*	-ербін / -ерім / -ем* -ирбін / -ирім / -им*
	2	-ар / -ир	-зың	-арзың / -ирзың
		-ер / -ир	-зің	-ерзің / -ирзің
数	3	-ар / -ир	—	-ар / -ир
		-ер / -ир	—	-ер / -ир
複	1	-ар / -ир	-быс	-арбыс / -ирбыс
		-ер / -ир	-біс	-ербіс / -ирбіс
	2	-ар / -ир	-зар	-арзар / -ирзар
		-ер / -ир	-зер	-ерзер / -ирзер
数	3	-ар / -ир	-лар	-арлар / -ирлар
		-ер / -ир	-лер	-ерлер / -ирлер

※ 1 人称単数では、接辞 **-ар** 形最後の **-р** が脱落して人称接辞 **-м** がつく形もあります。すべての動詞ではなく、日常よく使う動詞のときのようなようです。
例) парам, алам, истем, көрем

例文

Мин халас, ит паза яблах
аларбын(аларым).
Пірее чирде тоғас парарбыс.
Піс сірерні ікі часта сағирбыс.

私はパンと肉, じゃがいもを買います。
どこかで会いましょう。
私たちはあなたを2時に待っています。

否定形は形動詞未来否定接辞 **-бас** (とその発音上のバリエーション) を動詞語幹につけてから、人称接辞をつけます。

動詞語幹 + 形動詞未来否定接辞 **-бас** + 人称接辞

否定形接辞

動詞語幹の 最後の音	動詞語幹の 最終音節の母音		例
	硬母音	軟母音	
母音 有声子音 (-М, -Н, -Ңを除く)	-бас	-бес	ойнабас (遊ばない), парбас (行かない), үрбес ([犬が] 吠えない)
無声子音	-пас	-пес	хайнатпас (沸かさない)
-М, -Н, -Ң	-мас	-мес	тоңмас (凍らない), өрінмес (喜ばない)

人称接辞表

数	人称	否定の未来形接辞	人称接辞	
単	1	-бас / -пас / -мас	-пЫН	-баспЫН / -паспЫН / -маспЫН
		-бес / -пес / -мес	-пІН	-беспІН / -песпІН / -меспІН
	2	-бас / -пас / -мас	-сыҢ	-бассыҢ / -пассыҢ / -массыҢ
		-бес / -пес / -мес	-сің	-бессің / -пессің / -мессің
数	3	-бас / -пас / -мас	—	-бас / -пас / -мас
		-бес / -пес / -мес	—	-бес / -пес / -мес
複	1	-бас / -пас / -мас	-пыс	-баспыс / -паспыс / -маспыс
		-бес / -пес / -мес	-піс	-беспіс / -песпіс / -меспіс
	2	-бас / -пас / -мас	-сар	-бассар / -пассар / -массар
		-бес / -пес / -мес	-сер	-бессер / -пессер / -мессер
数	3	-бас / -пас / -мас	-тар	-бастар / -пастар / -мастар
		-бес / -пес / -мес	-тер	-бестер / -пестер / -местер

例文

Пүүн иирде мин столовайда
азыранмаспын.

今日の夜、私は食堂で食事しません。

練習問題 動詞 парарға や нанарға, тынанарға, чирге(чі-), ізерге で主語をいろいろ変えて未来形にしましょう.

練習問題 動詞 ойнирға や килерге, аларға, тынанарға で否定の未来形をつくり, 主語をいろいろ変えていってみましょう.

また, この形は形動詞未来として名詞を修飾することができます (～する…).

例) килер кізі ([これから] やって来る人),

килбес кізі (来ない人)

Келир Наа чылнаң! (来るべき新年おめでとう!)

新出単語

хой	ヒツジ	өскіртерге (өскірт-)	〈対〉育てさせる, 栽 培させる
самнах	スプーン	сағирға(сағы-)	〈対〉待つ
пычах	ナイフ	ікінчілірге (ікінчіле-)	〈対〉疑う
сабын	石鹸	икирге(ики-)	頷く
чон	人々, 民衆; 民族	халас	パン
орыс	ロシア人; ロシア人 の	паза	～と～
таныстырарға (таныстыр-)	〈対〉(～を) 〈具〉(～ と) 知り合いにさせ る, 紹介する	яблах	じゃがいも
тоғазарға (тоғас-)	〈与〉(～に) / 〈具〉(～ と) 会う	столовай	食堂
ааллирға (аалла-)	〈方〉(～に) お客に 行く	азыранарға (азыран-)	食事する
үлүкүн	祝日, 祭日	нанарға (нан-)	帰る, 戻る
маңнаныс	成功	ізерге(іс-)	〈対〉飲む
аарлығ	価値のある, 高価な	тынанарға (тынан-)	休息をとる, 休む

第12課

人称代名詞の奪格

奪格は、1) 行為が始まった場所、人がやってきた場所（～から）、2) 行為が始まった時（～から）、3) 物の材料（～から作った）、4) 原因（～のために、～の理由で）をあらわします。

疑問形は кемнен? (誰のところから?), нимеден? (何から?), хайдан? (どこから?) です。

人称代名詞の奪格は以下の通りです。

主 格	МИН	СИН	ОЛ	ПІС	СІРЕР	ОЛАР
奪 格	МИННЕҢ	СИННЕҢ	АННАҢ	ПІСТЕҢ	СІРЕРДЕҢ	ОЛАРДАҢ
主 格	КЕМ	НИМЕ				
奪 格	КЕМНЕҢ	НИМЕДЕҢ				

名詞の奪格

奪格の接辞

名詞の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
無 声 子 音	-таң	-тең
有 声 子 音 (-м, -н, -ң 以外) 母 音	-даң	-дең
-м, -н, -ң 3 人称所有接辞 (-зы, -ы, -зі, -і, -ии)	-наң	-нең

例) аалдаң (村から), федеральной бюджеттең (連邦予算から),
тоннаң (外套から)

アクセントはいつもこの接辞にあります。

練習問題 次の名詞を奪格にしましょう。複数形や所有接辞もつけて奪格にしましょう。

харындас, нанчы, үгретчі, имнег туразы, аал, киме, магазин, тас

例文

Сіреп хайдаңзар?	あなたはどこから来ましたか？
Мин Хакасиядаң килгем.	私はハカスから来ました。
Мин Сергейдең книгалар алып алдым.	私はセルゲイから本を何冊か借りました。
Пабам ағастаң сомнахты иткен.	私の父は木製スプーンを作りました。
Хакас тілінің урогы ирткен айдан пасталды.	ハカス語の授業は先月から始まりました。
Соохтаң от уйан өсче.	寒さのせいで草の成長が悪い。

形容詞と副詞の比較表現

物や人の特徴の比較表現においては形容詞と副詞には特別な比較級の形はありません。比較の対象（～より）を奪格にしてあらわせばよいです。

例文

Күн айдаң чарых.	太陽は月より明るい。
Пүүр адайдаң улуғ.	オオカミは犬より大きい。
Улуғ харындазым Аястаң табырах чүгүрче.	私の兄はアヤスより足が速い。
Мин синнең пөзікпін.	私は君より背が高い。
Чоохтар чилдең табырах таразар.	人の話（噂）は風より速く広まる。
Пүүн кичеегідең чахсы күн.	今日は昨日よりいい天気です。

形容詞と副詞の最上級の表現

形容詞と副詞の最上級は形容詞と副詞の前に **иң**（もっとも～，一番～）をつけてあらわします。「～のなかで，～のうちで」をあらわすには名詞複数形を奪格にしてあらわします。

例文

Мирген прай тоғынчылардаң иң чахсы кізі.	ミルゲンは全労働者のなかで一番良い人です。
--	-----------------------

練習問題 いろいろな形容詞や副詞を使って，比較や最上級の文章をつくりましょう。

例) 家族間の身長差や年齢について。物の大きさなどについて

「痛い」・体調の表現

「痛い」は動詞 **ағырарға(ағыр-)** を使います。身体の部位に所有接辞をつけてあらわします。

例文

Минің пазым ағырча.

私は頭が痛い。

Сіреңнің істіңер ағырча ба?

あなたはお腹が痛いですか？

Тамаам ағырған.

私はのどが痛かった。

Тізім ағыр сыхты.

私は歯が痛くなり始めた。

Тізектерім ағырбинча.

私の両膝は痛くない。

Істім ағырбаан.

私はお腹が痛くなかった。

体調や症状に関するさまざまな表現

Хайди ағырчазар?

あなたはどうされましたか？

Пазым айланча.

私は頭がクラクラします（めまいがします）。

Идім көйче.

私は熱があります。

Идің ізігленче бе?

君は熱がありますか？

Идіңерде изіг пар ба?

あなたは熱がありますか？

Істім сүрче.

お腹の調子が悪いです。

Көксім хазапча.

胸がキリキリ痛みます。

Сыырыхтырчам.

私は寒気がします。

Тыморапчам.

私はだるさを感じます（体の具合が悪いです）。

Тыморап сыхчам.

私は風邪をひきました。

Мин майыхчам.

私は疲れています。

Чидірчем.

私は咳がでます。

Көксі хызылча.

彼は息切れがします。

身体の名称

身 体 の 名 称			
пас	頭	азах	足
тіс	齒	тізек	膝
тамах	のど	пил	腰, 背中
иңні	肩	істі	腹
(この形が3人称 所有接辞)		(この形が3人称 所有接辞)	
хол	手, 腕	чүрек	心臓
салаа	指	хурсах	胃

練習問題 体調について質問してみましょう.

新出単語

хайдан	どこから	тіс	齒
федеральной	連邦の	тізек	膝
бюджет	予算	айланарға(айлан-)	回る, 回転する
тон	外套	ит	(病気の)熱; 身体
киме	ボート	көйерге(көй-)	燃える; 熱がある
тас	石	ізіленерге (ізіглен-)	暖かくなる; 熱がある
пасталарға (пастал-)	始まる	сүрерге(сүр-)	<対>追い立てる
от	草	істі сүрерге	お腹の調子が悪い, 下痢である
уйан	弱い, 貧弱な; 弱 く, 弱々しく	көксі	胸
чарых	明るい	хазирға (хаза-)	刺すように痛い
пүүр	オオカミ	сыырыхтырарға (сыырыхтыр-)	寒気がする
адай	犬	тыморирға (тымора-)	風邪をひく; だるさ を感じる
табырах	速い; 速く	майығарға (майых-)	疲れる
чүгүрерге (чүгүр-)	走る	чидіерге [*] (чидір-)	咳をする
чоох	話	хызыларға (хызыл-)	圧迫される
таразарға (тарас-)	四散する, 拡散す る, 広まる	көксі хызыларға	息切れする
кичеегі	昨日の	иңні	肩
иң	もつとも~, 一番 ~	хол	手, 腕
прай	すべての	салаа	指
ағырарға(ағыр-)	痛い	пил	腰, 背中
істі	腹	чүрек	心臓
тамах	のど	хурсах	胃

* чидіерге(чидір-) は, 辞書では чиділерге(чиділ-) で掲載されているが, 会話では「-p」で発音されることが多いようである.

第13課

人称代名詞の因格

因格は、1) 主題・テーマ (～について)、2) 行為の理由、原因 (～のために) をあらわします。

疑問形は кемнеңер? (誰について?), нимеднеңер? (何について?) です。

人称代名詞の因格は以下の通りです。

主 格	мин	син	ол	піс	сірер	олар
因 格	миннеңер	синнеңер	аннаңар	пістеңер	сірердеңер	олардаңар
主 格	кем	нине				
因 格	кемнеңер	нинедеңер				

名詞の因格

因格の接辞

名詞の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
有 声 子 音 (-м, -н, -ң を除く) 母 音	-даңар	-деңер
-м, -н, -ң 3 人称所有接辞 (-зы, -зі, -ы, -і)	-наңар	-неңер
無 声 子 音	-таңар	-теңер

例) паладаңар (子供について), киптеңер (服について),
 аалынаңар (彼の村について), сөбіреңнеңер (君の家族について),
 палазынаңар (彼の子供について), палаларынаңар (彼の子供たちについて)

練習問題 次の名詞を因格にしましょう。複数形や所有接辞もつけて因格にしましょう。
 паба, іче, харындас, пиче, олған, хыс, сөбіре, нанчы, үгретчі, ахча, чорых, үгредіг

例文

Мин іче-пабамнаңар сағынчам. 私は両親について考えています。
 Ол поэның істезіг тоғызынаңар сағынча. 彼は自分の研究について考えている。
 Школанардаңар чоохтап пириңер. あなたの学校について話してください。
 Ағастар пөзіктеңер көл көрінминче. 木々の背が高いために湖が見えない。

形動詞 -чатхан 形

形動詞 -чатхан 形は、名詞を修飾して現在進行中の行為をあらわします（～している…）。動作主は属格であらわします。

形動詞 -чатхан 形は、接辞 -чатхан（とその発音上のバリエーション）を副動詞 -ып 形につけてつくりします。

否定形は副動詞否定 -бин 形に接辞 -чатхан（とその発音上のバリエーション）をつけてつくりします。

肯 定 形		
副動詞 -ып 形 の最後の形	副動詞 -ып 形もしくは語幹の最終音節の母音	
	硬 母 音	軟 母 音
副動詞 -ып 形 副動詞 -іп 形 副動詞 -п 形 動詞語幹子音	-чатхан	-четкен
例	ойнапчатхан（遊んでいる） хасчатхан（掘っている）	синепчеткен（計測している） өрінчеткен（喜んでいる）
否 定 形		
副動詞否定 -бин 形	-чатхан	-четкен
例	ойнабинчатхан （遊んでいない） сомминчатхан （泳いでいない）	көрбинчеткен （見ていない）

例文

Минің хынчатхан ойначаам пар. 私には好きなぬいぐるみがあります。

Кем?, ниме? сурығларға нандырчатхан 「誰？」や「何？」の質問に答える語は、
 сөстер адалыс тіп адалчалар. 名詞と呼ばれています。

形容詞の形成接辞 -ЛЫҒ

名詞から形容詞を形成する、最も生産的な接辞を以下にあげます。

この接辞は名詞につけてその名詞の所有（～を持っている）や含有（～がある、～を含んでいる、～を多く含んでいる）、ときにはその名詞が示す特徴をあらわします。

様々な物だけでなく抽象的な名詞から、またロシア語からの借用語にもつけて形成することがあります。

この接辞は名詞を複数形にしてからつけることもできます。

名詞語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 音	軟 音
母 音 有声子音	-ЛЫҒ	-ліҒ
無声子音	-ТЫҒ	-тіҒ
-М, -Н, -Ң	-НЫҒ	-ніҒ

例) маллыҒ (家畜を所有している；< мал：家畜)，тастыҒ (石の多い；< тас：石)，
көглиҒ (楽しい；< көг：楽しさ，陽気)，үннің (声量豊かな< үн：声)，
өріністіҒ (喜びをもたらす；< өрініс：喜び)，
машиналыҒ (車を所有している；< машина：車—ロシア語)

例文

Іңем – нымзах чүректіҒ кизи. 私の母はやさしい心をもった人です。

Хакасия уғаа сіліҒ паза хайхастыҒ. ハカスはとても美しくて感嘆すべき場所です。

形容詞としてだけでなく、副詞となることもあります。

例文

Пүүн мин тоғысха машиналыҒ чөргем. 今日、私は仕事へ車に乗って行った。

練習問題 次の単語から上記接辞を使って形容詞をつくりましょう。

чахайах, ағас, пулут, хайах, харах, түк, ызырға

完了をあらわす接辞 -быс

接辞 -быс は動詞語幹の後につけて、完了の意味（～してしまう）をあらわします。そして、この接辞の後に時制をあらわす接辞、人称接辞が続きます。

否定形は、副動詞 -ып 形のかわりに副動詞否定 -бин 形をつけて、この接辞をつけます。

助動詞 ыс-（送る）が副動詞 -ып 形と一体化して、動詞語幹につける接辞 -быс に変わりました。

完了をあらわす意味では、この接辞と助動詞 **саларға** がよく使われます。

接辞 -быс

動詞語幹の最後の音	動 詞 語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
子 音	-ыбыс	-ібіс
母 音	-быс	-біс

例) сана-（数える）→ санабыс-（数えてしまう，数え終わる）

接辞 -быс をつけるときの注意点

副動詞 -ып 形の最後の音 п や無声子音で終わる語幹最後の無声子音は有声化します。

例) пас-（書く）→ пасыбыс- → пазыбыс-（書いてしまう）

чуғ-（洗う）→ чууп + -ыбыс → чуупыбыс → чуубыбыс-（洗い終える）

сап-（叩く）→ сап + -ыбыс → сапыбыс → сабыбыс-

→ саыбыс- → саабыс-（叩いてしまう）

例文

Ол идіс-хамысты чуубысхан.

彼女は食器を洗い終えた。

Түрче полза Иркечек килібізер.

まもなくイルケジェクが帰ってくる。

Ағас аразында ай-сым полыбысты.

森のなかは静かになった。

天氣の表現②

例文

Ізіг(чылығ / соох) полбысты.	暑く (暖かく / 寒く) なった.
Соохталыбысты(чылыбысты).	寒く (暖かく) なった.
Кицее ізіг полған.	昨日暑かった.
Кицее уғаа чахсы күн полған.	昨日とても良い天気だった.
Таңда хайдығ күн полар?	明日どんな天気になりますか?
Пүүн иирде нанмыр чаар.	今日の夜, 雨が降ります.

新出単語

кип	服, 衣服	хайах	油 ; バター
ахча	お金	түк	毛
чорых	旅, 旅行	ызырға	ピアス
істезіг	研究	машиналығ	車を所有している
көрінерге(көрін-)	見える	нымзах	柔らかい, 軟らかい ; 穏やかな
хазарға(хас-)	<対>掘る	санирға(сана-)	<対>数える
синирге(сине-)	<対>計測する	чуурға(чуғ-)	<対>洗う
адалыс	名詞	сабарға(сап-)	<対>叩く
тіп	〜と	идіс-хамыс	食器
маллығ	家畜を所有している	түрче	まもなく
мал	家畜	полза	〜したならば
тастығ	石の多い	аразында	〜のあいだに
көглиг	楽しい	ай-сым	静かな ; 静かに ; 静けさ
үннің	声量豊かな	поларға(пол-)	〜である
үн	声	чылығ	暖かい
өріністіг	喜びをもたらす	соохталарға (соохтал-)	寒くなる
өрініс	喜び	чылирға (чылы-)	暖くなる ; 暖まる
пулут	雲		

第14課

過去形③ -чаң 形過去 (習慣過去)

-чаң 形過去は、過去に規則的に、いつも、あるいは頻繁に行われた習慣的な行為をあらわします (よく～したものです)。

また、この形は諺や俚諺、一般的なことを言うときにもよく用いられます。そのときはこの接辞特有の過去という特定の意味をもたずに、時制に関係ない普遍的な意味合いをもっていきます。

-чаң 形過去は形動詞 -чаң 形 (とその発音上のバリエーション) を動詞語幹につけ、その後には人称接辞をつけます。

否定形は、動詞語幹に否定形接辞 -ба (とその発音上のバリエーション) をつけてから形動詞 -чаң 形をつけますが、否定接辞が硬母音で終わるときは -чаң, 否定接辞が軟母音で終わるときは -чең をつけてから人称接辞をつけます。

肯定形

動詞語幹 + 形動詞 -чаң 形 + 人称接辞

否定形

動詞語幹 + 否定形接辞 -ба + 過去形接辞 -чаң + 人称接辞

-чаң 形過去の接辞

動詞語幹の 最後の音	動詞語幹の 最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
母音 有聲子音	-чаң	-чең
無聲子音	-чаң	-чең

例) хығырчаң (いつも読む), пасчаң (いつも書く), түсчең (よく落ちる),
садылбачаң (ふだん売られることはない)

練習問題 次の動詞を -чаң 形過去にしましょう。

сыйлирға(сыйла-), чуурға(чуғ-), пазарға(пас-), узирға(узу-), ізерге(іс-),
идерге(ит-)

人称接辞表

数	人称	-чаң 形	人称接辞	
単 数	1	-чаң / -чаң	-мын / -м [※]	-чаңмын / -чам -чаңмын / -чам
		-чең / -чең	-мін / -м [※]	-чеңмін / -чем -чеңмін / -чем
	2	-чаң / -чаң	-зың ^{※※}	-чаңзың / -чазың -чаңзың / -чазың
		-чең / -чең	-зің ^{※※}	-чеңзің / -чезің -чеңзің / -чезің
3	-чаң / -чаң	—	-чаң / -чаң	
	-чең / -чең	—	-чең / -чең	
複 数	1	-чаң / -чаң	-мыс / -быс ^{※※※}	-чаңмыс / -чабыс -чаңмыс / -чабыс
		-чең / -чең	-міс / -біс ^{※※※}	-чеңміс / -чебіс -чеңміс / -чебіс
	2	-чаң / -чаң	-зар ^{※※}	-чаңзар / -чаңзар
		-чең / -чең	-зер ^{※※}	-чеңзер / -чеңзер
	3	-чаң / -чаң	-нар	-чаңнар / -чаңнар
		-чең / -чең	-нер	-чеңнер / -чеңнер
<p>※ 1人称単数で人称接辞 -м はがつくときは、接辞 чаң 形最後の -ң が脱落して人称接辞 -м がつきます。</p> <p>※※ 2人称単数・複数では、接辞 чаң 形最後の -ң が脱落して人称接辞をつけることもあります。</p> <p>※※※ 1人称複数では、接辞 чаң 形最後の -ң が脱落するとき、人称接辞は母音が語末になるので -быс / -біс になります</p>				

例文

- Кічігде мин уғаа арынчах полчаңмын (полчам). 小さい頃、私はとても恥ずかしがり屋だった。
- Мының алнында син удаа килче(ң)зің. 以前、君はよくやって来たものだ。
- Пістің аға-уучабыс тыт ағасха тың хынчаңнар. 私たちの祖父母はカラマツの木がとても好きだったものでした。
- Маңзыраан сеек сүтке түсчең. 諺 急いだハエは牛乳に落ちる。
- Тайғада тілнең аңнабаң. 諺 タイガでは口先だけで狩りはできない。

また、この形は形動詞として名詞を修飾して、その名詞がふだん行う行為や状態、その名詞の恒常的な特徴や保有している性質をあらわします(いつも～する…、いつも～である…)。ある用途に使用する物や施設の用語として多く使われます。

- 例) тоғынчаң аттар (使役馬), садылбаңаң товарлар (非売品),
ісчең суғ (飲用水), іпек итчең завод (パン製造工場),
хығырчаң кинде (読本)

例文

Азыранчаң көңнім чоғыл. 私には食欲がない。

人称代名詞の比較格

比較格は、1) 概数(およそ～、～程度、～と同じ大きさの)、2) 準拠(～に従って)、3) 沿行動(～に沿って)、をあらわします。

疑問形は кемче? (誰に似て?), нимече? (何に似て? 何に沿って? 何に従って?) です。

人称代名詞の比較格は以下の通りです。

主 格	мин	син	ол	піс	сірер	олар
比較格	минче	синче	анча	пісче	сірерче	оларча
主 格	кем	ниме				
比較格	кемче	нимече				

名詞の比較格

比較格の接辞

名詞の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
無 声 子 音	-ча	-че
有 声 子 音 母 音 (-зы, -зі, -ы, -і 以外)	-ча	-че
3 人称所有接辞形 (-зы, -зі, -ы, -і)	-нча	-нче

例) чолча (道に沿って), тигірче (空に沿って),
пүүрче адай (オオカミと同じ大きさの犬)

3 人称単数と複数の比較格では, 所有接辞と格接辞のあいだに **-н-** がはいらいます.

例) ізінче (その跡を追って), чолынча (その道に沿って),
істерінче (その複数の跡を追って)

練習問題 次の名詞を比較格にしましょう. 複数形や所有接辞もつけて比較格にしましょう.
тағ, стене, тура, інек, тас, план, кізі, стол

例文

Тигірче ах пулуттар учуччалар.

空を白雲が漂っている.

Піс наа планча тоғын сыхтыбыс.

私たちは新しい計画に従って仕事を始めた.

形容詞と動詞の名詞化

1) 形容詞の名詞化

形容詞は所有接辞をつけると名詞化し, 「~なもの」, 「~なこと」という意味になります. 名詞の属格や人称代名詞の属格とともに用いられるのがふつうです.

例) сұғның узуну (川の長さ)

形容詞に名詞の複数形接辞をつけると名詞化して「~な人々」をあらわします.

例) кирілер (お年寄りたち), кішілер (小さい子たち, 子供たち),
чииттер (若者たち)

2) 動詞の名詞化

動詞が名詞を修飾する形である形動詞は、所有接辞をつけると名詞化して「～する（～した）こと」をあらわします。形動詞は述語としても使われるので、既習した形動詞である **-ған** 形, **-чатхан** 形, **-чаң** 形, **-ар** 形, **-бас** 形が名詞化します。とくに, **-ар** 形と **-бас** 形に3人称所有接辞がつくと時制に関係なく、何よりもその行為そのもの（～すること）をあらわすことが多く、本の中でテーマや項目、表題としてよく用いられます。

例) **автобустың парыбысханы** (バスが行ってしまったこと),
мал өскірегі (家畜の飼育)

また、形容詞と同様に、形動詞に名詞の複数形接辞をつけることでも名詞化します（～な人たち）。

例) **тоғынчатханнар** (働いている人たち, 労働者たち), **килгеннер** (来た人たち)
名詞化した形容詞と形動詞は、名詞同様に格変化をします。

概数

概数をあらわす方法はいくつかありますが、その中から2つ紹介します。

1) 前後の数字を並べる方法

前後の数字を小さいほうの数字からハイフンでつないで並べます。数詞に続く名詞は単数形がふつうですが、複数形のときもあります。

例) **бір-ікі ағастар** (1, 2本の木)

2) 個数詞を比較格にしてあらわす方法

個数詞に名詞の比較格接辞をつけると概数をあらわすことができます。合成数詞のときは末尾の数字に比較格接辞をつければよいです。

писче (5個ぐらい), **отысча** (およそ30個), **муңча** (約1000),
төрт чүс илігче (およそ450)

値段をたずねる・いう表現

値段をたずねる表現は動詞 **турарға(тур-)** (～の値がする) と、数量をたずねる疑問詞 **нинче** (いくつ) を与格にして用いて、以下の表現にします。

「…はいくらですか？」

名詞単数形 нинчеге турча? / **名詞複数形** нинчеге турчалар?

単語 **паа** (値段, 価格) を使ってもあらわせます。

名詞属格 паазы нинче? 「…の値段はいくらですか？」

ロシアの通貨単位「ルーブル」は **салковай** であらわします。

例文

Нинчәе турча?	いくらですか？
Пір чүс алтон пис салковой.	165ルーブルです。
Чидір имі нинчәе турча?	咳止めの薬はいくらですか？
Пір килограмм яблаһ нинчәе турча?	じゃがいも 1 kgはいくらしますか？
Пір килограмм палых ікі муң салковой турча.	魚 1 kgは2000ルーブルです。
Имнің паазы нинчәе?	薬の値段はいくらですか？
Мағаа нинчәе ахча төлирге кирек?	私はいくら支払わないといけませんか？
Нинчәе миннең?	私はいくら払いますか？

新出単語

түзерге(түс-)	落ちる	стене	壁
садыларға (садыл-)	売られる	план	計画
арынчах	恥ずかしがり屋の	стол	机
аға-ууча	祖父母	учуғарға(учух-)	飛ぶ
тыт	カラマツ	узун	長い
маңзырға (маңзыра-)	急ぐ	кирі	歳をとった
сеек	ハエ	чиит	若い
сүт	乳	автобус	バス
тайға	タイガ	салковой	ルーブル (ロシアの 通貨単位)
товар	商品	чидір [辞書では чиділ の形]	咳
іпек	パン	им	薬
көңні	望み, 欲望, 気分, ~したい気持ち	килограмм	キログラム (kg)
іс	跡	төлирге(төле-)	<対>払う, 支払う

第15課

被動態

動詞語幹に受け身や使役などの意味をあらわすさまざまな接辞をつけて、あらたに動詞を形成することができます。この課では被動（受け身）をあらわす接辞を取りあげます。

被動態は受け身の意味になり（～される）、動作主は具格（～によって）か与格（～に対して）であらわします。

主として他動詞から形成されます。

被動態接辞

動詞語幹の 最後の音	動 詞 語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
子 音	-ЫЛ	-ІЛ
母 音	-Л	

例) пас-（書く）→ пазыл-（書かれる；不定形 пазыларға），
ит-（する，作る）→ иділ-（される，作られる；不定形 иділерге），
паста-（始める）→ пастал-（始められる，始まる；不定形 пасталарға）

被動態をつくる時の注意点

動詞語幹最後の子音が無声子音（с, т, п, к, х）のとき、被動態接辞がついてその子音はその前後の母音に挟まれた場合、無声子音は有声化します（それぞれ з, д, б, г, ғ になります）。

例) ит-（する，作る）+ -іл → иділ-（作られる）

動詞語幹最後の子音が ғ, г, ң のとき、被動態接辞をつけてその子音はその前後の母音に挟まれた場合、子音 ғ, г, ң は脱落し、1つの長母音になります。

例) сағ-（搾乳する）+ -ыл → сағыл- → саыл- → саал-（搾乳される）
чығ-（集める）+ -ыл → чығыл- → чыыл-（集まる）

例文

Ағастар чилге чайхалчалар.

木々が風に揺れている。

Кип-азах чуулған.

服は洗濯された。

Кізінің фамилиязы, ады паза пабазының
ады улуғ буквадаң пасталча.

人の姓と名前，父称は大文字で始められる。

Пу кип хайдағ истең тігілген?

この服はどんな生地から縫製されていますか？

「～できる」, 「～できない」の表現

副動詞 **-ЫП** 形の後に助動詞 **пол-** をつけて用いると, 可能・能力 (～できる) や不可能 (～できない) をあらわします. 可能をあらわす助動詞 **пол-** の後に完了などをあらわす他の助動詞をつけることができます. その際は助動詞 **пол-** は副動詞 **-ЫП** 形 / 副動詞否定 **-бин** 形になります.

現在形

肯定形

副動詞 **-ЫП** 形 **пол-** + **-ча** + 人称接辞

否定形

副動詞 **-ЫП** 形 **пол-** + **-бин** + **-ча** + 人称接辞

過去形は助動詞 **пол-** を過去形にします. 否定形は助動詞 **пол-** を否定形にします.

肯定形

副動詞 **-ЫП** 形 **пол-** + 過去形接辞 + 人称接辞

否定形

副動詞 **-ЫП** 形 **пол-** + **-ба** + 過去形接辞 + 人称接辞

未来形は助動詞 **пол-** を未来形にします.

肯定形

副動詞 **-ЫП** 形 **полар** + 人称接辞

否定形

副動詞 **-ЫП** 形 **полбас** + 人称接辞

例文

Мин үгрэн полчам.

私は学ぶことができます.

Мин сірерні піл полбинчам.

私はあなたの言っていることが分かりません.

Піс санап полбинчабыс.

私たちは数えることができません.

Мин пу учебникті садып ал полдым.

私はこの教科書を買うことができた.

Олар санап полбааннар.

彼らは数えることができなかった.

Мин концертке пар полбин салдым.

私はコンサートに行くことができなかった.

Мин кил поларбын(полам). 私は来ることができます。
 Ол тоғын полар ба? 彼は働くことができるのだろうか？
 Ол тоғын полбас ба? 彼は働くことができないのだろうか？

多回体

多回体は、1) 行為の反復、2) 同じ行為を多くの主体によって行われる行為をあらわし、動詞語幹に以下の接辞をつけてつくります。

この接辞は完了をあらわす接辞など他の接辞とともに使うことができます。

多回体をあらわす接辞

動詞語幹の 最後の音	動 詞 語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
子 音	-хла	-кле
母 音	-гла	-гле

例) турғысхла- ([何度も] 立てる), турғысхлабыс- ([何度も] 立ててしまう)

例文

Олғаннар тасхар ойнағлапчалар. [多くの] 子供たちが外で遊んでいる。
 Ағын хустар көөлче-көөлче хыстаңаң [多くの] 渡り鳥たちがゆっくりと越冬地
 чирлерзер парғлапчалар. へ向かっている。
 Ол мында чуртапчатхан кізілерден 彼はここに住んでいる人々から彼らの言
 оларның тілін сурастырғлаан. 語について何度も質問した。
 Часхыда пірееде наңмыр чағғлаан. 春, ときどき雨が降った。

時刻, 時をあらわす表現②

「～時…分」は次のような言い方もできます。

「…分」 「次の時刻：個数詞 + 与格 (～時に)」 парча.

例) Он минута үске парча. (2時10分；3時まで10分が過ぎている)

「～時 (分) から」は奪格であらわします。

例) сугіс частаң (8時から)

「～時間後」は後置詞 пазынаң を用いて以下のようにして言います。пазынаң の代わりに奪格であらわすこともあります。

「個数詞 + час(минута)」 пазынаң

例) пис минута пазынаң (5分後に)

例文

Кино ікі частаң пасталча.

映画は2時から始まります.

Мин пір час чарымнаң килем.

私は1時間半後に来ます.

新出単語

иделерге(иділ-)	される, 作られる	учебник	教科書
саарға(сағ-)	<対>搾乳する	садып аларға	<対>買う
сааларға(саал-)	搾乳される	концерт	コンサート
чыыларға(чыыл-)	集まる	турғызарға (турғыс-)	<対>立てる, 立てて置く
чайхаларға (чайхал-)	揺れる	ағын	[鳥が] 渡りの
кип-азах	服, 衣服, 衣料	хус	鳥
чууларға(чуул-)	洗濯される	көөлче	ゆっくりと
фамилия	姓	хыстирға(хыста-)	冬を過ごす
ис	生地	сурастырарға (сурастыр-)	<対>質問する
тігілерге(тігіл-)	縫製される	пірееде	ときどき

第16課

使役態

使役態をあらわす接辞はいくつかありますが、ここではその代表的な接辞を取りあげます。

使役態は、1) 自動詞からつくると使役(～させる)の意味になり、2) 他動詞からつくると、人に対する強制や命令、懇請、許可のニュアンスを含んだ使役行為をあらわします([人に]～させる、～してもらう)。

使役態は以下の接辞を動詞語幹につけてつくります。

動詞語幹の 最後の音	動 詞 語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
無 声 子 音	-тыр	-тір
有 声 子 音	-дыр	-дір
母 音	-т	

例) пас- (書く) → пастыр- (書かせる), кис- (切る) → кистір- (切らせる),
 чар- (ちくちく刺す) → чардыр- (ちくちく刺させる),
 күл- (笑う) → күлдір- (笑わせる),
 сөле- (話す, 伝える) → сөлет- (呼びだす, 知らせる)

例文

Мин той полар күнни сөледібістім. 私は結婚式の日取りを知らせた.

命令形② 1人称と3人称

1) 1人称の命令形

1人称の命令形は2種類あり、1つは「(自分が) ~しよう」の意味(表では「1人称単数」)になり、もう1つが1人称双数形(自分ともう1人)で「(1人に向かって) ~しましょう」の意味になります。

1人称複数の命令形「(自分と2人以上に対して) ~しましょう」の接辞は2種類あります。

-ибыс(とその発音上のバリエーション)は聞き手を含まない形(私とその身内など)で、**-аңар**(とその発音上のバリエーション)は聞き手も含めた私たちが「~しましょう」の意味になります。

人称	数	語幹最後の音	語幹最終音節の母音		
			硬母音	軟母音	
1	単数		-им		
	双数		-аң	-ең	
	複数	母音 子音	-ибыс	-иби́с	
		母音 子音	-аңар -алар (サガイ方言)	-еңер -елер (サガイ方言)	

例) сал- (置く) + -им → салим, көр- (見る) + -им → көрим

1人称単数の命令形接辞をつけるときの注意点

動詞語幹の最後が母音で終わるとき、語幹最後の母音を脱落させて命令形接辞 **-им** をつけます。

例) ырла- (歌う) + -им → ырлаим → ырлим
сине- (計測する) + -им → синеим → синним

否定形の場合も否定形接辞最後の母音 **a** を脱落させて命令形接辞 **-им** をつける。

例) ырла- (歌う) + -ба + -им → ырлабаим → ырлабним

動詞語幹の最後が子音 **-п, -т, -к, -х, -с** で終わるとき、それらの子音は2つの母音に挟まれることになり有声化して、それぞれ **-б, -д, -г, -ғ, -з** に変わる。

例) сат- (売る) + -им → сатим → садним

1 人称双数の命令形接辞をつける例と注意点

例) сал- (置く) + -аң → салаң

көр- (見る) + -ең → көрең

動詞語幹の最後が母音で終わるとき、隣同士並んだ2つの母音は1つの長母音 -aa- か -ee- になります。

例) ырла- (歌う) + -аң → ырлааң

сине- (計測する) + -ең → синеең

сағы- (待つ) + -аң → сағыаң → сағааң

動詞語幹の最後が子音 -п, -т, -к, -х, -с で終わるとき、それらの子音は2つの母音に挟まれることになるので有声化して、それぞれ -б, -д, -г, -ғ, -з に変わります。

例) сат- (売る) + -аң → сатаң → садаң

1 人称複数の命令形接辞をつけるときの注意点

1 人称複数の命令形接辞 -ибыс(-ибіс) をつける際、動詞語幹の最後が母音で終わるとき、語幹最後の母音を脱落させて命令形接辞 -ибыс(-ибіс) をつけます。

否定形の場合も否定形接辞最後の母音 а を脱落させて命令形接辞 -ибыс(-ибіс) をつけます。

例) ырла- (歌う) + -ибыс → ырлаибыс → ырлибыс

сине- (計測する) + -ибіс → синеибіс → синибіс

ырла- (歌う) + -ба + -ибыс → ырлабаибыс → ырлабибыс

1 人称複数の命令形接辞 -ибыс(-ибіс) をつける際、動詞語幹の最後が子音 -п, -т, -к, -х, -с で終わるとき、それらの子音は2つの母音に挟まれることになり有声化して、それぞれ -б, -д, -г, -ғ, -з に変わります。

例) сат- (売る) + -ибыс → сатибыс → садибыс

1 人称複数の命令形接辞 -аңар(-еңер) をつけるとき、語幹最後の母音は脱落しません。

例) ырла- (歌う) + -аңар → ырлааңар

сине- (計測する) + -еңер → синееңер

しかし、動詞語幹の最後が母音 а あるいは e 以外の母音で終わるときは、となり同士並んだ2つの母音は一つの長母音 -aa- か -ee- になります。

例) сағы- (待つ) + -аңар → сағыаңар → сағааңар

1 人称複数の命令形接辞 -аңар(-еңер) をつける際、動詞語幹の最後が子音 -п, -т, -к, -х, -с で終わるとき、それらの子音は2つの母音に挟まれることになり有声化して、それぞれ -б, -д, -г, -ғ, -з に変わります。

例) сат- (売る) + -аңар → сатаңар → садаңар

例文

Сүттүг чай урим ма?

乳茶を入れましょうか？

Че, хада параан.

[1人の人に] さあ、いっしょに行こう。

Көмес чоохтазаан.

[1人の人に] 少し話しましょう。

Сірерні универмагка читіре үдес салим.

私はあなたをデパートまで連れて行ってあげましょう。

2) 3人称の命令形

3人称の命令形は「～させよ」、「～しますように」の意味になります。

以下の接辞になります。

否定形は動詞語幹に否定接辞 **-ба** (とその発音上のバリエーション) をつけてから、3人称の命令形接辞をつけます。

人称	数	語幹最後の音	語幹最終音節の母音	
			硬母音	軟母音
3人	単数	有声子音母音	-зын	-зін
		無声子音	-сын	-сін
人称	複数	有声子音母音	-зыннаp	-зіннер
		無声子音	-сыннаp	-сіннер

例文

Чолың азых ползын!

道中無事に過ごしますように！

Чахсы ниме чағын ползын, чабал ниме чара чөрзін!

良いことが [あなたの近くに] やってきますように、悪いことはどこかへ行ってしましますように！

Хазиңар пик ползын!

あなたが健康でいられますように！

Пу үлүкүнде сірерге, сөбіреңерге ырыс, часка паза чахсы чуртас алғапчам, чахсы киректеріңерге талаан ползын!

この [今日の] 祝日にあなたがたとその家族の皆様にご幸福と平穩で素晴らしい生活を祈ります、そしてあなたがたが着手された有益な仕事が成功しますように！

新出単語

пастырарға (пастыр-)	書かせる	универмаг	デパート
кистірге (кистір-)	切らせる	үдезерге (үдес-)	〈対〉送っていく
чарарға(чар-) чардырарға (чардыр-)	〈対〉ちくちく刺す ちくちく刺させる	азых чағын	開いている 近い, 近くの; 近く に
күлерге(күл-)	笑う	чабал	悪い, 邪悪な, 敵意 ある
күлдірге (күлдір-)	〈対〉笑わせる	чара	個々に, ばらばらに, 離れて
сөледерге (сөлет-)	〈対〉呼びだす, 知 らせる	хазых	健康
той	結婚式	пик	丈夫な, 堅固な
ырлирға(ырла-)	〈対〉歌う	ырыс	幸福; 成功
сүтгүг	乳が入った	часка	幸福
чай	茶	чуртас	生活
урарға(ур-)	〈対〉注ぐ	алғирға(алға-)	祝福する, はなむけ の言葉を言う, 良い ことを祈る
че	さあ	кирек	事, 仕事, 事業
көмес	少し	талаан	幸福; 成功, 開運, ついていること

第17課

再帰態

再帰態は、自分自身を対象として行われる行為をあらわします。

再帰態は動詞語幹に以下の接辞をつけてつくります。

動詞語幹の 最後の音	動 詞 語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
子 音	-ЫН	-ІН
母 音	-Н	

例) хыр- (剃る) → хырын- (自分でひげなどを剃る),

көр- (見る) → көрін- (自分の姿を眺める),

тимне- (準備する) → тимнен- (準備する, 用意を整える)

再帰態をつくるときの注意点

動詞語幹最後の子音が Ғ, Г, Н のとき、再帰態接辞をつけてその子音とその前後の母音に挟まれた場合、子音 Ғ, Г, Н は脱落し、1つの長母音になります。

例) чуғ- (洗う) + -ЫН → чуғын- → чуын- → чуун-

(洗顔する, 体を洗う)

例文

Мылчада чуун салдым.

私はサウナ風呂に入った。

Мин көріндеске көрін одырдым.

私は鏡を見ていた。

条件法

条件法は、1) 別の行為を行う前提条件をあらわす行為 (もし～ならば)、2) 行為が行われる時 (～したら…), 3) 対比 (～であるのに対し…) をあらわします。

条件法は動詞語幹あるいは助動詞語幹に条件法をあらわす接辞 **-за** (とその発音上のバリエーション) をつけて、その後に人称接辞をつけます。

否定形は動詞語幹の後に否定をあらわす接辞 **-ба** (とその発音上のバリエーション) をつけ、その後に条件法接辞、人称接辞をつけてあらわします。

現在形では動詞語幹と条件法接辞のあいだに接辞 **-чат-** / **-чет-** を入れてあらわすことがよくあります。その否定形は動詞語幹と接辞 **-чат-** / **-чет-** のあいだに否定形接辞 **-бин** (とその発音上のバリエーション) を入れます。

条件法を未来の意味であらわしたいときは、主たる行為をあらわす動詞を肯定形なら形動詞 **-ap** 形、否定形なら形動詞 **-бас** 形にして（第 11 課未来形参照）、その後に **полза** をつけてあらわします。

動詞を過去形にすると仮定法の意味になります（第 19 課仮定法参照）。

「もし」をあらわす語として **илебесте, илебести** があります。

条件法接辞

動詞語幹の 最後の音	最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
母 音 有 声 子 音	-за	-зе
無 声 子 音	-са	-се

人称接辞をつけると以下ようになります。

数	人称	条件接辞 -за	人称接辞	
単 数	1	-за / -са	-м	-зам / -сам
		-зе / -се		-зем / -сем
	2	-за / -са	-ң	-заң / -саң -зең / -сең
複 数	1	-за / -са	-быс	-забыс / -сабыс
		-зе / -се		-біс
	2	-за / -са	-ңар	-заңар / -саңар
		-са / -се	-ңер	-саңер / -сеңер
	3	-за / -са	-лар	-заар / -салар
		-зе / -се	-нер	-зенер / -сенер

例文

Наңмыр чағза, тынанарбыс.	雨が降るならば, 私たちは休息します.
Наңмыр чағбаза, тынанмаспыс.	雨が降らなければ, 私たちは休息しません.
Илебести аалчы килібіссе, маң чох полыбызар.	もしお客が来ると, 暇な時間がなくなります.
Соохталза, ағастарға тикпер түсче.	寒いと, 木々に霜が降りる.
Хақан сағаа сидік полчатса, кізілерзер айлан.	君が困難なときは, 人に助けを求めなさい.
Чаа тоозыл парза, Хакасиязар пар килерге сағынчам.	戦争が終わったら, ハカスに行って来ようと思っ ています.

新出単語

хыраңға(хыр-)	〈対〉剃る	илебести	もし
хырынаңға(хырын-)	自分でひげなどを剃る	аалчы	客
көрінерге(көрін-)	自分の姿を見る	тикпер	霜
тимненерге (тимнен-)	準備する, 用意を整える	хақаң	~ときに
чуунаңға(чуун-)	洗顔する, 体を洗う	сидік	難しい, 困難な
мылча	サウナ風呂	чаа	戦争
көріндес	鏡	тоозыларға (тоозыл-)	終わる
илебесте	もし		

第18課

譲歩法

条件文（条件法：第17課参照）をあらわす従属節中に助詞 **даа**（とその発音上のバリエーション）を入れると、譲歩（～だけれども、～だとしても）をあらわします。

助詞 даа

助詞 даа 直前の 単語最後の音	最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
母音 有声子音	даа	дее
無声子音	таа	тее

例文

Парзам даа, маңнанмаспын.

私は出かけたとしても、間に合いません。

Көп чыллар ирт тее парған полза,
төрөөн аалым, Харагай паарым,
чүреемнең, сағызымнаң сыхпинча.

多くの年月が経ってしまったけれども、私の故郷の村ハラガイは私の頭からも、心からも、思考からも消え失せることはありません。

Кирі дее полбаан полза, пазын
улам на аппагас хыр чаап партыр¹.

年をとっているわけではないのに、彼の頭は白髪だらけになったようだ。

1: -тыр 形過去は第22課参照

後置詞と格

後置詞は、主に2つの方法でできています。1つは動詞の副動詞形が後置詞になったものです。これらの後置詞は変化しません。後置詞の前につく名詞はそのもとになった動詞が支配した格を必要とします。

もう1つの後置詞のグループは空間的位置や時間関係をあらわす名詞に所有接辞がつき、その後に与格や位格、奪格などの格接辞がついてできています。ふつう名詞の後に続くので、3人称所有接辞がついて形成されていますが、「私の前に」、「あなたの後ろから」など人称代名詞が後置詞につくときは元になる名詞には1人称や2人称所有接辞がついて後置詞となります。

後置詞の前には形動詞がくることもあります。

よく用いる後置詞と用例の表を巻末に掲載しておきます。ここでは例文を数例挙げておくに留めます。

例文

Ағас аразында ай-сым полыбысты.	森の中は静かになった.
Иб істінде арығ.	家のなかは清潔できれいです.
Наңмыр соонда тасхар өл.	雨の後, 外(道)は濡れている.
Ай Чир ибіре айланча.	月は地球の周りを回っている.
Ізікке теере аны үдескем.	ドアのところまで私は彼女を送った.

新出単語

маңнанарға (маңнан-)	間に合う	чабарға(чап-)	〈対〉覆う; 閉める, 閉じる
көп	たくさんの	істінде	〈属〉~のなかに
паар	肝臓; 心	арығ	きれいな, 清潔な
сағыс	心; 思考, 考え	соонда	〈属〉~の後に
улам	ますます	өл	湿った
аппағас	真っ白な	ибіре	〈対〉~の周りを
хыр	白髪の	теере	〈与〉~まで

第19課

相互態

相互態は、1) 相互行為 (2人あるいは2人以上の人々が同時に、あるいは交互に行うこと；～し合う)、2) 一緒に行う行為 (一緒に行う、あるいはその行為を手伝うこと；一緒に～する、～するのを手伝う) をあらわします。

相互態は動詞語幹に以下の接辞をつけてつくります。

動詞語幹の 最後の音	動 詞 語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
子 音	-ЫС	-іс
母 音	-с	

例) пас- (書く) → пазыс- (文通する),
 пök- (解く) → пöгіс- (誰かといっしょに解く, 解くのを手伝う),
 чоохта- (話す) → чоохтас- (おしゃべりする, 会話する)

相互態をつくるときの注意点

動詞語幹最後の子音が無声子音のとき、相互態接辞がついてその子音はその前後の母音に挟まれた場合、無声子音は有声化します。

例) пас- (書く) + -ЫС → пасыс- → пазыс- (文通する)
 тут- (つかんでいる, 持っている) → тудыс- (喧嘩する, 殴り合う)

相互態の接辞がつくことで相互態本来の意味が変わる動詞もあります。

例) тут- (つかんでいる, 持っている) → тудыс- (喧嘩する, 殴り合う)

例文

Ўрдең көріспедібіс.

私たちは長い間会っていませんでした (久しぶりですね).

Оолнаң хыс хынызыбысханнар.

この男女の若者たちはお互い好きになった.

仮定法

仮定法は、1) 現実の事実に反する事柄をあらわす仮定（もし…だったら、～だろうに）、2) 丁寧な依頼（～していただけませんか）や願望（～したいんだが、～したらいいのに）をあらわします。

仮定法は接辞 **-ЧЫХ**（とその発音上のバリエーション）を形動詞未来 **-ар** 形（否定形は形動詞 **-бас** 形）につけ、その後に人称接辞をつけてつくります。

条件節をともなう場合は、ふつう条件法の時制を過去形にして用います。条件法の過去形は、形動詞 **-ған** 形と **полза** を組み合わせます。主たる行為をあらわす動詞を形動詞 **-ған** 形にして、その後に **полза** をつけます。人称接辞は **полза** のほうにつけます。

否定形は形動詞 **-ған** 形の否定形のつくり方と同じで、動詞語幹と **-ған** 形のあいだに否定接辞 **-ба**（とその発音上のバリエーション）を入れればよいです。

仮定法の接辞

肯定形

形動詞未来形 の接辞	
-ар -ир	-ЧЫХ
-ер -ир	-ЧИК

否定形

形動詞未来形 の接辞	
-бас -пас -мас	-ЧЫХ
-бес -пес -мес	-ЧИК

仮定法

動詞語幹 + 形動詞 **-ар** 形 / **-бас** 形 + 仮定法接辞 + 人称接辞

人稱接辭をつけると以下ようになります.

肯定形

数	人稱	假定法	人稱接辭	
単 数	1	-арчыx -ирчыx	-пын	-арчыxпын -ирчыxпын
		-ерчік -ирчік	-пін	-ерчікпін -ирчік
	2	-арчыx -ирчыx	-сың	-арчыxсың -ирчыxсың
		-ерчік -ирчік	-сің	-ерчіксің -ирчіксің
	3	-арчыx -ирчыx	—	-арчыx -ирчыx
		-ерчік -ирчік	—	-ерчік -ирчік
複 数	1	-арчыx -ирчыx	-пыс	-арчыxпыс -ирчыxпыс
		-ерчік -ирчік	-піс	-ерчікпіс -ирчікпіс
	2	-арчыx -ирчыx	-сар	-арчыxсар -ирчыxсар
		-ерчік -ирчік	-сер	-ерчіксер -ирчіксер
	3	-арчыx -ирчыx	-тар	-арчыxtар -ирчыxtар
		-ерчік -ирчік	-тер	-ерчіктер -ирчіктер

否定形

数	人称	假定法	人称接辞	
単 数	1	-басчых, -пасчых, -масчых	-пын	-басчыхпын, -пасчыхпын, -масчыхпын
		-бесчїк, -песчїк, -месчїк	-пїн	-бесчїкпїн, -песчїкпїн, -месчїкпїн
	2	-басчых, -пасчых, -масчых	-сың	-басчыхсың, -пасчыхсың, -масчыхсың
		-бесчїк, -песчїк, -месчїк	-сїң	-бесчїксїң, -песчїксїң, -месчїксїң
	3	-басчых, -пасчых, -масчых	—	-басчых, -пасчых, -масчых
		-бесчїк, -песчїк, -месчїк	—	-бесчїк, -песчїк, -месчїк
複 数	1	-басчых, -пасчых, -масчых	-пыс	-басчыхпыс, -пасчыхпыс, -масчыхпыс
		-бесчїк, -песчїк, -месчїк	-пїс	-бесчїкпїс, -песчїкпїс, -месчїкпїс
	2	-басчых, -пасчых, -масчых	-сар	-басчыхсар, -пасчыхсар, -масчыхсар
		-бесчїк, -песчїк, -месчїк	-сер	-бесчїксер, -песчїксер, -месчїксер
	3	-басчых, -пасчых, -масчых	-тар	-басчыхтар, -пасчыхтар, -масчыхтар
		-бесчїк, -песчїк, -месчїк	-тер	-бесчїктер, -песчїктер, -месчїктер

例文

Наңмыр полбаан полза, пїс
парыбызарчыхпыс.

もし雨が降らなかったのなら、私たちは出か
けたのに。

Кичее чахсы кўн полған полза, мин
сомарға парарчыхпын.

もし昨日いい天気だったなら、私は泳ぎに行
ったのに。

Мин көмес узуп аларчыхпын.

私は少し眠りたいのだが。

Пїр чїрче чей їзерчїкпїн.

私は紅茶を1杯飲みたいのですが。

Мин базарға читїре пар килерчїкпїн.

私は市場まで行きたいのですが。

新出単語

пазызарға(пазыс-)	文通する	үрдең	長い間, かなり前から
пөгізерге(пөгіс-)	誰かといっしょに解く, 解くのを手伝う	чірче	ティーカップ
тударға(тут-)	<対>つかむ	чей	茶
тудызарға(тудыс-)	喧嘩する, 殴り合う	базар	市場, バザール

第20課

-чатхан 形過去

第13課で学習した形動詞 **-чатхан** 形は述語で用いると、過去のある一定期間に行われた行為をあらわします（そのとき…していた）。

行為のプロセスをあらわすだけで行為の完了はあらわしていません。自然描写によく用いられます。

-чатхан 形過去は動詞語幹につけた形動詞 **-чатхан** 形（とその発音上のバリエーション）の後に人称接辞をつけてあらわします。

否定形は副動詞否定 **-бин** 形に接辞 **-чатхан**（とその発音上のバリエーション）をつけてつくり、その後に人称接辞をつけます。

人称接辞をつけるとき、1人称と2人称では接辞 **-чатхан** 形最後の **-н** が脱落して人称接辞がつきます。

-чатхан 形過去形

肯定形

副動詞 **-ып** 形 / 動詞語幹

+

形動詞 **-чатхан** / **-четкен** 形

+

人称接辞

否定形

動詞語幹

+

副動詞否定形 **-бин** 形

+

形動詞 **-чатхан** / **-четкен** 形

+

人称接辞

人称接辞表

数	人称	-чатхан 形	人称接辞	
単 数	1	-чатхан -четкен	-м	-чатхам -четкем
	2	-чатхан	-зың	-чатхазың
		-четкен	-зің	-четкезің
複 数	1	-чатхан	-быс	-чатхабыс
		-четкен	-біс	-четкебіс
	2	-чатхан	-зар	-чатхазар
		-четкен	-зер	-четкезер
	3	-чатхан	-нар	-чатханнар
		-четкен	-нер	-четкеннер

例文

Агаа чол даа көрiнминчеткен.

彼女には [そのとき] 道さえも見えなかった。

Ол ылғап ала парчатхан.

彼女は [そのとき, 一定のあいだ] 泣いていた。

第13課で学習したように, 形動詞 **-чатхан** 形は定語として名詞を修飾して進行中の行為をあらわします。

副動詞 **-a** 形

副動詞 **-a** 形は, 主たる行為と同時にされる行為 (～しながら) をあらわします。副動詞 **-ып** 形よりも主たる行為との関係が密接であり, 副動詞 **-ып** 形ほど頻繁には用いられず, 熟語的な使い方が多いです。

副動詞 **-a** 形はすでに副詞化, 後置詞化してしまった語が多くあります。

副動詞 **-a** 形は, 接辞 **-a** (とその発音上のバリエーション) を動詞語幹につけてつくります。

副動詞 **-a** 形の接辞

動詞語幹の最後の音	語幹の最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
子音	-a	-e
母音	-и	

例) одыра (座りながら), көре (見ながら)

副動詞 **-a** 形をつくる時の注意点

動詞語幹の最後が, 母音の後に **к, п, с, т, х** が続くとき, 語幹最後のこれらの子音は有声化して, それぞれ **г, б, з, д, ғ** になります。

例) сап- (打つ) + **-a** → сапа → саба

чит- (到達する) + **-e** → чите → чиде

сых- (外に出る) + **-a** → сыха → сыға

動詞語幹が母音で終わっているときは, 動詞語幹の最後の母音と形動詞接辞最初の母音は1つの母音 **и** になります。

例) ойна- (遊ぶ) + **-a** → ойнаа → ойни

төзе- (敷く) + **-e** → төзе → төзи

例文

Сах андох, мылтығын тудына, сиден **түстен** **сүрглепче** **манзырада** **сүрглепче**.
 すぐに銃を手に取りながら。[彼は] 塀の向こう側へ走りだした。
 Оолах соона халчатхан малларны **манзырада** **сүрглепче**.
 少年は後に残っている家畜を急かしながら、追い立てている。

助動詞② (副動詞 -a 形とともに)

ここでは副動詞 -a 形を必要とする助動詞を挙げます。

助動詞 (動詞語幹)	要求する 本動詞の形態	意味
саларға (сал-)	副動詞 -a 形 例	移動をあらわす動詞とともに用いて、予期しなかった突然に起きた、行われた行為の完了をあらわします。 (突然～した) Иирге хыза чиде салғаннар. ([彼らは] 夕方頃に到着した.)
түзерге (түс-)	副動詞 -a 形 例	突然、不意に起きる、行われる行為をあらわします。 (突然～する、不意に～する) Ол ырли түсті. (彼は突然歌い始めた.)
хонарға (хон-)	副動詞 -a 形 例	完了した行為、一瞬で行われる行為、一回きりの行為、エネルギーに行われる行為をあらわします。 Мин орғандаң тура хондым. (私はベッドから急いで起き上がった.)

新出単語

төзирге(төзе-)	<対>敷く	ойлирға(ойла-)	走る
сах	まさに	оолах	少年
сах анда	まさにそのように	соң	後ろ、後部
мылтых	小銃	халарға(хал-)	残る
тудынарға(тудын-)	<対>つかむ	манзырадарға (манзырат-)	<対>急がせる
сиден	塀	хыза	<与>～ぐらい
тастынзар	<属>～の向こう側へ	хонарға(хон-)	[助動] 一瞬の行為、エネルギーな行為をあらわす

第21課

副動詞 -ғанча 形

副動詞 -ғанча 形は、「～するまでは」、「～しないうちは」という意味をあらわします。
副動詞 -ғанча 形の接辞は以下のようになります。

動詞語幹の 最後の音	動詞語幹の 最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
有声子音 (-Ғ, -Ңを除く) (母音)	-ғанча	-генче
無声子音	-ханча	-кенче
母音 -Ғ, -Ң	-анча	-енче

例) турғанча (起き上がるまで, 起き上がらないうちは),
чылысханча (集まるまで, 集まらないうちは),
тоңанча (凍えないうちは)

副動詞 -ғанча 形をつくときの注意点

語幹が母音で終わっているときは、本来は有声子音につける -ғанча / -генче がつくのですが、接辞最初の子音 Ғ あるいは Ң は2つの母音に挟まれることになるので脱落して1つの長母音, -aa- / -ee- となります。従って、動詞語幹が母音 a あるいは e はで終わるときは、そのまま語幹に -анча / -енче をつければよいです。動詞語幹がそれ以外の母音のときは1つの長母音 -aa- / -ee- となります。

例) узу- (眠る) + -ғанча → узуҒанча → узуанча → узаанча

否定形は動詞語幹に否定形接辞 -ба (とその発音上のバリエーション) をつけた後に副動詞 -ғанча 形をつけてあらわします。その際、副動詞 -ғанча 形の最初の文字 Ғ あるいは Ң は2つの母音に挟まれることになるので、脱落して1つの長母音 -aa- / -ee- になります。

例) тоос- (終わる) + -па + -ғанча → тооспаҒанча → тооспаанча

例文

Квартал тоозылғанча парыңар, анаң сол саринзар тартыбызарзар.

街区の端まで行ってください, その後左に曲がってください。

Аал хончыхтар чылысханча, ағас тура көй парған.

村の隣人たちが集まるまでに, 木造家屋は焼けてしまった。

Ай тоозылғанча тынанчам.

月末まで休息をとります。

形動詞過去 -ғалах 形

形動詞過去 -ғалах 形は、まだ行われていないが、その行為が話者の発話時点で予期されている行為をあらわします（まだ～していない、まさに～しようとしている）。また、意味の点において、文脈次第で未着手「まだしていなかった」の意味にも、未完了「(やっているが) まだ終わっていなかった」の意味のどちらにもなります。

-ғалах 形過去は、動詞語幹に形動詞過去 -ғалах 形（とその発音上のバリエーション）をつけて、その後に人称接辞をつけます。

形動詞過去 -ғалах 形に否定形はありません。

-ғалах 形過去

動詞語幹 + 接辞 -ғалах + 人称接辞

形動詞過去 -ғалах 形の接辞

動 詞 語 幹 の 最 後 の 音	動 詞 語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
有 声 子 音 (-Ғ, -Г, -Ңを除く)	-ғалах	-гелек
無 声 子 音	-халах	-келек
母 音 -Ғ, -Г, -Ң	-алах	-елек

例) сомғалах (今まさに泳ごうとしている, まだ泳いでいない),
килгелек ([来るはずだが] まだ来ていない),
пасхалах (まだ書いていない), үгреткелек (まだ教えていない),
тоңалах (まだ凍っていない)

形動詞過去 -ғалах 形をつくる時の注意点

2つの母音に挟まれた Ғ と Г は脱落して、となり同士並んだ2つの母音は1つの長母音 -aa- / -ee- になります。

例) ойна- (遊ぶ) + -ғалах → ойнағалах → ойнаалах
изенне- (鞍をつける) + -гелек → изеннегелек → изеннеелек

人称接辞表

数	人称	-ғалах 形	人称接辞	
単 数	1	-ғалах / -халах / -алах	-пын	-ғалахпын / -халахпын / -алахпын
		-гелек / -келек / -елек	-пін	-гелекпін / -келекпін / -елекпін
	2	-ғалах / -халах / -алах	-сың	-ғалахсың / -халахсың / -алахсың
		-гелек / -келек / -елек	-сің	-гелексің / -келексің / -елексің
3	-ғалах / -халах / -алах -гелек / -келек / -елек	—	-ғалах / -халах / -алах -гелек / -келек / -елек	
複 数	1	-ғалах / -халах / -алах	-пыс	-ғалахпыс / -халахпыс / -алахпыс
		-гелек / -келек / -елек	-піс	-гелекпіс / -келекпіс / -елекпіс
	2	-ғалах / -халах / -алах	-сар	-ғалахсар / -халахсар / -алахсар
		-гелек / -келек / -елек	-сер	-гелексер / -келексер / -елексер
	3	-ғалах / -халах / -алах	-тар	-ғалахтар / -халахтар / -алахтар
		-гелек / -келек / -елек	-тер	-гелектер / -келектер / -електер

例文

Ам даа тоғынғалахпын.

私はまだ仕事に取り掛かっていません。

Суғ тоңалах.

川はまだ凍っていなかった。

Чылығ күннер читкелектер.

暖かい日々はまだ来ていない。

Сірер көп ниме пілгелексер.

あなたはまだ多くのことを知りません (が、将来知ることでしょう)。

形動詞過去 -ғалах 形は定語として名詞を修飾することができます。

例) хайылғалах хар (まだ溶けていない雪)

新出単語

тоозарға(тоос-) <対>終える
квартал 街区
анаң それから
сол 左の

сари ~側
үгредерге(үгрет-) <対>教える；学ぶ
ам 今
хайыларға 溶ける
(хайыл-)

第22課

-тыр 形過去

-тыр 形過去は、1) 話者が見ていないところで起きた行為、遠い過去に起きた行為（～だそうだ）、2) 話者の推測（どうやら～のようだ、気がつく～のようだ）をあらわします。

昔話などのフォークロアでよく用いられます。

-тыр 形過去は、接辞 -тыр（とその発音上のバリエーション）を副動詞 -ып 形につけてから人称接辞をつけてつくります。

否定形は副動詞否定 -бин 形（とその発音上のバリエーション）を動詞語幹につけてから、過去形接辞、そして人称接辞をつけます。過去形接辞は -дыр か -дір になります。

肯定形

副動詞 -ып 形（あるいは子音で終わる動詞語幹） + 接辞 -тыр + 人称接辞

否定形

動詞語幹 + 副動詞否定 -бин 形 + 接辞 -дыр / -дір + 人称接辞

接辞

副動詞 -ып 形の 最後の音 動詞語幹	副動詞 -ып 形もしくは語幹の最終音節の母音	
	硬 母 音	軟 母 音
有 声 子 音 (-л, -р を除く)	-дыр	-дір
-п 無 声 子 音 -л, -р	-тыр	-тір

人称接辞表

数	人称	-тыр 形	人称接辞	
単 数	1	-дыр / -тыр	-бын	-дырбын / -тырбын
		-дір / -тір	-бін	-дірбін / -тірбін
	2	-дыр / -тыр	-зың	-дырзың / -тырзың
		-дір / -тір	-зің	-дірзің / -тірзің
	3	-дыр / -тыр	—	-дыр / -тыр
		-дір / -тір		-дір / -тір
複 数	1	-дыр / -тыр	-быс	-дырбыс / -тырбыс
		-дір / -тір	-біс	-дірбіс / -тірбіс
	2	-дыр / -тыр	-зар	-дырзар / -тырзар
		-дір / -тір	-зер	-дірзер / -тірзер
	3	-дыр / -тыр	-лар	-дырлар / -тырлар
		-дір / -тір	-лер	-дірлер / -тірлер

例文

Ікі харындас чуртаптыр.

ふたりの兄弟が住んでいたそうだ。

Пірсінде он кізі аңнап партырлар.

あるとき10人が狩りに行ったそうだ。

Пістің чон мының алында

私たち民族は以前クラスノヤルスクに至る範圍にまで住んでいた。

Хызылчардаң ала полтыр.

Палацах көрледе өс партыр.

子供はめっきり成長したようだ。

Сірер пір дее алыспиндырзар.

あなたは全然変わっていないようですね。

Түзімде мин футбол ойнатчатхан
полтырбын.

私は夢の中でサッカーをしていたようだ。

不定代名詞と不定副詞

疑問詞に助詞 **-да / -де** をつけると、「ある特定の～」の意味になります。
不定代名詞には格接辞をつけることもできます。

不定代名詞

- кем-де (誰か)
- нине-де (何か)
- хайзы-да (なんらかの)
- хайдағ-да (なんらかの)

不定副詞

- хайда-да (どこかで)
- хайдаң-да (どこからか)
- хақан-да (いつか)
- ноға-да (なぜか)

もう一つの方法として、**пір(пірее)** をつける方法があります。「ある～」の意味になります。

例) **пір иирде** (ある晩に)

例文

Кем-де килді.

誰かがやって来た。

Ағас аразында хайдағ-да нине харалча.

木々のあいだで何か黒いものが見えている。

新出単語

пірсінде	あるとき	кем-де	誰か
мының алнында	以前	нине-де	何か
Хызылчар	クラスノヤルスク	хайзы-да	なんらかの
ала	<奪>～に至るまで	хайдағ-да	なんらかの
палачах	пала の指小形	хайда-да	どこかで
көрледе	目に見えて	хайдаң-да	どこからか
алызарға(алыс-)	変わる, 変化する	хақан-да	いつか
түс	(就寝時に見る) 夢	ноға-да	なぜか
футбол	サッカー	хараларға(харал-)	黒いものが見える

第23課

-чаттыр 形現在

-чаттыр 形現在は、本人の目の前で起きていない行為を推察すること、状況から推察すると判明したこと、話者が今まで知らなかったが今判明したことをあらわします（「どうやら～しているようだ」、「～していることが判明した」）。

-чаттыр 形現在は、動詞の副動詞 -ып 形（あるいは副動詞 -ып 形の短縮形である動詞語幹）にこの現在形接辞 -чаттыр（とその発音上のバリエーション）をつけてから、人称接辞をつけます（第22課で学習した -тыр 形過去と同じつけ方になります）。

副動詞 -ып 形 動詞語幹（子音で終わるとき）	+	現在形接辞 -чаттыр	+	人称接辞
-----------------------------	---	---------------	---	------

接辞

語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
	-чаттыр	-четтір

現在形接辞 -чаттыр をつくる時の注意点

動詞語幹が子音で終わっているときは、語幹に現在形接辞 -чаттыр（とその発音上のバリエーション）をつけます。

例) көр-（見る） + -четтір → көрчеттір（〔彼が〕 どうやら今見ているようだ）

動詞語幹が母音で終わっているときは、副動詞 -ып 形は省略されずに -п がついて、現在形接辞 -чаттыр（とその発音上のバリエーション）をつけます。

例) аңна-（狩りをする） + -п + -чаттыр → аңнапчаттыр
（〔彼は〕 どうやら今狩りをしているようだ）

人称接辞表

数	人称	-чаттыр 形	人称接辞	
単 数	1	-чаттыр	-бын	-чаттырбын
		-четтір	-бін	-четтірбін
	2	-чаттыр	-зың	-чаттырзың
		-четтір	-зің	-четтірзің
	3	-чаттыр -четтір	—	-чаттыр -четтір
	複 数	1	-чаттыр	-быс
-четтір			-біс	-четтірбіс
2		-чаттыр	-зар	-чаттырзар
		-четтір	-зер	-четтірзер
3		-чаттыр	-лар	-чаттырлар
		-четтір	-лер	-четтірлер

例文

Сілер пу киректі чахсы пілчеттірзер. あなたは、どうやらこの件をよく知っているようですね。

Түзімбынде мин футбол ойнапчаттыр. 私は夢の中でどうやらサッカーをしているようだ。

-дыр 形習慣現在

-дыр 形習慣現在は、通常、定期的に繰り返される習慣的な行為をあらわします（通常～している、通常～します、通常～しない）。ときには、恒常的な行為や状態もあらわします。その場合、多くはプロセスの意味をあらわす動詞です。

-ча 形現在との違いは、-дыр 形習慣現在は習慣的に行われる行為が必ずしもずっと行われていなければならないわけではなく、断続的であってもかまわないことで、「多くの場合～する」「～することが多い」「～するものだ」というニュアンスになります。

フォークロアでよく用いられます

-дыр 形習慣現在は、動詞の副動詞 -а 形（第20課参照）に接辞 -дыр（とその発音上のバリエーション）をつけて、その後に人称接辞をつけることであらわします。

現在形

副動詞 -а 形 + 現在形接辞 -дыр / -дір + 人称接辞

接辞

語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
母 音 有 声 子 音	-дыр	-дір

例) пар-（行く） + -а + -дыр → парадыр（〔彼は〕通常行きます）
кил-（来る） + -е + -дір → киледір（〔彼は〕通常来ます）

習慣現在形接辞 -дыр をつけるときの注意点

動詞語幹が母音で終わっている場合は、語幹最後の母音と副動詞 -а 形の接辞 -а あるいは -е は融合して1つの母音 и になり、そのうえで現在形接辞 -дыр（とその発音上のバリエーション）がつきます。

例) ойна-（遊ぶ） + -а + -дыр → ойнидыр（〔彼は〕通常遊んでいる）
төле-（支払う） + -е + -дір → төлидір（〔彼は〕通常支払っている）

動詞語幹が無声子音で終わっている場合、2つの母音に挟まれた子音は有声化します。

例) сат-（売る；不定形 сатарға） + -а + -дыр → сатадыр
→ сададыр（〔彼は〕通常売っている）

ただし、語幹末が有声子音と無声子音が並ぶ語幹のときは有声化しません。

例) тарт-（引きずる；不定形 тартарға） + -а + -дыр → тартадыр
（〔彼は〕通常引きずっている）

有声化しない例外： ат-（射る；不定形 атарға） → атадыр（〔彼は〕通常射ます）

хат-（硬くなる；不定形 хатарға） → хатадыр（〔それは〕通常硬くなる）

人称接辞表

数	人称	-дыр 形	人称接辞	
单	1	-дыр / -тыр	-бын	-дырбын / -тырбын
		-дір / -тір	-бін	-дірбін / -тірбін
	2	-дыр / -тыр	-зың	-дырзың / -тырзың
		-дір / -тір	-зің	-дірзің / -тірзің
数	3	-дыр / -тыр	—	-дыр / -тыр
		-дір / -тір	—	-дір / -тір
複	1	-дыр / -тыр	-быс	-дырбыс / -тырбыс
		-дір / -тір	-біс	-дірбіс / -тірбіс
	2	-дыр / -тыр	-зар	-дырзар / -тырзар
		-дір / -тір	-зер	-дірзер / -тірзер
数	3	-дыр / -тыр	-лар	-дырлар / -тырлар
		-дір / -тір	-лер	-дірлер / -тірлер

例文

Хысхыда уғаа соох поладыр.

冬はとても寒くなることが多い。

Мин киноға иирде чөредірбін.

私はたいてい夜に映画を観に行く。

Ол пісте хонадыр.

彼はたいてい私たちのところに泊まります。

否定形は、副動詞 **-a** 形の後に、離して否定形 **ЧОҒЫЛ** をつけ、**ЧОҒЫЛ** に人称接辞つけてあらわします。

副動詞 -a / -e 形 **ЧОҒЫЛ** + **人称接辞**

人称接辞表

数	人称	ЧОҒЫЛ	人称接辞	
単 数	1	ЧОҒЫЛ	-бын	ЧОҒЫЛбын
	2	ЧОҒЫЛ	-зың	ЧОҒЫЛзың
	3	ЧОҒЫЛ	—	ЧОҒЫЛ
複 数	1	ЧОҒЫЛ	-быс	ЧОҒЫЛбыс
	2	ЧОҒЫЛ	-зар	ЧОҒЫЛзар
	3	ЧОҒЫЛ	-лар	ЧОҒЫЛлар

例文

Адайах кізі чіли чоохтан на пола 犬はふつう人間のように話すことができ
 ЧОҒЫЛ. ない.

新出単語

атарға(ат-)	<対>射る	хонарға(хон-)	泊まる
хатарға(хат-)	硬くなる	адайах	адай の指小形
хысхыда	冬に	чіли	～のように

第24課

希求法

希求法は、1) 行為を行う希望や期待、企図、お願い（～したらいいと望む、～してほしい、～しようと思う）、2) 行為を行うことへの同意（[まあいいでしょう] ～したらよい、～してもよい）をあらわします。

希求法は接辞 **-ғай**（その発音上のバリエーション）を動詞語幹につけてから、人称接辞をつけてつくりします。

否定形は、動詞語幹に否定形接辞 **-ба**（その発音上のバリエーション）をつけてから、希求法接辞をつけてつくりします。

肯定形

動詞語幹 + 希求法接辞 **-ғай** + 人称接辞

否定形

動詞語幹 + 否定形接辞 **-ба** + 希求法接辞 **-ғай** + 人称接辞

希求法の接辞

動詞語幹の 最後の音	最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
母音 有声子音 (-Ғ, -Г, -Ңを除く)	-ғай	-гей
無声子音	-хай	-кей
-Ғ, -Г, -Ң	-ай	-ей

例) **нанғай** (家に帰ったら良い), **пілгей** (知ったら良い), **сатхай** (売ったら良い),
төккей (注いだら良い), **чығай** (集めたら良い), **сигей** (線を引いたら良い),
тоңай (凍ったら良い)

希求法接辞 **-ғай** をつくるときの注意点

2つの母音に挟まれた **Ғ** と **Г** は脱落して、となり同士並んだ2つの母音は1つの長母音 **-aa-** / **-ee-** になります。

例) **ойна-** (遊ぶ) + **-ғай** → **ойнағай** → **ойнаай**
сөле- (言う) + **-гей** → **сөлегей** → **сөлеей**

否定接辞をつけると、希求法接辞中の **Ғ** と **Г** は必ず2つの母音に挟まれることになるので脱落し、となり同士並んだ2つの母音は1つの長母音 **-aa-** / **-ee-** になります。

例) **халбаай** (残らなかつたら良い), **итпеей** (しなければ良い)

人称接辞表

数	人称	-ғай 形	人称接辞	
単	1	-ғай / -хай / -ай 否) -баай / -паай / -маай	-бын	-ғайбын / -хайбын / -айбын 否) -баайбын / -паайбын / -маайбын
		-гей / -кей / -ей 否) -беей / -пеей / -меей	-бін	-гейбін / -кейбін / -ейбін 否) -беейбін / -пеейбін / -меейбін
	2	-ғай / -хай / -ай 否) -баай / -паай / -маай	-зың	-ғайзың / -хайзың / -айзың 否) -баайзың / -паайзың / -маайзың
		-гей / -кей / -ей 否) -беей / -пеей / -меей	-зің	-гейзің / -кейзің / -ейзің 否) -беейзің / -пеейзің / -меейзің
3	-ғай / -хай / -ай -гей / -кей / -ей 否) -баай / -паай / -маай -беей / -пеей / -меей	—	-ғай / -хай / -ай -гей / -кей / -ей 否) -баай / -паай / -маай -беей / -пеей / -меей	
複	1	-ғай / -хай / -ай 否) -баай / -паай / -маай	-быс	-ғайбыс / -хайбыс / -айбыс 否) -баайбыс / -паайбыс / -маайбыс
		-гей / -кей / -ей 否) -беей / -пеей / -меей	-біс	-гейбіс / -кейбіс / -ейбіс 否) -беейбіс / -пеейбіс / -меейбіс
	2	-ғай / -хай / -ай 否) -баай / -паай / -маай	-зар	-ғайзар / -хайзар / -айзар 否) -баайзар / -паайзар / -маайзар
		-гей / -кей / -ей 否) -беей / -пеей / -меей	-зер	-гейзер / -кейзер / -ейзер 否) -беейзер / -пеейзер / -меейзер
	3	-ғай / -хай / -ай 否) -баай / -паай / -маай	-лар	-ғайлар / -хайлар / -айлар 否) -баайлар / -паайлар / -маайлар
		-гей / -кей / -ей 否) -беей / -пеей / -меей	-лер	-гейлер / -кейлер / -ейлер 否) -беейлер / -пеейлер / -меейлер

例文

Килзе пиргейбін.

彼が来たら、私はあげてもよいと思う。

Чазы чирде адым хонғай.

ステップで私のウマは夜を過ごしたらよい。

Че, чарир, син дее иткейзің.

いいでしょう、君がしたらいい。

Піс тее полысхайбыс.

私たちが手伝ってあげよう。

Чол хомай, сірер чүгүрбеейзер.

道が悪いから、あなたは走らないほうがよいですよ。

従属節（さまざまな形）

形動詞 -ған 形 + 位格

形動詞 -ған 形に位格をつけると、「～した時に」、「～した後で」の意味になります。この形動詞 -ған 形であらわされている従属節中の行為が先に終わっています。

ふつう形動詞 -ған 形には3人称所有接辞がつきますが、つかないこともあります。また、接続詞 **хачан**（～したとき）がつくこともあります。

形動詞 -чатхан 形 + 位格

形動詞 -ған 形に位格をつけると、「～していた時に」の意味になり、継続していた行為をあらわします。

形動詞 -чатхан 形に3人称所有接辞がつかないこともあります。

形動詞 -ғалах 形 + 位格

形動詞 -ғалах 形に位格をつけると、「～しないうちは」の意味になります。

形動詞 -ар 形 + 3人称所有接辞 + 奪格

形動詞 -ар 形に奪格をつけると、主文の行為が始まる前の行為が終わったこと（～してから、～したとき、～するやいなや）をあらわします。その際、形動詞 -ар 形には3人称所有接辞をつけた形にします。

形動詞 -ған 形 + 因格

形動詞 -ған 形に因格をつけて原因や理由をあらわすることができます（～なので）。

例文

Коридорға сых парғанда, Аннаны
удурлап алған.

彼は廊下に出たとき、アンナに会った。

Пірсінде Чағбанай ибге нанчатханда,
аны Сағалаков ооллары сахтап
алғаннар.

あるときチャグバナイが家に向かって帰って
いたとき、サガラコフの息子たちが彼を待って
いた。

Ирге парып үр дее чуртаалахта, чаа
пастабысхан.

嫁いってから幾ばくも経たないうちに、戦争が始
まった。

Аалда пір кізі дее турғалахта, піс
чолға сығыбысхабыс.

村で誰も目を覚まさないうちに、私たちは出発
した。

Наңмыр тохтирынаң, олғаннар суғ
хазынзар парыбысханнар.

雨が止んでから、男の子たちは川岸へと走って
いった。

Пүўн күн наңмырлығ полғаннаңар,
піс суға сомарға парбаабыс.

今日天気が雨だったので、私たちは川に泳ぎに
行かなかった。

多くの後置詞は場所や時などをあらわす名詞に格接辞がついて形成されているので、それらの後置詞には形動詞形をつけることができます。

新出単語

сигерге(сиг-)	〈対〉線を引く	сахтирға (сахта-)	〈対〉待つ
төггерге(төк-)	〈対〉注ぐ	үр	長い間
казы	ステップ	пастирға (паста-)	〈対〉始める
коридор	廊下	тохтирға (тохта-)	止まる, 止む
удурлирға (удурла-)	〈対〉会う		

第25課

推量法

推量法は、話者が観察や経験に基づいて未来においてこうなるだろう、ならないだろうという推量や推測をあらわします（どうやら～らしい、おそらく～するだろう、どうやら～しないらしい、おそらく～しないだろう）。

推量法は形動詞 **-ғадағ** 形を動詞語幹につけ、その後に人称接辞をつけてあらわします。

否定形は動詞語幹に否定形接辞 **-ба**（とその発音上のバリエーション）をつけた後に形動詞 **-ғадағ** 形、ここでは **-адағ / -едег** をつけてあらわします。

肯定形

動詞語幹 + 形動詞未来形接辞 **-ғадағ** + 人称接辞

否定形

動詞語幹 + 否定形接辞 **-ба** + 形動詞未来形接辞 **-адағ / -едег** + 人称接辞

形動詞未来形の接辞

動詞語幹の最後の音	動詞語幹の最終音節の母音	
	硬母音	軟母音
有声子音 (-Ғ, -Ңを除く)	-ғадағ	-гедег
無声子音	-хадағ	-кедег
母音 -Ғ, -Ң	-адағ	-едег

例) халғадағ (残るだろう), чағадағ (降るだろう)

推量法接辞 **-ғадағ** をつけるときの注意点

語幹が母音で終わっているとき、有声子音につける **-ғадағ / -гедег** がつきませんが、接辞最初の子音 **Ғ** あるいは **Г** は2つの母音に挟まれることになって脱落して1つの長母音、**-aa-** / **-ee-** になります。したがって、動詞語幹が母音 **a** あるいは **e** はで終わるときは、そのまま語幹に **-адағ / -едег** をつければよく、また、動詞語幹がそれ以外の母音であれば1つの長母音、**-aa-** / **-ee-** になります。

例) Ырла- (歌う) + **-ғадағ** → Ырлағадағ → Ырлаадағ

Тимне- (準備する) + **-гедег** → Тимнегедег → Тимнеедег

否定形も同様に、接辞最初の子音 **Ғ** あるいは **Г** は2つの母音に挟まれることになるので脱落し、**-баадағ / -паадағ / -маадағ** となります。

人称接辞表

数	人称	-ғадағ 形	人称接辞	
单	1	-ғадағ / -хадағ / -адағ 否) -баадағ / -паадағ / -маадағ	-бын	-ғадағбын / -хадағбын / -адағбын 否) -баадағбын / -паадағбын / -маадағбын
		-гедег / -кедег / -едег 否) -беедег / -пеедег / -меедег	-бін	-гедегбін / -кедегбін / -едегбін 否) -беедегбін / -пеедегбін / -меедегбін
	2	-ғадағ / -хадағ / -адағ 否) -баадағ / -паадағ / -маадағ	-зың	-ғадағзың / -хадағзың / -адағзың 否) -баадағзың / -паадағзың / -маадағзың
		-гедег / -кедег / -едег 否) -беедег / -пеедег / -меедег	-зің	-гедегзің / -кедегзің / -едегзің 否) -беедегзің / -пеедегзің / -меедегзің
	3	-ғадағ / -хадағ / -адағ -гедег / -кедег / -едег 否) -баадағ / -паадағ / -маадағ -беедег / -пеедег / -меедег	—	-ғадағ / -хадағ / -адағ -гедег / -кедег / -едег 否) -баадағ / -паадағ / -маадағ -беедег / -пеедег / -меедег
		複	1	-ғадағ / -хадағ / -адағ 否) -баадағ / -паадағ / -маадағ
-гедег / -кедег / -едег 否) -беедег / -пеедег / -меедег	-біс			-гедегбіс / -кедегбіс / -едегбіс 否) -беедегбіс / -пеедегбіс / -меедегбіс
2	-ғадағ / -хадағ / -адағ 否) -баадағ / -паадағ / -маадағ		-зар	-ғадағзар / -хадағзар / -адағзар 否) -баадағзар / -паадағзар / -маадағзар
	-гедег / -кедег / -едег 否) -беедег / -пеедег / -меедег		-зер	-гедегзер / -кедегзер / -едегзер 否) -беедегзер / -пеедегзер / -меедегзер
数				

3	-ғадағ / -хадағ / -адағ 否) -баадағ / -паадағ / -маадағ	-лар	-ғадағлар / -хадағлар / -адағлар 否) -баадағлар / -паадағлар / -маадағлар
	-гедег / -кедег / -едег 否) -бедег / -педег / -медег	-лер	-гедеглер / -кедеглер / -едеглер 否) -бедеглер / -педеглер / -медеглер

例文

Мин паза пар полбаадағбын.

私はもう歩くことができそうにない。

Пүүл яблахтаң маатпаадағбыс.

今年私たちはじゃがいもの不足に悩みそうにないだろう。

副動詞 -ғали 形

副動詞 -ғали 形は、この接辞をつけた動詞の行為を終えてから主文の行為が始まることをあらわします（～してから）。

副動詞 -ғали 形は、接辞 -ғали（とその発音上のバリエーション）を動詞語幹につけてあらわします。

副動詞 -ғали 形に否定形はありません。

副動詞 -ғали 形の接辞

動 詞 語 幹 の 最 後 の 音	動 詞 語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 母 音	軟 母 音
有 声 子 音 (-ғ, -ң を除く)	-ғали	-гели
無 声 子 音	-хали	-кели
母 音 -ғ, -ң	-али	-ели

例) турғали (起き上がってから), чылысхали (集まってから)

副動詞 -ғали 形をつくる時の注意点

語幹が母音で終わっているときは、本来は有声子音につける -ғали / -гели がつきませんが、接辞最初の子音 ғ あるいは г は2つの母音に挟まれることになって脱落して1つの長母音, -aa- / -ee- となります。したがって、動詞語幹が母音 а あるいは е はで終わるときは、そのまま語幹に -али / -ели をつければよく、動詞語幹がそれ以外の母音であれば1つの長母音, -aa- / -ee- となります。

例) узу- (眠る) + -ғали → узуғали → узуали → узаали
 тимне- (準備する) + -гели → тимнегели → тимнеели
 аңды- (注意深く見る) + -ғали → аңдығали → аңдыали
 → аңдаали

例文

Город төстелгели нинче чыл?

町ができてから何年経ちますか?

Икен ибінең сыххали, иледе тус
иртіп парды.

イケンが家を出てから、かなりの年月が経った。

この形はカチン族 (カチン方言) が主に用い、サガイ族 (サガイ方言) では、形動詞に奪格接辞をつけて後置詞 **пеер** (~から) あるいは **сығара** (~から) をつける言い方をします。

例文

Икен ибінең сыхханнаң пеер(сығара),イケンが家を出てから、かなりの年月が経った。

-ир 形現在

-ир 形現在は、1) 現時点で行われている行為 (遠くへ行っている、こちらへ向かっている)、2) 様々な動詞とともに用いて、動詞本来の「向かっている」という意味を失って助動詞のように、現時点でおこなれている行為の継続性 (~し続けている)、あるいは、行為が終わりに近づいていることをあらわします (~が終わろうとしている)。

-ир 形現在は、**пар-** ([話者側から] 行く)、**кил-** ([話者側へ] 来る) から形成され、動詞語幹に接辞 **-ир** をつけてから、人称接辞をつけてあらわします。

接辞 **-ир** の **р** はつけてもつけなくてもどちらでもよいです。接辞 **-ир** の **р** をつけないときは、1人称単数では人称接辞は **-м** 形になります。

-ир 形現在は否定形を形成しません。

以下に、**пар-** と **кил-** の人称接辞をつけた形をあげます。

пар- (行く, 去る)

数 人称	単 数	複 数
1 人称	Мин парирбын / парим	Піс парирбыс/ парибыс
2 人称	Син парирзың / паризың	Сілер парирзар / паризар
3 人称	Ол парир / пари	Олар парирлар / парилар

кил- (来る)

人称 \ 数	単 数	複 数
1 人称	Мин килирбін / килим	Піс килирбіс / килибіс
2 人称	Син килирзің / килизің	Сіреп килирзер / килизер
3 人称	Ол килир / кили	Олар килирлер / килилер

例文

Ол парир.	ほら今彼があっちへ歩いているよ.
Ол килир.	ほら今彼がこっちへ歩いてくるよ.
Інек кізінең хости үр чуртап парир.	ウシは人とともに長く生きます.
Мына олар ибзер парирлар.	ほら彼らが家に向かって歩いているよ.
Хааң айы тоозыл таа парир.	3月が終わろうとしている.

サガイ方言で見られる接辞最後の p の脱落は、この -ир 形現在の接辞だけでなく、動詞不定形や未来形接辞 -ар / -ер でも見られます(第 11 課未来形人称接辞表の注を参照).

例) Мин парам. (標準語: парарбын)

(私は出かけます.)

Сіреп тоғыназар. (標準語: тоғынарзар)

(あなたは働く予定です.)

新出単語

пүөл	今年は	сығара	<奪>～から、～以来
маатарға (маат-)	否定形 <i>маатпасха</i> で用いて 十分である、 苦しまない	илееде	たくさん、十分に
андирға(анды-)	<対>注意深く見る、 注視する	тус	時、時期
төстелерге(төстел-)	開設される、設立される、 樹立される	хости	<具>～のとなりに、 ～の近くに
пеер	<奪>～から、～以来	мына	ほら、ほらここに、 ほらそこに

後置詞および後置詞的な使い方をする副詞の表

名詞から形成されている表中の後置詞は3人称所有接辞がついている形ですので、名詞（単数形と複数形を問わず）が前にくる場合、後置詞は表に掲載されている形をそのまま使用すればよいです。もし、「私の」、「あなたの」など代名詞属格をつける場合は、後置詞所有接辞はそれぞれの人称にしたがう形にして格接辞をつけます。

例) **минің алнымда** (私の前に)

後置詞の前には名詞や代名詞だけでなく、動詞の形動詞形や形動詞の名詞化した形も入る場合もあります。

後置詞および 名詞に格をつけた後置詞句、 副詞とともに用いる句	前に置く 名詞の格支配 動詞の形	意 味 例
аар (副)	奪格	① ~の向こう側へ、~ (人) から離れた方へ аалдаң аар (村から離れたほうへ)
азаа (名) < азах азаанда <前>	属格	足 ① ~の足もとに ② [時間的] ~の終わりに чыл азаанда (年末に)
азығ (後置)	主格	(数詞とともに) ~以上、~を上回って чүс азығ (100以上)
азыра (後置) < азыр- 副動詞 -а 形	対格	① [空間的] ~を越えて иңнин азыра (肩越しに) тағ(ны) азыра (山を越えて) ② [超過] ~ (ある限度) を越えて、 ~を超過して план азыра (計画を上まわって) ③ (数詞とともに) ~以上、~を上回って、 ~よりも前に Пір чүс азыра кизі килген. (100名以上の人 came.) Алты күн азыра килгеннер. ([予定日より] 6日も前に彼らはやって来た.)
	奪格	③ [超過] ~ (ある限度・容量) を越えて、 ~を超過して планнаң азыра (計画を上まわって)

айландыра (後置)	主格	～のまわりに, ～の周囲に тумзух айландыра парарға (岬を周って行く)
ала (後置)	奪格	①～といっしょに, ～を含めて, ～までも含めて сірердең ала (あなたを含めて) ②～から (時間的) иртеннең ала (朝から) саарбахтаң ала (ティーンエイジャーの時から) ③～から (空間的) ізіктең ала төрге читкенде (ドアから上座まで) ④ ～に至るまで (到達), ～を含んで паладаң ала (子供も含んで) Хызылчардаң ала (クラスノヤルスクに至る範囲にまで)
алдыра (後置) < алдыр- 副動詞 -a 形	方向格 主格	① [空間的] ～のほうへ, ～へ向かって аалзар алдыра (村へ向かって) ② [時間的に] ～までに, ～頃までに иир алдыра (夕方頃までに)
алны (名) алнына <与> алнында <前> алнынаң <奪> алнынзар <方>	属格 形動詞 -ар 形	前部, 前側, 先頭 ～の前に, ～の前へ (空間的) шкаф алнына (食器棚の前に) ①～の前に, ～の先頭に көріндес алнында (鏡の前に) алнымда (私の前に) сөс алнында (語頭に) ②～の前に (時間的) кірер алнында (中に入る前に) наңмыр алнында (雨の前に) наңмыр чаар алнында (雨が降る前に) ～の前から, ～前側から аал алнынаң (村のはずれから) ～の前へ, ～前側へ

<p>алнынча <比></p>		<p>город алнынзар (町はずれへ) ~の前側に沿って Прай отрядтар трибуна алнынча пайрамның маршха тимненібіскеннер. (全部隊は貴賓席前に沿って祝賀パレード行進を行う準備が整った.)</p>
<p>алты (名) алтына <与> алтында <前> алтынаң <奪> алтынзар <方> алтынча <比></p>	<p>属格</p>	<p>下, 下部, 前側 ~の下へ, ~の下側へ суғ алтына (水の中へ) ~の下に, ~の下側に тағ алтында (山の麓に) чир алтында (地下に) ~の下から, ~の下側から стол алтынаң (机の下から) ~の下へ, ~の下側へ от алтынзар (草の下のほうへ) ~の下側に沿って тахтаның алтынча (橋の下に沿って)</p>
<p>аразы (名) аразына <与> аразында <前> аразынаң <奪> аразынзар <方> аразынча <比></p>	<p>属格</p>	<p>~のあいだ ~のあいだへ ол тус аразына (この期間中に) ① [空間的] ~のあいだに, ~と~の間に тағ аразында (山と山の間に) урок аразында (授業の合い間に) кізі аразында (人々の中に, 社会に) ② [時間的] ~の間, ~の期間 ікі час аразында (2時間) ~のあいだから ағас аразынаң (森から) ~のあいだへ Палаалр ағас аразынзар парабысханнар. (子供たちは森の中に入っていった.) ~のあいだに沿って, ~の間を Тас аразынча суғ ахча.</p>

<p>арали (後置) < арала- 副動詞 -и 形</p>	<p>主格</p>	<p>(岩の間を水が流れている.) ①～と混ぜて, ～と混ぜこぜに мука арали (小麦粉と混ぜて) ②～のあいだに, ～を通して, ～の中で (空間的位置) ағас арали (樹木のあいだに) кізі арали (人々の中に) Көк түдүн арали хазан-хахпах көрін турған. (青白い煙を通して鍋 [ボイラー] が見えていた.)</p>
<p>артиинаң (副) < артых артых + ы (三人称所有接辞) + наң (具格)</p>	<p>数詞主格</p>	<p>～より多く, ～以上 Оолах он артиинаң палых тудып алған. (少年は10匹以上魚を捕まえた.)</p>
<p>ибіре (後置) < ибір- 副動詞 -а 形</p>	<p>主格 対格 代名詞対格</p>	<p>～のまわりに, ～の周辺に, ～の周囲に стол ибіре (机のまわりに) көл(ні) ибіре (湖周辺に) Ай Чир ибіре айланча. (月は地球の周りを回っている.) Аалны ибіре хойығ ағастығ тағлар тигірге сіри хасхай турчалар. (村の周囲に密林のように木々が生い茂っている山々が天高く聳えている.)</p>
<p>индіре (後置) < индір- 副動詞 -а 形</p>	<p>主格</p>	<p>① [方向] ～を下方へ, ～の下流へ, ～の麓へ, ～の方向へ суғ индіре (川の下流へ) тағ индіре (山の麓へ) чил индіре (風の吹く方に沿って) ② [位置] ～の下流に Ол аал Хара Ыўс индіре полча. (この村はハラ・ユース川の下流にある.)</p>
<p>іст(i) (名) істіне <与></p>	<p>属格</p>	<p>内部, 中 ～の内部に, ～中に Сиден істіне кір килген. (彼は塀のなかに入った.)</p>

<p>істінде <前></p> <p>істінең <奪></p> <p>істінзер <方></p> <p>істінче <比></p>		<p>～の内部に，～の中に</p> <p>харачах істінде (引き出しの中に)</p> <p>～の内部から，～の中から</p> <p>тағ істінең (山の中から)</p> <p>～の内部へ，～の中へ</p> <p>шкаф істінзер (食器棚の中へ)</p> <p>～の内部に沿って，～の中に沿って</p> <p>чер істінче (地面の中に沿って)</p>
<p>кизіре / кичіре (後置)</p> <p>< кизір- 副動詞 -а 形</p>	<p>主格</p> <p>対格</p>	<p>～を越えて，～を横切って</p> <p>чол кизіре (道を渡って)</p> <p>суғ(ны) кизіре (川を渡って)</p>
<p>килістіре (副)</p>	<p>与格</p>	<p>～に合うように，合致するように</p> <p>Хоостарға килістіре чоохтағлар пүдір.</p> <p>(絵の内容に合うように文を作りなさい.)</p>
<p>кире (後置)</p> <p>< кир- 副動詞 -а 形</p>	<p>方向格</p> <p>与格</p>	<p>～の内部へ</p> <p>Өрке інзер кире ойлабысхан.</p> <p>(ジリスは巣穴の中へ逃げ去った.)</p> <p>Пызолар хазааға кире сүрілгеннер.</p> <p>(子ウシは牛小屋へ追い立てられた.)</p>
<p>кист(i) (名)</p> <p>кистіне <与></p> <p>кистінде <前></p> <p>кистінең <奪></p> <p>кистінзер <方></p> <p>кистінче <比></p>	<p>属格</p>	<p>後部，後ろ</p> <p>～の後ろに，～の後方に，～の向こう側へ</p> <p>Парта кистіне одырған.</p> <p>(彼は学習机に座った.)</p> <p>～の後ろに，～の後方に，～向こう側に</p> <p>ағас кистінде (木の向こう側に)</p> <p>Стол кистінде одырча.</p> <p>(彼は席についている.)</p> <p>～の後ろから，～の後方から，～向こう側から</p> <p>Хазаа кистінең ікі іс парыбыстыр.</p> <p>(庭から二つの足跡が続いている.)</p> <p>～の後ろへ，～の後方へ，～向こう側へ</p> <p>тағ кистінзер (山の向こうへ)</p> <p>～の後ろに沿って</p>

кичире (カチン方言)	主格	～を越えて чол кичире (道を渡って)
көзі (名) < көс көзіне <与> 与格にして用います	属格	目 ～のいる前で, ～の目の前で, ～がいる 際に, ～の立会いのもとに кізі көзіне (人前で) минің көзіме (私のいる前で)
көре (後置) < көр- 副動詞 -а 形	与格 代名詞与格 対格	①～を手本にして, ～を見ならって сағаа көре (君を見ならって) ②～に応じて тоғасха көре (労働に応じて) ③～の後につづいて, ～の後を追って сині көре (君の後から)
найырли (副)	方向格	～の方向へ тағзар найырли (山の方へ)
озари (名) < ол сари озари озаринда<位> озаринаң<奪>	属格	その向こう側 ～の向こう側に, ～の向こう側で граница озари (外国で) ～の向こう側に, ～の向こう側で суғ озаринда (川の向こう側に) ～の向こう側から төң озаринаң (丘の向こう側から)
озынаң (後置)	属格 形動詞	① [時間] ～から ол озынаң (それ以来) ② [理由] ～のために өрінген озынаң (嬉しくて) ③ ～する道すがら, ～するついでに магазинге парған озынаң аптекаа кір парарға (お店に行ったついでに薬局に寄る)
орны (名) < орын орнына <与>	属格	場所 ～のかわりに, ～ (人) の代わりに минің орныма (私の代わりに) Чистек орнына миске теер килгеннер. (彼らはベリーのかわりにキノコを採 集した.)

<p>орнында <位></p>		<p>Точкаларның орнына кирек буквалар пас. (点々のかわりに必要な文字を書きなさい.)</p> <p>Пүүн синің орныңа тоғынарбын. (今日、君の代わりに僕が働くよ.)</p> <p>~のかわりに、~ (人) の代わりに</p> <p>Минің орнымда хайдағ даа кізі мин осхас поларчых. (私の代わりに他の誰がしたとしても、私のようにしたろ.)</p>
<p>ортызы (名) < орт(ы)></p> <p>ортызына <与></p> <p>ортызында <位></p> <p>ортызынзар <方></p> <p>ортызынаң <奪></p> <p>ортызынча <比></p>	<p>属格</p>	<p>(空間的に) 真ん中, (時間的に) 中 旬, 中頃</p> <p>~の真ん中に, ~の真ん中へ, ~の中旬 に</p> <p>ікі ағастаң ортызына (二本の木のあいだに)</p> <p>сентябрьның ортызына читіре (9月の中頃までに)</p> <p>~の真ん中に, ~の中旬に</p> <p>аал ортызында (村の真ん中に)</p> <p>~の真ん中へ, ~の中旬まで</p> <p>тоғылахтың ортызынзар (円の真ん中へ)</p> <p>~の真ん中から, ~中旬から</p> <p>март айның ортызынаң сығара (3月中旬から)</p> <p>~の真ん中に沿って</p> <p>Палалар чол ортызынча парчалар. (子供たちは道の真ん中を歩いている.)</p>
<p>осхас / охсас (方言) (後置) < осха- / охса- / осша-</p>	<p>主格 形動詞 述語の後</p>	<p>①~のように, ~に似て</p> <p>пала осхас (子供のように)</p> <p>тас осхас (石のように)</p> <p>Тыхтаан соонда машина наачылан парған осхас. (修理後, 車は新車のようだ.)</p>

		② (述語の後に用いて) どうやら～のようだ, ～らしい Мал-хус чир тігірін сисче осхас. (動物や鳥は地震を察知するようだ.)
өтіре (後置) < өтір- 副動詞 -a 形	主格 対格	～を通り抜けて, ～を越えて хойығ ағас өтіре (深い森を越えて) Түнүк өтіре тигір көрінче. (煙突を通して空が見える.)
паарли	主格	～の斜面に沿って тағ паарли (山の斜面に沿って)
пазы (名) < пас пазына <与> пазында <位> пазынаң<奪> пазынзар<方> пазынча <比>	属格	頭; 頂上 ～の上に, ～の上へ тағ пазына (山の頂上に) ～の上に Ағас пазында хустар чуртапчалар. (木の頂上に鳥が住んでいる.) ① ～の上から Тағ пазынаң кўн көрініп пастапча. (山の頂上から太陽が見え始めている.) ② [時間的] ～後に ўс кўн пазынаң (3日後に) ікі ай пазынаң (2か月後に) Мин ікі час пазынаң килем. (私は2時間後に来ます.) ～の上のほうへ тағ пазынзар (山の頂上へ) ～の上部に沿って Чил халсарығ пазынча толғала тўскен. (イネ科の多年草の上を風がクルクルと舞い下りてきた.)
пасти (後置) < пастир- 副動詞 -a 形	奪格	[時間的起点] ～から (始めて) 2019 чылдаң пасти (2019年から)
пастыра (後置) < пастыр- 副動詞 -a 形	対格	① [空間] ～を通過して, ～を経由して Асхыс пастыра

		(アスキスを経由して) ② [手段] ~を通して, ~の手段で радио пастыра (ラジオで) сурығлар пастыра піліп аларға (質問して知る)
пасха (後置)	奪格	~以外に, ~のほかに ічемнең пасха (私の母のほかに)
пеер (後置) < пеер (副詞)>	奪格	~以来, ~から今まで ирекннең пеер (道を渡って)
пірге (副)	具格	~といっしょに
полызиинаң	属格	~の助けをかりて, ~を用いて хозымнар улызиинаң (接辞を用いて)
пөгін (名) пөгіннең<具>	形動詞 -ар 形	[目的] ~する目的で, ~するために Хырачылар таарығ тоғызы хайди парчатханын піліп алар пөгіннең хыразар чол тутхабыс. (農民たちの種まきの作業がどう進ん でいるかを知る目的で, 私たちは耕作地 へと向かった.)
сай (後置) < сай-(ハカス語 сана-)>	主格	~ごとに, 毎~, 各~ күн сай (毎日) чайғы сай (毎夏) чыл сай (毎年) үлүкүн сай (祝日のたびに) сөбіре сай (各家庭に)
	形動詞	~する度に, 毎回~するごとに Наңмыр, күгүрт күзүреен сай, улам хосчатхан чили пілдірген. (雷が鳴るたびに, 雨が強くなっている ことが分かった.)
сари (名) саринда <前> саринаң <奪>	属格	~側, 脇, 端側 ~側に
	形容詞	чолның оң саринда (道の右側に) ~側に沿って, ~側を чолның оң саринаң

<p>саринзар <方></p> <p>саринча<比></p>		<p>(道の右側に沿って, 道路の右側を) ～の側へ</p> <p>позының оң саринзар (自分の右側へ) ～に沿って, ～側に沿って</p> <p>улицаның ікі саринча (通りの両側に沿って)</p>
<p>сіри (後置)</p> <p>< сіре- 副動詞 -а 形</p>	<p>与格</p>	<p>[空間的に] ～まで, ～までくっつけて</p> <p>Столны стенаа сіри турғызыңар. (机を壁にくっつけて置いてください.)</p>
<p>соо (名) < соң</p> <p>соона<与></p> <p>соонда<前></p> <p>соонаң<奪></p> <p>соонзар <方></p>	<p>属格 形動詞 -ған 形</p>	<p>後ろ, 後部, 後ろ側, (時間的に) 下旬, 終わり</p> <p>～の後ろに, ～の後ろ側に</p> <p>① [空間的に] ～の後ろに, ～の後ろ側に</p> <p>от соонда (暖炉の後ろ側に)</p> <p>② [時間的に] ～の後に, ～した後で</p> <p>урок соонда (授業後に)</p> <p>Азыранған соонда, Валянаң Гриша школаа парғаннар. (食事をとった後に, グリーシャはヴァーリャと学校へ出かけた.)</p> <p>аның соонда (その後で)</p> <p>③ [時間的に] ～末に, ～下旬に</p> <p>ай соонда (月末に)</p> <p>① ～の後につづいて, ～の後ろから</p> <p>апсахтың соонаң (老人の後につづいて)</p> <p>② [時間的に] ～の後に, ～した後に</p> <p>Ағырығ соонаң тығалах. (病気の後彼はまだ完全には元の調子に戻っていない.)</p> <p>① ～の後ろへ, ～の後ろ側へ</p> <p>② ～の終わりへむけて, ～末へ</p>

соонча <比>		Июнь айнын соонзар (6月末までに) ～の後に沿って Ол істернең соонча мин хыраң ас парғам. (これらの足跡に沿って私は丘を越えた.) Минің соомча пар. (私の後についていきなさい.)
сунғар(сынғар) (後置)	対格	～に沿って чол сунғар (道に沿って)
сүре (後置)	主格 対格	すべての～, ～の間ずっと күн сүре (一日中) ～を追いかけて соон сүре (後を追いかけて)
сүрістре (副)	奪格 対格	～を追って, ～の後を追って, ～の後に 続いて Миннең сүрістре чөр. (私の後からついて来なさい.) соон сүрістре (次々に, 後を追って)
сығара (後置) < сығар- 副動詞 -a 形	奪格 与格	① ～から (起点) аннаң сығара (ここから) ибдең сығара (家から) ② ～に至るまで, ～に至る間 (時間的) үс күнге сығара (3日間)
сылтаанда (後置) < сылтағ сылтағ + ы (三人称所有接 辞) + (н)да (位格)	主格 代名詞属格 形動詞	～の結果, ～が原因で, ～のために ағырығ сылтаанда (病気のせいで) аның полызии сылтаанда (彼の助けを借りて) ～なので Пүүл хар көп чаған сылтаанда, часхыда суғлар тың тасханнар. (今年の冬に雪が多く降ったので, 春に 川が氾濫した.)
сыы (後置)	主格	～の間中, ～の間 күн сыы (一日中)
сыынаң (後置)	主格 形容詞	～して以来, ～から ол сыынаң (それ以来)

	形動詞	кичегі сыынаң (昨日から) Харындазым городха парған сыынаң пічік паспады. (私の弟は都会へ行って以来、手紙を書 かなかった.)
талаза (後置)	対格	① ～までに (時間的) иир талаза (夕方までに) ② ～の方向へ суғның пилтірін талаза (川の河口のほうへ)
тамни (後置)	対格	① ～を通して кізі тамни (人を通して) ② ～のあとから сӧс тамни (順々に、少しずつ)
тамндади (副)	主格	～の直前に、～の前夜に ӱлӱкӱн таңдади (祝日直前に)
тарта (後置)	方向格 与格	① (方向) ～のほうへ іскер тарта (東のほうへ) ② (時間) ～までに、～頃までに хысхызар(хысхаа) тарта (冬までに)
тасты (名) тастына <与> тастында <前> тастынаң <奪> тастынзар <方> тастынча <比>	属格	外部, 外側 ～の外側に, ～の向こう側に шкаф кистіне (食器棚の向こう側に) ～の外側に, ～の向こう側に аал тастында (村はずれに, 村の外に) ～の外側から, ～の向こう側から аал тастынаң (村はずれから) Город тастынаң чазағ килдім. (郊外から私は歩いて来た.) ～の外側へ, ～の向こう側へ город тастынзар (郊外へ) ～の外側に沿って город тастынзар (郊外に沿って)
тастых (後置) < тастых 副詞	奪格 (ときには奪 格の後に数詞 とその単位が	～から遠くに Турабыс аалдаң тастых турча. (私たちの家は村から遠いところにあ る.)

	入ります)	Сибирскай тими́р чолдаң 100 километр тастых Еремеевка аал чатча. (シベリア鉄道から100kmはなれたところにエレメエーフカ村がある.)
теере (後置) < теер- 副動詞 -a 形	与格	① [空間的] ~まで ибге теере (家まで) ② [時間的] ~まで хысхаа теере (冬まで) таңдаға теере (明日まで)
тобыра (後置) < тобыр- 副動詞 -a 形	主格 対格 代名詞対格	① ~を通過して, ~を通り抜けて тайға тобыра (タイガを通り抜けて) ② ~を通して, ~を経て (時間的意味) улуғ чааны тобыра (大きな戦争を通して)
тоғыр (後置) < тоғар (副詞)	与格 奪格 (~から) 奪格 奪格	① [空間的] ~の反対側に, ~の向かい側に чолға тоғыр (道の向かい側に) миннең тоғыр (私[の家]の真向かいに) ② ~に対する, ~との (闘い) бырчыдаң тоғыр күрезіг (敵に対する闘い) ③ ~を治す (薬), ~を防ぐ (薬) грипптең тоғыр им (インフルエンザ治療薬) сарығ сеектең тоғыр ниме (虫[蚊]刺されの薬, 蚊よけ薬)
тооза (後置)	与格	~の間中ずっと (時間的) күн тооза (一日中) хараа тооза (夜中じゅう, 朝まで) чай тооза (夏の間中ずっと)
төбін (名) < түп	主格	~の下へ, ~の下方へ иніс төбін (斜面を下へ)
төзі (名) < төс төзіне <与>	属格	基盤, 基部 ~の下に, ~の下部に, ~に麓に Чахайах төзіне суғны мин урғам.

<p>tözінде <位></p> <p>töзінең <奪></p> <p>tözінзер <方></p> <p>tözінче <比></p>		<p>(私は花の根元に水を注いだ.)</p> <p>～の下に, ～の下部に, ～に麓に</p> <p>ағас төзінде (木の下に)</p> <p>тағ төзінде (山の麓に)</p> <p>～の下から, ～の根元から, ～に麓から</p> <p>Олар, чатхан ағастарның төзінен турғаннар.</p> <p>(彼らは横たわっていた木から立ち上がった.)</p> <p>～の下へ, ～に麓へ</p> <p>ағас төзінзер (木の根元へ)</p> <p>～の下に沿って, ～の下部に</p> <p>Тигей төзінче Чобат суғ чат партыр.</p> <p>(丘の下からその丘に沿ってチョバット川が流れ出ている.)</p>
<p>töөй (後置)</p> <p>< töөй (形)</p>	与格	<p>～に似て, ～のように</p> <p>талайға төөй (海に似て, 海のように)</p>
<p>тус (名)</p> <p>тузында <前></p>	属格	<p>時間, 時</p> <p>～の時に</p> <p>пістің тузында (我々の時代に, 現代に)</p> <p>тоғыс тузында (仕事の時に)</p> <p>чаа тузында (戦争の時に)</p>
<p>tүзіре</p> <p>< tүзір- 副動詞 -a 形</p>	与格 方向格	<p>まっすぐ～のほうへ</p> <p>Тайраның ибіне түзіре</p> <p>(まっすぐタイラの家へ向かって)</p>
<p>удур (後置)</p>	与格	<p>～(側)に向かって, ～を出迎えに</p> <p>чилге удур</p> <p>(風が吹いてくるほうに向かって)</p> <p>үлүкүнге удур (祭日を迎えるために)</p>
<p>үст(ү) (名)</p> <p>үстүне <与></p> <p>үстүнде <前></p>	属格	<p>上, 上部</p> <p>～の上に, ～の上へ</p> <p>Чазы үстүне харасхы түзібіскен.</p> <p>(ステップは黄昏れた.)</p> <p>～の上に, ～の上方に</p> <p>пістің үстүбісте (私たちの上方に)</p> <p>стол үстүнде (机の上に)</p>

<p>үстүнең <奪></p> <p>үстүнзер <方></p> <p>үстүнче <比></p>		<p>Хартха аал үстүнде айлахтанча. (ハヤブサが村の上を旋回しながら飛んでいる.)</p> <p>~の上から, ~の上方から</p> <p>тахта үстүнең (橋の上から)</p> <p>~上へ, ~の上のほうへ</p> <p>тағ үстүнзер (山の上へ向かって)</p> <p>~の上に沿って, ~の上方に沿って, ~の上方を</p> <p>пус үстүнче (氷上に沿って)</p> <p>Харачхайлар чир үстүнче чавыс учухчатсалар, айас күн сахтаба. (ツバメが地上低空に飛んだなら, 晴天の日を待たな.)</p>
<p>үчүн (後置)</p>	<p>形動詞 -ған 形</p> <p>形動詞</p> <p>-чатхан 形</p>	<p>① [理由, 原因] ~のために, ~のせいで, ~が原因で, ~のために</p> <p>чайғыдағы өрттердең үчүн (夏の火事が原因で)</p> <p>аның үчүн (それが原因で, そのため)</p>
	<p>主格</p> <p>代名詞属格</p> <p>形動詞 -ар 形</p>	<p>② [目的, 擁護] ~のために</p> <p>Ада-чир суубыс үчүн (祖国のために)</p> <p>мир үчүн күрезіг (平和のための闘争)</p> <p>Синің арғызың поэрахта ниме иткенін піліп алар үчүн, 3-4 сурығ пас сал. (君の友人が日曜日に何をしたのか知るために, 3, 4文の質問を書きなさい.)</p>
	<p>主格</p> <p>代名詞属格</p>	<p>③ [代償, 対価, 交換] ~に対して</p> <p>Книга үчүн пис салковай төледим. (本に対し5ルーブル私は支払った.)</p>
<p>хада (後置)</p> <p>< хат- 副動詞 -а 形</p>	<p>具格</p>	<p>~といっしょに</p> <p>Валянаң хада (ヴァーリャと)</p>
<p>хайа (後置)</p>	<p>方向格</p>	<p>~のほうに向けて, ~へ向けて</p> <p>ізіксер хайа (顔をドアのほうへ向けて)</p>

хас (名) хазында <前>	属格	端 ～のそばに, ～の端に от хазында (焚火のそばに)
хапсыра (後置)	属格 与格	① ～の近くに (空間的位置) аал хапсыра (村の近くに) ② ～近くに (時間的, 概数) иирге хапсыра (夕方頃までに) чүске хапсыра (100ちかく)
хастада (後置)	对格	～に沿って суғ хастада (川に沿って, 川岸に沿って) ол суучахты хастада (この小川に沿って) чікім хайалығ тағлар хастада (険しい崖を有する山に沿って)
хасты (後置)	对格	～に沿って чол хасты (道に沿って) чар хастада парарға (岸に沿って行く)
хоза (後置) < хос- 副動詞 -а 形	与格	～に加えて, ～のほかに аңаа хоза (それに加えて)
хоостыра (後置) < хоста-	主格	① ～ (人) を通して кізі хоостыра (人を通して) ② ～に従って, ～に則って план хоостыра (計画に従って) алфавит хоостыра (アルファベット順に) ис хоостыра (跡を追って, 痕跡を追って) ③ ～に沿って суғ хоостыра парарға (川に沿って行く)
хости (後置) < хоста- 副動詞 -а 形	具格	～のとなりに, ～の近くに Палазы ічезінең хости турча. (子供は母親のとなりに立っている.)

<p>хыза (後置) < хыс- 副動詞 -a 形</p>	<p>数詞与格 与格</p>	<p>① [近似値] ~近く, ~ぐらい Ахчазы ікі чўске хыза. (彼のお金は200ルーブルぐらいだ.) Нинчее хыза? (だいたいどのくらいですか?) ② [時間的] ~頃までに иирге хыза (夕方頃に) часхаа хыза (春頃までに)</p>
<p>хыр(и) (名) хырина <与> хыринда <前> хыринаң <奪> хыринзар <方> хыринча <因></p>	<p>属格</p>	<p>端, 境, 境界 ~のほうへ тура хырина (家のほうへ) ~のそばに, ~の近くに талай хыринда (海辺に) ~から, ~の端から аал хыринаң (村のはずれから) ~のほうへ, ~の近くへ хазаа хыринзар (家畜の囲い場へ) ~に沿って, ~のそばを тура хыринча (家のそばを)</p>
<p>чағын (後置) < чағын (副詞)</p>	<p>与格</p>	<p>① [空間的] ~の近くに суға чағын (川の近くに) ② [近似値] ~に近い Апсахтың чазы чўске чағын полар. (老人の年齢は100歳に近い.)</p>
<p>читіре (後置) < читір- 副動詞 -a 形</p>	<p>与格 代名詞与格</p>	<p>① [空間的] ~まで аалға читіре (村まで) ② [時間的] ~まで амға читіре (現在まで) иирге читіре (夜まで) тоғыс часха читіре (9時まで)</p>
<p>чіли (後置)</p>	<p>主格 代名詞主格</p>	<p>~のように мин чіли (私のように) парыс чіли (ユキヒョウのように)</p>
<p>чоғар (後置) < чоғар (副)</p>	<p>主格 対格</p>	<p>①~の上へ, ~の上方へ тағ чоғар (山の頂きのほうへ) ②~の流れに逆らって, ~の上流へ</p>

	奪格	<p>Асхыс чоғар (アスフス川上流へ) ~から上方へ</p> <p>Урсул суғны чоғар (ウルスル川を上流へ)</p> <p>Пістің аалдан чоғар тайға пасталча. (私たちの村から上方へ向かってタイ ガが広がって [始まって] いる.)</p>
чоора	対格	<p>~のあいだ (時間的)</p> <p>күн чоора (一日中)</p>
чох чохта	属格	<p>~なしで</p> <p>ахча чохта (お金をもたずに)</p>

単語索引

カッコ内の数字は単語初出の課をさします。

А а

аал	村 (2)
ааллирға(аалла-)	<方> (～に) お客に行く (1 1)
аарлығ	価値のある, 高価な (1 1)
август	8月 (6)
автобус	バス (1 4)
аға	祖父 (父方) (3)
ағас	木 (2)
аға-ууча	祖父母 (1 4)
Ағбан	アバカン市 (6)
ағын	[鳥が] 渡りの (1 5)
ағырарға(ағыр-)	痛い; 病気である (1 2)
ағырығ	病気 (3)
адай	犬 (1 2)
адайах	адай の指小形 (2 3)
адаларға(адал-)	名づけられる (5)
адалыс	名詞 (1 3)
адирға(ада-)	<対>名づける, 呼ぶ, 発音する (7)
азыранарға(азыран-)	食事する (1 1)
азых	開いている (1 6)
ай	月 (暦); 月 (天体) (6)
айас	晴れた (4)
айланарға(айлан-)	回る, 回転する; 帰る; 相談する, 質問する (1 2)
ай-сым	静かな; 静かに; 静けさ (1 3)
айығарға(айығ-)	晴れる (1 3)
ала	<奪>～に至るまで (2 2)
алай	それとも (4)
алай айы	1 2月 (6)
аларға(ал-)	<対>手に取る, 持って行く; 買う; 借りる; [助動] 自分 のために～する (1 0)
алғирға(алға-)	<対>祝福する, はなむけの言葉を言う, 良いことを祈る (1 6)
алғыс	ありがとう (1)
алғыстирға(алғыста-)	<対> (～に) 感謝する; <対> (～を) <具> (～の内容で) 祝う (1)
алнында ¹	～の前に (6)

алнында ²	以前は (1 4)
алтон	6 0 (6)
алтонынчы	6 0 番目の (6)
алты	6 (1)
алтынчі	6 番目の (6)
алфавит	アルファベット (6)
алызарға(алыс-)	変わる, 変化する (2 2)
ам	今, 今では (2 1)
амды	今 (7)
анаң	それから (2 1)
анда	あそこに, そこに (5)
андирға(анды-)	<対>注意深く見る, 注視する (2 5)
аңнирға(аңна-)	<対>狩猟する (5)
анымчох!	さようなら (1)
апарарға(апар-)	<対>持って行く, 運ぶ, 連れていく (1 0)
аппағас	真っ白な (1 8)
апрель	4 月 (6)
аразында	~のあいだには (1 3)
араласчы	参加者 (1 0)
арғыс	友人 (3)
арығ	きれいな, 清潔な (1 8)
арынчах	恥ずかしがり屋の (1 4)
Асхыс	アスフス (アスキス) 村 (1 0)
ат ¹	名前, 名称; 称号 (3)
ат ²	ウマ (6)
атарға(ат-)	<対>射る (2 3)
ахча	お金 (1 3)
ачыныстығ	愛らしい (6)

Б б

ба / бе	~か (1)
базар	市場, バザール (1 9)
библиотека	図書館 (7)
буква	文字 (6)
бюджет	予算 (1 2)
бюро	案内所 (8)

В в

вафля	ウェハース (6)
-------	-----------

Г г

город	市, 町 (2)
градус	度 (°C) (4)
Д д	
даа / дее / таа / тее	～さえも ; 譲歩法を形成する語として用いる (2)
декабрь	12月 (6)
доска	黒板 (9)
Е е	
Ё ё	
Ж ж	
журналист	ジャーナリスト (3)
З з	
завод	工場 (4)
И и	
иб	家, 天幕型住居 (2)
идерге(ит-)	〈対〉する ; 作る (5)
иділерге(иділ-)	される, 作られる (15)
идіс-хамыс	食器 (13)
изен	やあ (1)
изеннер	こんにちは (1)
изерлирге(изерле-)	〈対〉鞍をつける (10)
иир	夕方, 晩 (1)
иирде	夕方に, 晩に (7)
икирге(икі-)	頷く (11)
илееде	たくさん, 十分に (25)
иліг	50 (6)
илігінчі	50番目の (6)
им	薬 (14)
имнег	治療 (6)
имнирге(имне-)	〈対〉治療する (5)
имчі	医者 (2)
иң	もっとも～, 一番～ (12)
иңні	肩 (12)
ипчі	妻 (3)
ипчіліг	妻帯している (4)
ир	夫 (3)
иргі	古い (2)
ирліг	夫がいる, (女性が) 結婚している (4)
ис	生地 (15)

ит ¹	肉 (10)
ит ²	(病気の) 熱 ; 身体 (12)
иртен	朝 (1)
иртенде	朝に, 午前中に (7)
иртерге(ирт-)	通る ; 経過する (7)
истерге(ис-)	<対>聞く (7)
июль	7月 (6)
июнь	6月 (6)

I i

ибіре	<対>~の周りを (18)
ізерге(іс-)	<対>飲む (11)
ізігленерге(ізіглен-)	暖かくなる ; 熱がある (12)
ізік	扉, ドア (9)
ізіг	暑い ; 熱い (2)
ікі	2 (1)
ікінчі	2番目の (6)
ікінчілирге(ікінчіле-)	<対>疑う (11)
інек	ウシ (4)
іпек	パン (14)
іс	跡 (14)
істезіг	研究 (13)
істі	腹 (12)
істі сүрерге	お腹の調子が悪い, 下痢である (12)
істінде	<属>~のなかに (18)
іче	母 (3)
іче-паба	両親 (4)

Й й

К к

карандаш	鉛筆 (1)
кем	誰か (1)
кем-де	誰か (22)
квартал	街区 (21)
кизерге(кис-)	<対>着る, 履く (5)
килерге(кил-)	来る (5)
килограмм	キログラム (kg) (14)
киме	ボート (12)
кинде	本 (1)
кинетін	突然 (10)

кино	映画 (7)
кинотеатр	映画館 (7)
кип	服, 衣服 (13)
кип-азах	服, 衣服, 衣料 (15)
кирек ¹	～しなければならない (8)
кирек ²	事, 仕事, 事業 (16)
кирі	歳をとった (14)
кистірге(кистір-)	切らせる (16)
кичкер айы	10月 (6)
кичее	昨日 (9)
кичеегі	昨日の (12)
кізі	人 (2)
кірерге(кір-)	入る (5)
кічеп	注意深く (9)
кічіг	小さい (2)
класс	(学校の) 学年 (6)
клише	ステロ版, 鉛版 (8)
книга	本 (10)
концерт	コンサート (15)
коридор	廊下 (24)
көг	メロディー; 楽しみ (3)
көгенек	ワンピース (2)
көгліг	楽しい (13)
көглирге(көгле-)	歌を歌う (5)
көзенек	窓 (3)
көзідерге(көзіт-)	<対>見せる, 示す (7)
көзідіг	展覧会 (9)
көзө	枝 (8)
көйерге(көй-)	燃える; 熱がある (12)
көклө	人形 (10)
көксі	胸 (12)
көксі хызыларға	息切れする (12)
көл	湖 (3)
көмес	少し (16)
көнек	バケツ (3)
көңні	望み, 欲望, 気分, ～したい気持ち (14)
көөлче	ゆっくりと (15)
көп	たくさんの (18)

көрерге(көр-)	<対>見る；[助動] ~してみる（試行）（7）
көрінерге(көрің-)	見える（13）
көрледе	目に見えて（22）
күлдірерге(күлдір-)	<対>笑わせる（16）
күлерге(күл-)	笑う（16）
күн	昼，日；天気（1）
күнөрте	昼間に；午後に（7）
күрген айы	1月（6）
күскүзін	秋に（5）
Л л	
ла / ле / на / не	前の語を強調（6）
М м	
ма / ме	～か（1）
маатарға(маат-)	否定形 <i>маатпасха</i> で用いて 十分である，苦しまない （25）
магазин	店（5）
май	5月（6）
майығарға(майығ-)	疲れる（12）
мал	家畜（13）
маллығ	家畜を所有している（13）
маң	暇な時間（2）
маңзырадарға(маңзырат-)	<対>急がせる（20）
маңзырарға(маңзыра-)	急ぐ（14）
маңнанарға(маңнан-)	間に合う（18）
маңнаныс	成功（11）
март	3月（6）
машина	車（4）
машиналығ	車を所有している；車に乗って
медаль	メダル（4）
миллиардынчы	10億番目の（6）
миллион	100万（10）
миллионынчы	100万番目の（6）
мин	私は（2）
минута	～分（時刻）（7）
муң	1000（10）
муңынчы	1000番目の（6）
мылтых	小銃（20）
мылча	サウナ風呂（17）

мына	ほら, ほらここに, ほらそこに (2 5)
мында	ここに (5)
мының алнында	以前 (2 2)

Н н

на / не	→ <i>ла</i>
наа	新しい (2)
нанарға(нан-)	帰る, 戻る
нандырарға(нандыр-)	<与>答える
нанчы	友だち (3)
наңмыр	雨 (5)
наңмырлығ	雨の降っている (4)
нине	何? ; ~なこと (1)
нине-де	何か (2 2)
нимес	~ではない (1)
нинче	いくつ (4)
нинченчі	何番目の (6)
ноға-да	なぜか (2 2)
нойма	何? (1)
ноябрь	1 1月 (6)
нымах	昔話 (8)
нымзах	柔らかい, 軟らかい; 穏やかな (1 3)

О о

одырарға(одыр-)	座る; [助動] ~している, ~し続けている (7)
одыртарға(одырт-)	<対>座らせる; 植える (5)
ойлирға(ойла-)	走る (2 0)
ойнирға(ойна-)	<対>遊ぶ; (球技を) する; 演奏する (5)
ойын	遊び; 試合; 演劇 (9)
октябрь	1 0月 (6)
ол	彼は, 彼女は, それは (2)
олар	彼らは, それらは (2)
олған	子供 (9)
он	1 0 (1)
онынчы	1 0番目の (6)
оол	男の子; 息子 (2)
оолах	少年 (2 0)
оолғы	息子 (3)
орайладарға (орайлат-)	遅れる (8)

орам	通り (6)
орған	ベッド (10)
орғах айы	8月 (6)
орта	正しい (2)
орыс	ロシア人; ロシア人の (11)
от	草 (12)
от айы	7月 (6)
отызынчы	30番目の (6)
отыс	30 (6)

Ö ö

өзерге(ös-)	成長する, 生える (5)
өл	湿った (18)
өрініс	喜び (13)
өріністіг	喜びをもたらす (13)
өскірттерге(öskirt-)	<対>育てさせる, 栽培させる (11)

П п

па / пе	~か (1)
паа	値段, 価格 (3)
паар	肝臓; 心 (18)
паба	父 (3)
пағат	~分 (時刻) (7)
паза	~と~ (11)
пазарға(пас-)	<対>書く (5)
пазох	もう一度 (7)
пазызарға(пазыс-)	文通する (19)
пазыларға(пазыл-)	書かれる (6)
пала	子供 (4)
палачах	пала の指小形 (22)
палых	魚 (8)
пар	ある, いる (4)
парарға(пар-)	行く (5); [助動] ~してしまう (完了)
парбах	枝の多い (5)
пас	頭 (3)
пастағы	1番目の, 最初の (6)
пасталарға(пастал-)	始まる (12)
пастирға(паста-)	<対>始める (24)
пастырарға(пастыр-)	書かせる (16)
пеер	<奪>~から, ~以来 (25)

пизінчі	5番目の(6)
пик	丈夫な, 堅固な(16)
пил	腰, 背中(12)
пирерге(пир-)	<対>あげる; 渡す; [助動] ~してあげる(7)
пис	5(1)
пиче	姉妹(3)
пілерге(піл-)	知っている(5)
пір	1(1)
пірінчі	1番目の(6)
пірее	ある~, 何か~(9)
пірееде	ときどき(15)
пірсінде	あるとき(22)
піс	私たちは(2)
пічік	手紙; 文字(7)
план	計画(14)
плат	ハンカチ, スカーフ(2)
повесть	中編小説(3)
позырах	日曜日(9)
поларға(пол-)	~である(13)
полза	~したならば(動詞 поларға の3人称条件法形)(13)
ползын	~でありますように(動詞 поларға の3人称命令形)(1)
полызарға(полыс-)	<与>手伝う(7)
портфель	書類カバン(3)
пөгерге(пөк-)	<対>解く(5)
пөгізерге(пөгіс-)	誰かといっしょに解く, 解くのを手伝う(19)
пөзіг айы	2月(6)
пөлік	部屋(6)
право	権利; 法律(8)
прай	すべての(12)
пу	これは; この(1)
пулуң	隅, 角(3)
пулуңас	コーナー(6)
пулут	雲(13)
пулуттығ	雲の多い(4)
пүдірерге(пүдір-)	<対>建設する, つくる(7)
пүр	葉(5)
пүргек	曇りの(4)
пүўл	今年は(25)

пүүн	今日 (4)
пүүр	オオカミ (1 2)
пызо	子ウシ (8)
пыро	罪 (2)
пычах	ナイフ (1 1)

С с

саарға(сағ-)	<対>搾乳する (1 5)
сааларға(саал-)	搾乳される (1 5)
сабарға(сап-)	<対>叩く (1 3)
сабын	石鹼 (1 1)
сағам	今 (7)
сағат	～時 (時刻) (7)
сағирға(сағы-)	<対>待つ (1 1)
сағынарға(сағын-)	思う, 考える (9)
сағыс	心; 思考, 考え (1 8)
садарға(сат-)	<対>売る (5)
садып аларға	<対>買う (1 5)
садыларға(садыл-)	売られる (1 4)
сай	～ごとに, 毎～ (8)
салаа	指 (1 2)
саларға(сал-)	<対>置く; [助動] ～してしまう (完了) (1 0)
салковой	ルーブル (ロシアの通貨単位) (1 4)
самнах	スプーン (1 1)
сан	数 (1 0)
санирға(сана-)	<対>数える (1 3)
сарғаларға(сарғал-)	黄色になる (5)
сари	～側 (2 1)
сах	まさに (2 0)
сах анда	まさにそのように (2 0)
сахтирға(сахта-)	<対>待つ (2 4)
сеек	ハエ (1 4)
сентябрь	9月 (6)
сигерге(сиг-)	<対>線を引く (2 4)
сигізінчі	8番目の (6)
сигізон	80 (6)
сигізонынчы	80番目の (6)
сигіс	8 (1)
сиден	塀 (2 0)

силкер айы	5月 (6)
син	君は (2)
синирге(сине-)	<对>計測する (1 3)
сіліг	美しい (2)
сірер	あなたがたは, あなたは (2)
сол	左の (2 1)
сомарға(сом-)	泳ぐ (5)
соң	後ろ, 後部 (2 0)
соонда	<属>~の後に (1 8)
соох	寒い; 冷たい; 寒さ (4)
соохталарға(соохтал-)	寒くなる (1 3)
сөбіре	家族 (4)
сөледерге(сөлет-)	<对>呼び出す, 知らせる (1 6)
сөлирге(сөле-)	言う (5)
сөрөн	涼しい (4)
сөс	単語 (6)
сөстік	辞書 (4)
специальность	専門 (3)
стене	壁 (1 4)
стол	机 (1 4)
столовай	食堂 (1 1)
суғ	川; 水 (3)
сурастырарға(сурастыр-)	<对>質問する (1 5)
сурығ	質問 (7)
сурынарға(сурын-)	お願いする (2)
сүрерге(сүр-)	<对>追い立てる (1 2)
сүт	乳 (1 4)
сүттүг	乳が入った (1 6)
сығара	<奪>~から, ~以来 (2 5)
сығарға(сых-)	外に出る, 出る; [助動] ~し始める, ~しだす (開始) (5)
сығдырадарға (сығдырат-)	<与>電話する (8)
сыйлирға(сыйла-)	<对>贈る (8)
сыырыхтырарға (сыырыхтыр-)	寒気がする (1 2)

Т т

табырах	速い；速く（１２）
тағ	山（３）
тай аға	祖父（母方）（３）
тай іче	祖母（母方）（３）
тайға	タイガ（１４）
талаан	幸福；成功，開運，ついていること（１６）
тамах	のど（１２）
танығ	記号（３）
таныс	知り合い（２）
таныстырарға (таныстыр-)	<対>（～を）<具>（～と）知り合いにさせる，紹介する （１１）
таңда	明日（８）
таразарға(тарас-)	四散する，拡散する，広まる（１２）
тартарға(тарт-)	<対>挽く；引っぱる，引きずって運ぶ；曲がる（１０）
тарынарға(тарын-)	怒る，腹を立てる（７）
тас	石（１２）
тастирға(таста-)	<対>投げる（２）
тастығ	石の多い（１３）
тастынзар	<属>～の向こう側へ（２０）
тасхар	外は，戸外は（４）
теберға(теп-)	<対>蹴る（５）
теере	<与>～まで（１８）
телевизор	テレビ（７）
температура	気温，温度（４）
тимнирге(тимне-)	<対>準備する（５）
тігілерге(тігіл-)	縫製される（１５）
тізек	膝（１２）
тіл	言葉（５）
тіп	～と（１３）
тіріг	生きている（６）
тіс	歯（１２）
товар	商品（１４）
тоғазарға(тоғас-)	<与>（～に） / <具>（～と）会う（１１）
тоғызон	９０（６）
тоғызонныңчы	９０番目の（６）
тоғызынчы	９番目の（６）
тоғынарға(тоғын-)	働く（５）

ТОҒЫС	9 (1)
ТОҒЫС	仕事 (3)
ТОҒЫСЧЫ	労働者 (2)
ТОЙ	結婚式
ТОН	外套 (1 2)
Тоозарға(тоос-)	<対>終わる (2 1)
Тоозыларға(тоозыл-)	終わる (1 7)
Тос айы	6月 (6)
Тохтирға(тохта-)	止まる, 止む (2 4)
Төггерге(төк-)	<対>注ぐ (2 4)
Төзирге(төзе-)	<対>敷く (2 0)
Төлирге(төле-)	<対>払う, 支払う (1 4)
Төң	丘 (4)
Төрирге(төрі-)	生まれる (1 0)
Төрт	4 (1)
Төртінчі	4番目の (6)
Төстелерге(төстел-)	開設される, 設立される, 樹立される (2 5)
Тударға(тут-)	<対>つかむ (1 9)
Тудызарға(тудыс-)	喧嘩する, 殴り合う (1 9)
Тудынарға(тудын-)	<対>つかむ (2 0)
Турарға(тур-)	立っている; ~の値がする; [助動] ~している (5)
Турғызарға(турғыс-)	<対>立てる, 立てて置く (1 5)
Туңма	弟妹 (3)
Тура	家 (3)
Тус	時, 時期 (2 5)
Түзгерге(түс-)	落ちる; (霜が) 降りる; [助動] 突然, 不意に起きる, 行われる行為をあらわす (1 4)
Түк	毛 (1 3)
Түлгү	キツネ (8)
Түрче	まもなく (1 3)
Түс	(寝ている時に見る) 夢 (2 2)
Тыморирға(тымора-)	風邪をひく; だるさを感じる (1 2)
Тынанарға(тынан-)	休息をとる, 休む (1 1)
ТЫҢ	とても (2)
ТЫТ	カラマツ (1 4)
У у	
уғаа	とても (2)
удаа	よく, しばしば (8)

ударға(ут-)	勝つ (9)
удурлирға(удурла-)	〈対〉会う (2 4)
узирға(узу-)	眠る (5)
узун	長い (1 4)
уйаң	弱い, 貧弱な; 弱く, 弱々しく (1 2)
улам	ますます (1 8)
улуғ	大きい (1)
универмаг	デパート (1 6)
университет	大学 (6)
урарға(ур-)	〈対〉注ぐ (1 6)
ууча	祖母 (父方) (3)
учебник	教科書 (1 5)
учуғаға(учух-)	飛ぶ (1 4)

Ў ў

ўгре	スープ (8)
ўгредерге(ўгрет-)	〈対〉教える; 学ぶ (2 1)
ўгредіг	学業 (3)
ўгрэнерге(ўгрэн-)	学ぶ (6)
ўгретчі	教師 (2)
ўдезерге(ўдес-)	〈対〉送っていく (1 6)
ўзінчі	3 番目の (6)
ўлгер айы	9 月 (6)
ўлүкүн	祝日, 祭日 (1 1)
ўн	声 (1 3)
ўнниг	声量豊かな (1 3)
ўр	長い間 (2 4)
ўрдең	長い間, かなり前から (1 9)
ўрерге(ўр-)	(犬が) 吠える (5)
ўс	3 (1)

Ф ф

фамилия	姓 (1 5)
февраль	2 月 (6)
федеральной	連邦の (1 2)
футбол	サッカー (2 2)

Х х

хааң айы	3 月 (6)
хабарға(хап-)	〈対〉見つける (5)
хада	いっしょに (1 0)

хадыл	階 (6)
хазарға(хас-)	<対>掘る (1 3)
хазирға(хаза-)	刺すように痛い (1 2)
хазых	健康 (1 6)
хайах	油 ; バター (1 3)
хайда	どこで (6)
хайдағ	どんな, どのような (4)
хайдағ-да	なんらかの (2 2)
хайда-да	どこかで (2 2)
хайдаң	どこから (1 2)
хайдаң-да	どこからか (2 2)
хайдар	どこへ (9)
хайди	どのように (2)
хайзы-да	なんらかの (2 2)
хайнадарға(хайнат-)	<対>沸かす (5)
хайнирға(хайна-)	沸騰する, 沸く (5)
хайтпас	大丈夫です (1)
хайыларға(хайыл-)	溶ける (2 1)
хакас	ハカス人 ; ハカス人の (5)
Хакасия	ハカス (共和国) (6)
хакастап	ハカス語で (5)
хакас-япон	ハカス語・日本語の (4)
халарға(хал-)	残る (2 0)
халас	パン (1 1)
пасха	他の (9)
хан	皇帝, 王様 (9)
пасха хан	外国の (9)
хандыра	最高だ (2)
хап	袋 (3)
хар	雪 (5)
хара	黒い (6)
хараазын	夜中に (7)
хараа-күнөрте	昼も夜も (5)
харағай	松 (5)
харазарға(харас-)	~しようと努力する (5)
хараларға(харал-)	黒いものが見える ; 黒くなる, 暗くなる (2 2)
харах	目 (3)
хартыға	鷹 (5)

харындас	兄弟 (3)
хатарға(хат-)	硬くなる (2 3)
хатыҒ	硬い; 堅い (7)
хақан ¹	いつ (1 0)
хақан ²	~ときに (1 7)
хақан-да	いつか (2 2)
хозан	ウサギ (4)
хой	ヒツジ (1 1)
хол	手, 腕 (1 2)
хомай	悪い (2)
хонарға(хон-) ¹	[助動] 一瞬の行為, エネルギッシュな行為をあらわす (2 0)
хонарға(хон-) ²	泊まる (2 3)
хончых	隣人 (3)
хоостирға(хооста-)	<対>描く (5)
хоосха	猫 (1)
хоосхачах	хоосха の指小形 (6)
хоосчы	画家 (9)
хости	<具>~のとなりに, ~の近くに (2 5)
хосхар айы	4月 (6)
хурсах	胃 (1 2)
хус	鳥 (1 5)
хығырарға(хығыр-)	<対>読む (5)
хыза	<与>~ぐらい (2 0)
хызыларға(хызыл-)	圧迫される (1 2)
Хызылчар	クラスノヤルスク (市) (2 2)
хынарға(хын-)	<与>好きだ, 愛している (8)
хыр	白髪の (1 8)
хырлас айы	1 1月 (6)
хырыҒынчы	4 0番目の (6)
хырых	4 0 (6)
хыс	若い女性; (自分の) 娘 (2)
хыстирға(хыста-)	冬を過ごす (1 5)
хысхы	冬 (8)
хысхыда	冬に (2 3)
Ч ч	
чаа	戦争 (1 7)
чаарға(чағ-)	(雨や雪が) 降る (5)

чабал	悪い, 邪悪な, 敵意ある (16)
чабарға(чап-)	<対>覆う; 閉める, 閉じる (18)
чағын	近い, 近くの; 近くに (16)
чадарға(чат-)	横になる (10)
чазы	ステップ (24)
чай	茶 (16)
чайғы	夏 (9)
чайғызын	夏に (7)
чайхаларға(чайхал-)	揺れる (15)
чалахай	良い, 愛想のよい (1)
чалғыс	独身の; 唯一の (4)
чар	岸 (9)
чара	個々に, ばらばらに, 離れて (16)
чарабас	～してはいけない (8)
чарадарға(чарат-)	<対>許可する (7)
чардырарға(чардыр-)	ちくちく刺させる (16)
чарарға(чар-)	<対>ちくちく刺す (16)
чарир	～してもよい (8)
чарым	半分; 30分 (7)
чарых	明るい (12)
час ¹	～時 (時刻) (7)
час ²	～歳 (9)
часка	幸福 (16)
часть	部隊 (3)
часхыда	春に (7)
чахайах	花 (5)
чахсы	良い (2)
че	さあ (16)
чей	茶 (19)
чечіме	土曜日 (9)
чибіргі	20 (6)
чибіргинчі	20番目の (6)
чидерге(чит-)	達する, 着く (9)
чиділ [辞書では чиділ の形]	咳 (14)
чидіерге(чидір-)	咳をする (12)
[辞書では чиділерге (чиділ-)の形]	
читіерге(читір-)	<対> (～に) 伝える; 運ぶ (1)

чиит	若い (14)
чиңіс	勝利 (3)
чир	土地; [Ч] 地球 (6)
чирге(чі-)	<対>食べる (9)
число	日付, ~日 (6)
чистек	ベリー類 (9)
читі	7 (1)
читінчі	7番目の (6)
читіре	<与>~まで (8)
читон	70 (6)
читонынчы	70番目の (6)
чіл	風 (4)
чіли	~のように (23)
чілліг	風のある (4)
чірче	ティーカップ (19)
чол	道 (2)
чон	人々, 民衆; 民族 (11)
чоох	話 (12)
чоохтағ	文章 (7)
чоохтазарға(чоохтас-)	おしゃべりする, 会話する (8)
чоохтирға(чоохта-)	話す, 言う (7)
чорых	旅, 旅行 (13)
чох	いいえ; ありません, いません (1)
чөптөзерге(чөптөс-)	<具>相談する (10)
чөрөрге(чөр-)	行く, 通う; [助動] ~している (長期間の行為) (10)
чуртас	生活 (16)
чуртирға(чурта-)	住む (5)
чууларға(чуул-)	洗濯される
чуурға(чуғ-)	<対>洗う (13)
чүг	羽 (3)
чүгүрөрге(чүгүр-)	走る (12)
чүзінчі	100番目の (6)
чүрек	心臓 (12)
чүс	100 (6)
чыл	年 (8)
чылирға(чылы-)	暖かくなる; 暖まる (13)
чылығ	暖かい (13)
чылыларға(чыыл-)	集まる (15)

чыырға(чығ-)

〈対〉集める (5)

Ы ы

ызырға

ピアス (13)

ылғирға(ылға-)

泣く (10)

ырлирға(ырла-)

〈対〉歌う (16)

ырыс

幸福 ; 成功 (16)

Я я

я

はい (1)

яблах

じゃがいも (11)

январь

1月 (6)

参考文献

Анжиганова О.П., Субракова О.В., Топаева Л.С. *Русско-хакасский разговорник Орыс-хакас чоохтазыг*, Хакасское отделение Красноярского книжного издательства, Абакан, 1989

Арчимаева М.С., Толмачёва Л.Н., Тюкпиекова Л.И., Чекурова Л.Л., Чебодаева М.Н., Субракова З.М., Сагалакова А.А. *Хакас тілі 2*, Хакас книга издательствозы, Аҕбан, 2013

Арчимаева М.С., Толмачёва Л.Н., Тюкпиекова Л.И., Чекурова Л.Л., Чебодаева М.Н., Субракова З.М., Сагалакова А.А. *Хакас тілі 3*, Хакас книга издательствозы, Аҕбан, 2013

Баскаков Н.А. *Грамматика хакасского языка*, Наука, Москва, 1975

Боргоякова Т.Г., Пекас С.В. *Краткий трёхязычный разговорник (русский, хакасский, английский языки)* Абаканский педагогический институт, Абакан, 1992

Боргоякова Т.Г., Табурчинова В.Н., Тохтобина Е.Л., Чугунекова А.Н. *Хакасский язык для начинающих*, Хакасское книжное издательство, Абакан, 2007

Карпов В.Г. *Изъявительное наклонение глагола в современном хакасском языке* Хакасский государственный университет им. Н.Ф. Катанова, Абакан, 2014

Патачакова Д.Ф., Чанков Д.И. *Хакас тілінің орфографиясы / Орфография сөстiгi*, Хызылчар книга издательствозының Хакасиядағы пөлігі, Абакан, 1988

Патачакова Д.Ф. *Хакас тілі 2*, Хакасское отделение Красноярского книжного издательства, Абакан, 1991

Толмачёва Л.Н. *Хакас тілі 1*, Хакас книга издательствозы, Аҕбан, 2013

Чебодаева М.Н., Субракова З.М., Сагалакова А.А. *Хакас тілі 4*, Хакас книга издательствозы, Аҕбан, 2013

Чебодаева Л.М., Тюмерекова Т.Т., Толмашова Н.А., Крочакова Е.Г., Сазанаква З.И., Идимешева И.В. *Хакас тілі 5*, Хакас книга издательствозы, Аҕбан, 2014

第2部 読み物

Піс цирк көрерге парчабыс

Пүүн үлүкүн. Піс цирк көрерге парчабыс. Циркте хайхастығ нимелер көзітчелер. Аймах-пасха аңычахтар даа. Клоуннар чонны ээретчелер. Хатхы-күлкі залда чайылча. Акробаттар чочыныстығ трюктар толдырчалар. Залда чон тынмин даа одырча. Айа сабыстары хатығ парча. Циркте хайхастығ полча.

Букварь 1 класс, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2013, 86

Хыйға өскічектер

Пөзік тағлар турча. Ол тағлар паарынча ніскечек чолыцах ілерче. Пірсінде анда 2 өскічек учурас парғаннар. Пір саринда чікім тағ. Алтында – тирең өзең.

Өскічектер тохти түскеннер. Хайди иртісчең? Анаң пір өскічек чадыбысхан. Ікінчізі аны сиберли алтап парған.

Өскічектер іди иртіскеннер.

Букварь 1 класс, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2013, 92

Тимір чол

Ікі чүс чыл мының алнында Англияда кізілер тимір чол сағынып алғаннар. Чолны тоғырли ағас шпалаларын сал салғаннар. Оларзар тимір рельстер чапсыра сапханнар. Англия тілінең оларны «рейлз» тіп адалчалар. Андағ чолча аар нимелерні тарт чөрерге ниик полған.

Хакас тілі 1 класс, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2013, 34

Клубта

Клубта чон толдыра одырча. Көг ойнапча. Хакас чонның көглері истілче. Чатхан үні хоолапча. Анда пайрамның үлүкүн полча.

Хакас тілі 2, Хакасское отделение Красноярского книжного издательства , Абакан, 1991, 11

Амыр күскү иир

Амыр күскү иир. Илкім харлар маңзыт чох түсче. Аал азағынзар сарын истілче. Чиит улус клубха чыылча. Олар ойын тимнепчелер.

Ф. Бурнаковтинаң

Хакас тілі 2, Хакасское отделение Красноярского книжного издательства , Абакан, 1991, 14

Ууча

Гриша оолахтың уучазының сады пар. Садта аар колодалар турча. Гриша уучазына ағастарны, чахайахтарны суғлирға полысча. Иирде оларзар олғаннар чыылчалар. Ууча оларға нымахтар, кип-чоохтар чоохтапча.

Хакас тілі 2, Хакасское отделение Красноярского книжного издательства , Абакан, 1991, 20

Хантігірчілер

Иң пастағызын хан тігірзер хантігірчі Юрий Гагарин учуххан. Пастағы хантігірчі ипчі Валентина Терешкова полча. Совет чоны чылның хантігірчілернің күнін иртірче. Ол үлүкүн 12(он ікі) апрельде полча. Юрий Алексеевич хан тігірзер учуххан күнде.

Хакас тілі 2, Хакасское отделение Красноярского книжного издательства , Абакан, 1991, 54

Чайғы табырах чағдапча

Чайғы табырах чағдапча. Малчы марыға хозылчалар. Инек сағчаңнар сүтті көп саар үчүн күресчелер. Хайди совхозтар малны чайлаға тайғазар сығарчалар. Анда мал чөрчең чир илбек. Мал тох. Сүт чахсы чыылча.

Хакас тілі 2, Хакасское отделение Красноярского книжного издательства , Абакан, 1991, 75

Кічіг пала

Кічіг пала ағазынаң сурча:

- Ағаң, син кічіг полғазың ма?
- Полғам, палам.
- У-у, синің сағалыңа паза чалаас пазыңа матап хатхырған поларлар, я?!

Хакас тілі 3, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2013, 7-8

Харындазы туңмазына тіпче

Харындазы туңмазына тіпче:

- Теңме минің машиначаама.

Туңмазы ағаа нандырча:

- Син минің самолёдыма теңмөк*.

Ікі харындас, сарызып алып, ікі пасха пулуңнарда одыр салғаннар.

Түрче полғанда, оларның ікізіне дее эрістіг улыбысхан.

* -ох / -өк 単語の語尾や接辞のあいだに入れて用いて強調をあらわします

Хакас тілі 3, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2013, 9

Хакас кинделеріне хынчам

Кинде – минің улуғ арғызым. Мин кинделерні хығырарға тың хынчам. Уламох хынчам хакас тілінең пазылғанға. Пістің чонның нымахтары уғаа сіліг паза пай тілліглер. Анда чоохталчатхан алыптар харахха тіріг ле чіли көрінчелер. Аннаңар пос тілінең пазылған кинделерні хығарарға уғаа хынчам.

Хакас тілі 3, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2013, 51

Мин чайғызын аалда уучамда ааллаам

Мин чайғызын аалда уучамда аалаам.

Пірсінде Карим тайымнаң хада арығзар мискелеп парғабыс. Миске көп тее полбаан. Ёр чөргебіс. Майых парып, төкпеске тынанарға одырбысхам. Кинетін оттар аразында нима-де хыймыри түскен. Мин сым на одырбысхам. Хыримда «хрю-хрю» истіле түскен. Түрче хатабох – «хрю-хрю». «Астых парған сосхачах, неке», – сағын салғам. Түрче полғанда, азаам хыринзар інеліг меспек тоғылахтан килген. Ол ёж полтыр. Ёжтар даа сосхачахтар чіли тапсапчалар.

Мин аны пілбеем. Син пілгезің ме?

Хакас тілі 3, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2013, 3

Сөмөн Прокопьевич Кадышев

Сөмөн Прокопьевич Кадышев хакас чонның саблығ хайчы-нымыхчызы полған. Улуғ хайчы піске отыс пір алыптығ нымах артыс салған. Аның, хайлап, алыптығ нымахтар ысчатханын Москвада, Ташкентте паза Улан-Удеде искеннер. Ол алыптығ чазығ нымахтар, пасха-пасха кип-чоохтар, сіліг ыр-тахпахтар көп халғыс салған.

Хакас тілі 3, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2013, 52

Часхы өөре

Хырхас айы пасталған. Ёр ниместе хар чаап парған. Тасхар сыхханымда, чоон аппағас көртіктер көргем. Мині Виктория хар кізі идерге хығырған. Аны чайирға аар полған. Андағ даа полза, піс сіліг хар кізіні пүдір салғабыс. Іді ойнап, тооп парғабыс.

Піс минің ибiмзер парғабыс. Викториянаң хада печеньелернең ізіг чей іскебіс. Чей тосханча ізіп алғанда, мин өөремні ибiнзер үдескем. Таңдағы күнінде пазох көртіксер парарға чоохтас салғабыс.

Ангелина МИСТРИКОВА
Калининдегі ортымах школа
Асхыс аймаа

Виктория 女性名 ヴィクトリヤ

Хакас чирі, газетаның хоza сығарыстары,
Хола парғычах, 01.02.2023,
2023 年 2 月 1 日付インターネット新聞 Хакас чирі の付録, 学校生徒の投稿作文より

Часхы тус

Көрік айы тоозыл таа парир. Хысхының күзі халбиныбысты. Чалахай часхынаң тыныбысты чирнің үстү, че хар ам даа чатча. Пу чылда ирте часхы полар, тіпчелер улуғлар. Ағынға парған хай пірее хустар айлан килтірлер. Пөзік

тағларның, чабыс төңнернің хабырғаларын ам даа хардаң позытпинчалар. Я, көмеснең ээленче чирібісте чалахай часхы.

Айас тигірдегі күннің сузы өөрленче, чылығ сустары өтіг сал сыхты. Анаң төөреен чирібіс хайхастығ хубул сығар. Аймах ағастар көк көгенектерін кис саларлар. Чазы-арығларда аймах өңніг чахайахтар кізінің хараан өріндірерлер. А кем өрінминче ағыннаң айланған хустарның көглеріне? Көөк, торғай, пүдүрчүн, парчых – прайзы даа сабланған, ырчы хустар.

Чахсы – ол чир-чайаанның усхунчатхан, наа чуртас төріпчеткен тузы. Пу туста көгліг часхы күннің алтын сузының күзі илбек полча. Олар прай тіріг нимее аны пирчелер.

Хакас тілі 5, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2014, 161

Полған на кізінің поэзынаң төреен тілі пар

Полған на кізінің төреен тілі пар. Кізі, ол тілнең тузаланып, іче-пабазынаң, арғыстарынаң паза аны ибірчеткен кізілернең тіл алысча, чоохтасча. Тілдегі сөстернең тузаланып, чоох пүдірче, наа сөстернең танызып, чооғын алғытча, пайытча.

Кізі искен, көрген, піліп алған нимелердеңер паспин алай пазып чоох пүдірче. Чоох иптіг, оңарылыстығ, орта поларға кирек.

Хакас тілі 5, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2014, 182

Имнег туразында

Имнег туразында Миша чарым айча чатхан. Ол син тус піске, аалдағы олғаннарға, чарым чылча пол парған чілі пілдірген. Ол чох полған аразында ағаа искірер ние көп табыл парған. Ол чох піске уғаа ирістіг полған. Тағзар алай арығзар чистектеп, алай суғзар палыхтап чөрзебіс, Мишаны ла сағысха кирчеңміс.

(Н. Тиников)

Хакас тілі 5, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2014, 200

Чуртазы аның – минің көзідім

Пістің чир-суғчыбыс Николай Фёдорөвич Катанов уғаа улуғ база саблығ учёнай. 2012(ікі муң он ікі) чылда ол төрееннең пеер 150(пір чүс иліг) чыл

толды.

Н. Ф. Катанов Асхыс чирінде төреен, андох үгрэнген. Анаң, үгредіге тартып, Хызылчарда, соонаң Санкт-Петербургта – хан городында – үгрэнген. Университетте үгрэнерге ағаа тың сидік полған. Ол тусха аның іче-пабазы үреп парғаннар, полысчаң кізізі чох полған. Аннаңар ол үгрэнчеткен туста пайлар палаларын, иблеріне чөріп, үгретче. Піди, көмес тее полза, ахчацах тоғынып, алча. А чайғы сай аймах-пасха істезіг тоғыстарын апарарға чорыхха сығыбысхан. Ол чорыхтарда, пілізін алғыдып, көп наа ниме піліп алча паза поэна чуртирға ахча тоғынча. Іді ол теелче чирі-сууна, читче Туваға, Монголия, ибіре Іскеркі Туркестанны паза Карелияны.

Үгрэнчең ол уғаа маңат. Чыл сай иң чохсы үгрэнчілер аразында аны махтаснаң адапчалар. Анаң университетті дее тоозар тус читче. Николай Катанов Санкт-Петербургтың университетінде диплом алча, іскеркі чоннар тіллерінің пілігчізі полыбысча. Сыныхтағда ол мындағ піліс көзіткен: араб тілі – «5», арабтар литературазының тархыны – «5», перстер тілі – «5», перстер литературазының тархыны – «5», турок паза татар тіллері – «5», ас санның түрк чоннарның обозрениезі – «5», османнар тілі – «5», іскеркі тархын – «5», перстернің тархыны – «5», Худай пічии – «5», немецтер тілі – «5», орыстарның тілі – «4».

Чиит Катановты хан городыдағы университетте тоғынарға халғысчалар. Че үр тоғынмаан ол мында. Казань городсар парыбысча, анда, чиитерні үгредіп, олох туста улуғ істезігліг тоғыс апарған.

Николай Фёдорович, хайдағ даа істезіг чорыхтарча чөріп, наа чоннарның тіллерін үгрэнчең. Учёнайлар пасчалар, ол чўс азыра чонның тілін пілчең, оңарчаң тіп. Пос чирінзер килзе, ағаа ол туста пір ле тілнең чоохтазарға киліспечең одыр. Чоохтасчаң ол сағай, хаас, хойбал, шор, хызыл тіллерінең. Ам за прай пу тіллер пір тілнің аймах диалекттері полчалар. А ол туста алынча тілге саналчаңнар.

Николай Фёдорович хайдар улуғ паза саблығ учёнай пол парған. Ол, харасхыда чуртаан хакас чонның аразынсхыда чуртаан хакас чонның аразынаң сығып, хан үлгүзі тузында үгрэніп, наукада улуғ чидіглерге читкен, поэнының адын хас-хачанға даа сабландыр салған.

Николай Фёдорович Катанов – хакас чонның иң турыстығ оолғы.

Хакас тілі 3, Хакас книга издательствозы , Ағбан, 2013, 26-28

Төрөөн күніңнең, Университет!

Кичее Ағбандағы Н.Ф.Катановтың адынаң Хакас хазна университеті 22-чі чылын таныхтаан. Ол, чиит университет полза даа, пу тусха 30 муң азыра специалист, тимнеп, сығарыбысхан. Амды олар Хакасияның паза тиксі Россияның экономиказын, үгредиин, культуразын паза даа пасха сфераларын тилітчелер.

Хакас хазна университеті 1994 чылда 19 июньда төстелген. Олох чылда ағаа саблығ учёнай, востоковед, тюрколог Николай Фёдорович Катановтың ады пирилген. Пүүңгі күнде ХГУ-зар 10 институт паза 4 колледж кірче. Университетте 400 азыра наука кандидады паза доценті, 65 наука докторы паза профессор тоғынча. Студенттерге 124 көстег көріл парған.

ХГУ-ның пайрамның күнінде аның ректоры Татьяна Григорьевна Краснова университеттің үгретчилерін, ветераннарын паза студенттерін чылығ алғыстаан.

– Пістің университетке 22 ле чыл полза даа, ол Хакасия паза Россия кирек специалисттерні тимнепче. Мин пістің университетібіске мыннаң мындар уламох пөзік чидіглерге чидерге алғапчам. Ол турыстығ паза пөзік пілістіг специалисттерні тимниріне ікінчілебинчем, – чооғында таныхтаан Татьяна Григорьевна.

Хайди ідөк таныхтаан ректор, пүүңгі күнде ХГУ улуғ хайығ салча студенттерні анлия тіліне үгредеріне. Хайди ол тіпче, университетті тоосхан оол-хыстар тоғыс табырах таап алар үчүн, оларға анлия тілін чахсы пілерге кирек. Ідөк университетте улуғ хайығ технической специальностьтарға салылча.

– Ёр ниместе ХГУ-да наа корпус азылған. Анда технической специальностьтарға үгренчеткен студенттер піліс алчалар. Пу үгредіг чылында анда ідөк наа технической көстеглер азылғаннар, - тіпче ректор.

Пайрамның күнде ХГУ-ның чахсы үгренчеткен, экзаменнерні «4» паза «5» паалағларға тутчатхан, университеттің халых чуртазында өткін араласчатхан студенттерні Аарластығ пічіктернең таныхтааннар. Олар прайзы пүүл ХГУ-ны тоосчалар. Таныхтатханнарның аразында естественнай наукалар паза математика институтының студенті Дмитрий Казыгашев полған. Чиит оол университеттің улуғ поғдархазы полча, Дмитрий – косики каратэче Россияның, Европаның паза Тилекейнің чемпионы, спорт узы.

– Пүүл мин ХГУ-ны тоосчам. Хазна сыныхтағлары ирт пардылар, түрчеден диплом тоғызын арачылим. Университет тоосчатханыма өрінчем, че олох туста чүрексіпчем, – тіпче Дмитрий.

Чиит оол, диплом алып алған соонаң, армия-да служба иртер. Айланза, тізең, специальность хоостыра физкультура үгретчізі поларға сағынча. Студенттерге

хайдаг чөптер пирерчіксер тіп сурғанымда, Дмитрий нандырған: «Студенттер занятиелерні иртірбезіннер паза семинар тоғызына төреміл тимнен турзыннар».

Н.Ф.Катановтың адынаң Хакас хазна университетінің 22-чі пайрамында аймах институттарның студенттері «Виват, университет!» театрализованнай шоу көзіткеннер, иң өткіннері, чапчаңнары, табырахтары, тізең, «Орчіліг старт» спорт марығларында араласханнар.

Автор: Оксана СУНЧУГАШЕВА Сомнар: Максим АХПАШЕВТИ

Хакас чирі, 2016 年 6 月 22 日付インターネット新聞記事より

Хартыға паза кізі

Пірсінде аңчы, тайғазар парып, тыт салаазында хартығаны көр салған.
Хартығаны кемде кем-де палығлап салтыр.

– Кем сині палығлаан? – сурған аңчы.

– Кізі! Пипечектерін тазаан үчүн. Паза пипечектерге теңмеспін. Алып ал мині позыңзар.

Аңчы тыт ағасха чағын пастырғандох, хартыға чітіг айғахтарынаң тонына тыыныбысхан. Аңчы күлін не салған.

– Ок, хайдағың син! Мин сині Айғах тіп адим.

Ўр имнеен, хайраллаан аңчы палығлығ хысты. Уғаа даа өрінген ол, хақан Айғах учух сыххан көк тигірче.

Че пірсінде Айғах піді теен:

– Кізі, салыбыс мині. Минің пос чуртирым килче.

Аңчы паза даа ниме тізін зе. Көзенеен хазыра азып, хомзыныстығ чоохтанча:

– Сағынам мин сағаа, Айғах! Че, хайди идер зе, учух көр тигірзер.

Аңчы көзенеен паза чаппаан. Сағып турчаң Айғахтың айланарын. Пірсінде тасхар таңахтар уух-аах ла пол сыхханнар. Көрзе – тигірде хартыға учух чөрче. Аңчы ағаа хысхырча:

– Айғах, ноға түспинчезің? Мин сағаа сағын пардым.

– Чох – тіпче Айғах, – мин синің пипечектеріңні тооза тазып салам.

– Мин, пит, синің тыныңны ал халғам. Палииңны имнеем, азыраам сині.

– Хыйға полған ползаң, пілерчіксің, мин, пит, ачын хуспын.

– Мин ачыннарны өдірчем! – тіп, аңчы хартығаны түзіре атыбысхан.

Чонға тідірлер нооза: «Тосхан адай ээзіне үрчең, хыныххан пүүр тағ чоғар чүгүрчең».

АЛТЫН ХЫС хакасские сказки(на русском и хакасском языках),
Хакасское книжное издательство , Абакан, 1992, 73-74

2023年度言語研修「ハカス語」研修テキスト2
ハカス語入門

ILCAA Intensive Language Course 2023 “Khakas” Textbook 2
Khakas language textbook

2024(令和6)年3月31日 第1版発行

著 者 高島 尚生

発 行 東京外国語大学



アジア・アフリカ言語文化研究所

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

Tel. 042-330-5600

<https://publication.aa-ken.jp/>

©2023 Naoki Takashima

ISBN 978-4-86337-527-7

この作品はPDFフォーマットによる電子出版物として刊行されました。
この作品はクリエイティブ・コモンズ表示—非営利 4.0 国際ライセンス
の下に提供されています。



<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/>

ISBN978-4-86337-527-7

